

科学研究費助成事業 「審査区分表」の決定について

平成 28 年 12 月 22 日
科学技術・学術審議会学術分科会
科学研究費補助金審査部会

- 科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会（以下「審査部会」という。）では、科研費の平成 30 年度助成（平成 29 年 9 月公募予定）に係る審査から、新たな審査システムに移行することを目指し、審査区分及び審査方式を中心に見直しを行ってきました。
- 審議の過程では、日本学術振興会が取りまとめた改革案「科学研究費助成事業審査システム改革 2018」について、本年 4 月から 1 ヶ月間のパブリックコメント（意見公募手続）を行ったところ、審査区分及び審査方式に関して、1,633 件もの研究者・学会等から多数の意見（のべ 3,078 件）をいただきました。
- その後、本年 10 月に日本学術振興会から修正案に係る報告を受け、これを基に審議を進め、今般、「審査区分表」（別紙 1）について決定し、パブリックコメントで寄せられた意見への回答（別紙 2）とともに公表することとしました。

新たな「審査区分表」による応募・審査を通じて、研究者が自律的に学術研究の質を高め、より独創的で優れた研究成果を創出し、さらには学術全体の多様性を一層豊かなものとすることを期待します。
- なお、審査システム改革全体の在り方については、平成 29 年初頭に審査部会としての報告書を取りまとめ、科学技術・学術審議会学術分科会での了承を得て公表したいと考えております。
- 学術研究を支援する唯一の競争的資金である科研費の審査システムは、公正かつ適切なピアレビューの実施を基盤としており、その健全な発展のためには、研究者コミュニティの積極的な貢献が不可欠です。今後も、学界等との対話を通じて、よりよい審査システムを目指し、継続的に見直しを行ってまいりますので御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

科学研究費助成事業 「審査区分表」

(平成30年度助成に係る審査より適用)

○審査区分表の見方について	1
○審査区分表（総表）	3
○審査区分表（小区分一覧）	9
○審査区分表（中区分、大区分一覧）	29

平成28年12月22日

科学技術・学術審議会学術分科会
科学研究費補助金審査部会

審査区分表の見方について

- 審査区分表は科研費の審査区分を示すもので、応募者が、自ら応募研究課題に最も相応しい審査区分を選択するためのものです。
- 審査区分は、小区分、中区分、大区分の3つの区分からなり、
審査区分表は、**審査区分表（総表）、審査区分表（小区分一覧）、審査区分表（中区分、大区分一覧）**からなります。総表を基に、審査区分の全体像を把握できます。さらに詳しい内容について、それぞれの審査区分表を確認の上、応募する審査区分を選択して下さい。
- **小区分は審査区分の基本単位です。また、「基盤研究（B, C）」及び「若手研究」の審査区分です。**小区分には内容の例が付してありますが、これは、応募者が小区分の内容を理解する助けとするためのもので、内容の例に掲げられていない内容の応募を排除するものではありません。
- **中区分は、「基盤研究（A）」及び「挑戦的研究」の審査区分です。**中区分の審査範囲を示すものとして、いくつかの小区分が付してあります。但し、中区分に含まれる小区分以外の内容の応募を排除するものではありません。なお、一部の小区分は複数の中区分に属しており、応募者は自らの応募研究課題に最も相応しいと思われる中区分を選択できます。
- **大区分は、「基盤研究（S）」の審査区分です。**大区分の審査範囲を示すものとして、いくつかの中区分が付してあります。但し、大区分に含まれる中区分以外の内容の応募を排除するものではありません。なお、一部の中区分は複数の大区分に属しており、応募者は自らの応募研究課題に最も相応しいと思われる大区分を選択できます。
- 小区分、中区分、大区分での審査において、研究の多様性に柔軟に対応するため、小区分では「○○関連」、中区分では「○○およびその関連分野」、大区分は記号で表記しています。

審査区分表（総表）

大区分 A			大区分 A（続き）		
中区分1：思想、芸術およびその関連分野			中区分6：政治学およびその関連分野		
小区分			小区分		
01010	哲学および倫理学関連		06010	政治学関連	
01020	中国哲学、印度哲学および仏教学関連		06020	国際関係論関連	
01030	宗教学関連		80010	地域研究関連	
01040	思想史関連		80030	ジェンダー関連	
01050	美学および芸術論関連		中区分7：経済学、経営学およびその関連分野		
01060	美術史関連		小区分		
01070	芸術実践論関連		07010	理論経済学関連	
01080	科学社会学および科学技術史関連		07020	経済学説および経済思想関連	
90010	デザイン学関連		07030	経済統計関連	
中区分2：文学、言語学およびその関連分野			07040	経済政策関連	
小区分			07050	公共経済および労働経済関連	
02010	日本文学関連		07060	金融およびファイナンス関連	
02020	中国文学関連		07070	経済史関連	
02030	英文学および英語圏文学関連		07080	経営学関連	
02040	ヨーロッパ文学関連		07090	商学関連	
02050	文学一般関連		07100	会計学関連	
02060	言語学関連		80020	観光学関連	
02070	日本語学関連		中区分8：社会学およびその関連分野		
02080	英語学関連		小区分		
02090	日本語教育関連		08010	社会学関連	
02100	外国語教育関連		08020	社会福祉学関連	
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連		08030	家政学および生活科学関連	
中区分3：歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野			80020	観光学関連	
小区分			80030	ジェンダー関連	
03010	史学一般関連		中区分9：教育学およびその関連分野		
03020	日本史関連		小区分		
03030	アジア史およびアフリカ史関連		09010	教育学関連	
03040	ヨーロッパ史およびアメリカ史関連		09020	教育社会学関連	
03050	考古学関連		09030	子ども学および保育学関連	
03060	文化財科学関連		09040	教科教育学および初等中等教育学関連	
03070	博物館学関連		09050	高等教育学関連	
中区分4：地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野			09060	特別支援教育関連	
小区分			09070	教育工学関連	
04010	地理学関連		09080	科学教育関連	
04020	人文地理学関連		02090	日本語教育関連	
04030	文化人類学および民俗学関連		02100	外国語教育関連	
80010	地域研究関連		中区分10：心理学およびその関連分野		
80020	観光学関連		小区分		
80030	ジェンダー関連		10010	社会心理学関連	
中区分5：法学およびその関連分野			10020	教育心理学関連	
小区分			10030	臨床心理学関連	
05010	基礎法学関連		10040	実験心理学関連	
05020	公法学関連		90030	認知科学関連	
05030	国際法学関連				
05040	社会法学関連				
05050	刑事法学関連				
05060	民事法学関連				
05070	新領域法学関連				

大区分B		
中区分11：代数学、幾何学およびその関連分野		
小区分		
11010	代数学関連	
11020	幾何学関連	
中区分12：解析学、応用数学およびその関連分野		
小区分		
12010	基礎解析学関連	
12020	数理解析学関連	
12030	数学基礎関連	
12040	応用数学および統計数学関連	
中区分13：物性物理学およびその関連分野		
小区分		
13010	数理物理および物性基礎関連	
13020	半導体、光物性および原子物理関連	
13030	磁性、超伝導および強相関係関連	
13040	生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連	
中区分14：プラズマ学およびその関連分野		
小区分		
14010	プラズマ科学関連	
14020	核融合学関連	
14030	プラズマ応用科学関連	
80040	量子ビーム科学関連	
中区分15：素粒子、原子核、宇宙物理学およびその関連分野		
小区分		
80040	量子ビーム科学関連	
15010	素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論	
15020	素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験	
中区分16：天文学およびその関連分野		
小区分		
16010	天文学関連	
中区分17：地球惑星科学およびその関連分野		
小区分		
17010	宇宙惑星科学関連	
17020	大気水圏科学関連	
17030	地球人間圏科学関連	
17040	固体地球科学関連	
17050	地球生命科学関連	

大区分 C		
中区分18：材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野		
小区分		
18010	材料力学および機械材料関連	
18020	加工学および生産工学関連	
18030	設計工学関連	
18040	機械要素およびトライボロジー関連	
中区分19：流体工学、熱工学およびその関連分野		
小区分		
19010	流体工学関連	
19020	熱工学関連	
中区分20：機械力学、ロボティクスおよびその関連分野		
小区分		
20010	機械力学およびメカトロニクス関連	
20020	ロボティクスおよび知能機械システム関連	
中区分21：電気電子工学およびその関連分野		
小区分		
21010	電力工学関連	
21020	通信工学関連	
21030	計測工学関連	
21040	制御およびシステム工学関連	
21050	電気電子材料工学関連	
21060	電子デバイスおよび電子機器関連	
中区分22：土木工学およびその関連分野		
小区分		
22010	土木材料、施工および建設マネジメント関連	
22020	構造工学および地震工学関連	
22030	地盤工学関連	
22040	水工学関連	
22050	土木計画学および交通工学関連	
22060	土木環境システム関連	
中区分23：建築学およびその関連分野		
小区分		
23010	建築構造および材料関連	
23020	建築環境および建築設備関連	
23030	建築計画および都市計画関連	
23040	建築史および意匠関連	
90010	デザイン学関連	
中区分24：航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野		
小区分		
24010	航空宇宙工学関連	
24020	船舶海洋工学関連	
中区分25：社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野		
小区分		
25010	社会システム工学関連	
25020	安全工学関連	
25030	防災工学関連	

大区分D		
中区分26：材料工学およびその関連分野		
小区分		
26010	金属材料物性関連	
26020	無機材料および物性関連	
26030	複合材料および界面関連	
26040	構造材料および機能材料関連	
26050	材料加工および組織制御関連	
26060	金属生産および資源生産関連	
中区分27：化学工学およびその関連分野		
小区分		
27010	移動現象および単位操作関連	
27020	反応工学およびプロセスシステム工学関連	
27030	触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連	
27040	バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連	
中区分28：ナノマイクロ科学およびその関連分野		
小区分		
28010	ナノ構造化学関連	
28020	ナノ構造物理関連	
28030	ナノ材料科学関連	
28040	ナノバイオサイエンス関連	
28050	ナノマイクロシステム関連	
中区分29：応用物理物性およびその関連分野		
小区分		
29010	応用物性関連	
29020	薄膜および表面界面物性関連	
29030	応用物理一般関連	
中区分30：応用物理工学およびその関連分野		
小区分		
30010	結晶工学関連	
30020	光工学および光量子科学関連	
中区分31：原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野		
小区分		
31010	原子力工学関連	
31020	地球資源工学およびエネルギー学関連	
中区分90：人間医工学およびその関連分野		
小区分		
90110	生体医工学関連	
90120	生体材料学関連	
90130	医用システム関連	
90140	医療技術評価学関連	
90150	医療福祉工学関連	

大区分E		
中区分32：物理化学、機能物性化学およびその関連分野		
小区分		
32010	基礎物理化学関連	
32020	機能物性化学関連	
中区分33：有機化学およびその関連分野		
小区分		
33010	構造有機化学および物理有機化学関連	
33020	有機合成化学関連	
中区分34：無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野		
小区分		
34010	無機・錯体化学関連	
34020	分析化学関連	
34030	グリーンサステイナブルケミストリーおよび環境化学関連	
中区分35：高分子、有機材料およびその関連分野		
小区分		
35010	高分子化学関連	
35020	高分子材料関連	
35030	有機機能材料関連	
中区分36：無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野		
小区分		
36010	無機物質および無機材料化学関連	
36020	エネルギー関連化学	
中区分37：生体分子化学およびその関連分野		
小区分		
37010	生体関連化学	
37020	生物分子化学関連	
37030	ケミカルバイオロジー関連	

大区分 F		
中区分38：農芸化学およびその関連分野		
小区分		
38010	植物栄養学および土壌学関連	
38020	応用微生物学関連	
38030	応用生物化学関連	
38040	生物有機化学関連	
38050	食品科学関連	
38060	応用分子細胞生物学関連	
中区分39：生産環境農学およびその関連分野		
小区分		
39010	遺伝育種科学関連	
39020	作物生産科学関連	
39030	園芸科学関連	
39040	植物保護科学関連	
39050	昆虫科学関連	
39060	生物資源保全学関連	
39070	ランドスケープ科学関連	
中区分40：森林圏科学、水圏応用科学およびその関連分野		
小区分		
40010	森林科学関連	
40020	木質科学関連	
40030	水圏生産科学関連	
40040	水圏生命科学関連	
中区分41：社会経済農学、農業工学およびその関連分野		
小区分		
41010	食料農業経済関連	
41020	農業社会構造関連	
41030	地域環境工学および農村計画学関連	
41040	農業環境工学および農業情報工学関連	
41050	環境農学関連	
中区分42：獣医学、畜産学およびその関連分野		
小区分		
42010	動物生産科学関連	
42020	獣医学関連	
42030	動物生命科学関連	
42040	実験動物学関連	

大区分 G		
中区分43：分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野		
小区分		
43010	分子生物学関連	
43020	構造生物化学関連	
43030	機能生物化学関連	
43040	生物物理学関連	
43050	ゲノム生物学関連	
43060	システムゲノム科学関連	
中区分44：細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野		
小区分		
44010	細胞生物学関連	
44020	発生生物学関連	
44030	植物分子および生理科学関連	
44040	形態および構造関連	
44050	動物生理化学、生理学および行動学関連	
中区分45：個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野		
小区分		
45010	遺伝学関連	
45020	進化生物学関連	
45030	多様性生物学および分類学関連	
45040	生態学および環境学関連	
45050	自然人類学関連	
45060	応用人類学関連	
中区分46：神経科学およびその関連分野		
小区分		
46010	神経科学一般関連	
46020	神経形態学関連	
46030	神経機能学関連	

大区分H		
中区分47：薬学およびその関連分野		
小区分		
47010	薬系化学および創薬科学関連	
47020	薬系分析および物理化学関連	
47030	薬系衛生および生物化学関連	
47040	薬理学関連	
47050	環境および天然医薬資源学関連	
47060	医療薬学関連	
中区分48：生体の構造と機能およびその関連分野		
小区分		
48010	解剖学関連	
48020	生理学関連	
48030	薬理学関連	
48040	医化学関連	
中区分49：病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野		
小区分		
49010	病態医化学関連	
49020	人体病理学関連	
49030	実験病理学関連	
49040	寄生虫学関連	
49050	細菌学関連	
49060	ウイルス学関連	
49070	免疫学関連	

大区分 I		
中区分50：腫瘍学およびその関連分野		
小区分		
50010	腫瘍生物学関連	
50020	腫瘍診断および治療学関連	
中区分51：ブレインサイエンスおよびその関連分野		
小区分		
51010	基盤脳科学関連	
51020	認知脳科学関連	
51030	病態神経科学関連	
中区分52：内科学一般およびその関連分野		
小区分		
52010	内科学一般関連	
52020	神経内科学関連	
52030	精神神経科学関連	
52040	放射線科学関連	
52050	胎児医学および小児成育学関連	
中区分53：器官システム内科学およびその関連分野		
小区分		
53010	消化器内科学関連	
53020	循環器内科学関連	
53030	呼吸器内科学関連	
53040	腎臓内科学関連	
53050	皮膚科学関連	
中区分54：生体情報内科学およびその関連分野		
小区分		
54010	血液および腫瘍内科学関連	
54020	膠原病およびアレルギー内科学関連	
54030	感染症内科学関連	
54040	代謝および内分泌学関連	
中区分55：恒常性維持器官の外科学およびその関連分野		
小区分		
55010	外科学一般および小児外科学関連	
55020	消化器外科学関連	
55030	心臓血管外科学関連	
55040	呼吸器外科学関連	
55050	麻酔科学関連	
55060	救急医学関連	
中区分56：生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野		
小区分		
56010	脳神経外科学関連	
56020	整形外科科学関連	
56030	泌尿器科学関連	
56040	産婦人科学関連	
56050	耳鼻咽喉科学関連	
56060	眼科学関連	
56070	形成外科学関連	

大区分Ⅰ（続き）	
中区分57：口腔科学およびその関連分野	
小区分	
57010	常態系口腔科学関連
57020	病態系口腔科学関連
57030	保存治療系歯学関連
57040	口腔再生医学および歯科医用工学関連
57050	補綴系歯学関連
57060	外科系歯学関連
57070	成長および発育系歯学関連
57080	社会系歯学関連
中区分58：社会医学、看護学およびその関連分野	
小区分	
58010	医療管理学および医療系社会学関連
58020	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む
58030	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない
58040	法医学関連
58050	基礎看護学関連
58060	臨床看護学関連
58070	生涯発達看護学関連
58080	高齢者看護学および地域看護学関連
中区分59：スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野	
小区分	
59010	リハビリテーション科学関連
59020	スポーツ科学関連
59030	体育および身体教育学関連
59040	栄養学および健康科学関連
中区分90：人間医工学およびその関連分野	
小区分	
90110	生体医工学関連
90120	生体材料学関連
90130	医用システム関連
90140	医療技術評価学関連
90150	医療福祉工学関連

大区分Ⅱ	
中区分60：情報科学、情報工学およびその関連分野	
小区分	
60010	情報学基礎論関連
60020	数理情報学関連
60030	統計科学関連
60040	計算機システム関連
60050	ソフトウェア関連
60060	情報ネットワーク関連
60070	情報セキュリティ関連
60080	データベース関連
60090	高性能計算関連
60100	計算科学関連
中区分61：人間情報学およびその関連分野	
小区分	
61010	知覚情報処理関連
61020	ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連
61030	知能情報学関連
61040	ソフトコンピューティング関連
61050	知能ロボティクス関連
61060	感性情報学関連
90010	デザイン学関連
90030	認知科学関連
中区分62：応用情報学およびその関連分野	
小区分	
62010	生命、健康および医療情報学関連
62020	ウェブ情報学およびサービス情報学関連
62030	学習支援システム関連
62040	エンタテインメントおよびゲーム情報学関連
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連

大区分Ⅲ	
中区分63：環境解析評価およびその関連分野	
小区分	
63010	環境動態解析関連
63020	放射線影響関連
63030	化学物質影響関連
63040	環境影響評価関連
中区分64：環境保全対策およびその関連分野	
小区分	
64010	環境負荷およびリスク評価管理関連
64020	環境負荷低減技術および保全修復技術関連
64030	環境材料およびリサイクル技術関連
64040	自然共生システム関連
64050	循環型社会システム関連
64060	環境政策および環境配慮型社会関連

審査区分表（小区分一覧）

（別紙１）

審査区分を選択するにあたっては、応募者は、審査区分表（総表）を基に、審査区分の全体像を把握できます。さらに、小区分の詳しい内容について、本小区分一覧を確認の上、応募する審査区分を選択してください。

なお、小区分の中には、複数の中区分や大区分に表れているものがあります。複数の中区分に対応している小区分は下表のとおり９つあり、このうち、複数の大区分に対応している小区分は３つあります。

また、小区分番号 90110～90150 の５つの小区分は、対応する中区分は１つですが、それぞれ２つの大区分に対応しています。

審査区分として、中区分、大区分を選択するにあたっては、応募者は、別紙２の審査区分表（中区分、大区分一覧）を参照しつつ、自らの応募研究課題に最も相応しいと思われるものを選択してください。

【複数の中区分、大区分に表れる小区分】

小区分名	小区分の説明	対応する中区分	対応する大区分
02090	日本語教育関連	2, 9	A
02100	外国語教育関連	2, 9	A
80010	地域研究関連	4, 6	A
80020	観光学関連	4, 7, 8	A
80030	ジェンダー関連	4, 6, 8	A
80040	量子ビーム科学関連	1 4, 1 5	B
90010	デザイン学関連	1, 2 3, 6 1	A, C, J
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連	2, 6 2	A, J
90030	認知科学関連	1 0, 6 1	A, J
90110	生体医工学関連	9 0	D, I
90120	生体材料学関連	9 0	D, I
90130	医用システム関連	9 0	D, I
90140	医療技術評価学関連	9 0	D, I
90150	医療福祉工学関連	9 0	D, I

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
01010	〔哲学および倫理学関連〕	1	A
	哲学一般、倫理学一般、西洋哲学、西洋倫理学、日本哲学、日本倫理学、応用倫理学、など		
01020	〔中国哲学、印度哲学および仏教学関連〕	1	A
	中国哲学思想、インド哲学思想、仏教思想、書誌学、文献学、など		
01030	〔宗教学関連〕	1	A
	宗教史、宗教哲学、神学、宗教社会学、宗教心理学、宗教人類学、宗教民俗学、神話学、書誌学、文献学、など		
01040	〔思想史関連〕	1	A
	思想史一般、西洋思想史、東洋思想史、日本思想史、など		
01050	〔美学および芸術論関連〕	1	A
	芸術哲学、感性論、各種芸術論、など		
01060	〔美術史関連〕	1	A
	日本美術、東洋美術、西洋美術、現代美術、工芸、デザイン、建築、服飾、写真、など		
01070	〔芸術実践論関連〕	1	A
	各種芸術表現法、アートマネジメント、芸術政策、芸術産業、など		
01080	〔科学社会学および科学技術史関連〕	1	A
	科学社会学、科学史、技術史、医学史、産業考古学、科学哲学、科学基礎論、科学技術社会論、など		
02010	〔日本文学関連〕	2	A
	日本文学一般、古代文学、中世文学、漢文学、書誌学、文献学、近世文学、近代文学、現代文学、関連文学理論、など		
02020	〔中国文学関連〕	2	A
	中国文学、書誌学、文献学、関連文学理論、など		
02030	〔英文学および英語圏文学関連〕	2	A
	英文学、米文学、英語圏文学、関連文学理論、書誌学、文献学、など		
02040	〔ヨーロッパ文学関連〕	2	A
	仏文学、仏語圏文学、独文学、独語圏文学、西洋古典学、ロシア東欧文学、その他のヨーロッパ語系文学、関連文学理論、書誌学、文献学、など		
02050	〔文学一般関連〕	2	A
	諸地域諸言語の文学、文学理論、比較文学、書誌学、文献学、文学教育、など		
02060	〔言語学関連〕	2	A
	音声音韻論、意味語用論、形態統語論、社会言語学、対照言語学、心理言語学、神経言語学、通時的研究、コーパス言語学、危機言語、など		
02070	〔日本語学関連〕	2	A
	音声音韻、表記、語彙と意味、文法、文体、語用論、言語生活、方言、日本語史、日本語学史、など		
02080	〔英語学関連〕	2	A
	音声音韻、語彙と意味、文法、文体、語用論、社会言語学、英語の多様性、コーパス研究、英語史、英語学史、など		
02090	〔日本語教育関連〕	2, 9	A
	学習者研究、言語習得、教材開発、カリキュラム評価、目的別日本語教育、バイリンガル教育、教師研究、日本語教育のための日本語研究、日本語教育史、異文化理解、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
02100	〔外国語教育関連〕	2, 9	A
	学習法、コンピュータ支援学習（CALL）、教材開発、言語テスト、第二言語習得論、早期英語教育、外国語教育政策史、カリキュラム評価、外国語教師養成、異文化理解、など		
03010	〔史学一般関連〕	3	A
	歴史理論、歴史学方法論、史料研究、記憶とメディア、世界史、交流史、比較史、など		
03020	〔日本史関連〕	3	A
	日本史一般、古代史、中世史、近世史、近現代史、地方史、文化史、宗教史、環境史、都市史、交流史、比較史、史料研究、など		
03030	〔アジア史およびアフリカ史関連〕	3	A
	中国前近代史、中国近現代史、東アジア史、中央ユーラシア史、東南アジア史、オセアニア史、南アジア史、西アジア史、アフリカ史、交流史、比較史、史料研究、など		
03040	〔ヨーロッパ史およびアメリカ史関連〕	3	A
	ヨーロッパ古代史、ヨーロッパ中世史、西ヨーロッパ近現代史、東ヨーロッパ近現代史、南北アメリカ史、交流史、比較史、史料研究、など		
03050	〔考古学関連〕	3	A
	考古学一般、先史学、歴史考古学、日本考古学、アジア考古学、古代文明学、物質文化学、実験考古学、情報考古学、埋蔵文化財研究、など		
03060	〔文化財科学関連〕	3	A
	年代測定、材質分析、製作技法、保存科学、遺跡探査、動植物遺体、人骨、文化遺産、文化資源、文化財政策、など		
03070	〔博物館学関連〕	3	A
	博物館展示学、博物館教育学、博物館情報学、博物館経営学、博物館行財政学、博物館資料論、博物館学史、など		
04010	〔地理学関連〕	4	A
	地理学一般、土地利用、景観、環境システム、地形学、気候学、水文学、地図学、地理情報システム、地域計画、など		
04020	〔人文地理学関連〕	4	A
	人文地理学一般、経済地理学、社会地理学、政治地理学、文化地理学、都市地理学、農村地理学、歴史地理学、地誌学、地理教育、など		
04030	〔文化人類学および民俗学関連〕	4	A
	文化人類学一般、民俗学一般、物質文化、生態、社会関係、宗教、芸術、医療、越境、マイノリティ、など		
80010	〔地域研究関連〕	4, 6	A
	地域研究一般、地域間比較、援助、国際協力、地域間交流、環境、トランスナショナリズム、グローバリゼーション、社会開発、など		
80020	〔観光学関連〕	4, 7, 8	A
	観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼、など		
80030	〔ジェンダー関連〕	4, 6, 8	A
	ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画、など		
05010	〔基礎法学関連〕	5	A
	法哲学・法理学、ローマ法、法制史、法社会学、比較法、外国法、法政策学、法と経済、司法制度論、など		
05020	〔公法学関連〕	5	A
	憲法、行政法、租税法、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
05030	〔国際法学関連〕	5	A
	国際公法、国際私法、国際人権法、国際経済法、EU法、など		
05040	〔社会法学関連〕	5	A
	労働法、経済法、社会保障法、教育法、など		
05050	〔刑事法学関連〕	5	A
	刑法、刑事訴訟法、犯罪学、刑事政策、少年法、法と心理、など		
05060	〔民事法学関連〕	5	A
	民法、商法、民事訴訟法、倒産法、紛争処理法制、など		
05070	〔新領域法学関連〕	5	A
	環境法、医事法、情報法、消費者法、知的財産法、法とジェンダー、法曹論、など		
06010	〔政治学関連〕	6	A
	政治理論、政治思想史、政治史、日本政治史、現代日本政治、政治過程論、選挙研究、政治経済学、行政学、地方自治、比較政治、公共政策、など		
06020	〔国際関係論関連〕	6	A
	国際関係理論、現代国際関係、外交史、国際関係史、対外政策論、安全保障論、国際政治経済論、グローバルガバナンス論、国際協力論、など		
07010	〔理論経済学関連〕	7	A
	ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、行動経済学、実験経済学、経済理論、進化経済学、経済制度、経済体制、など		
07020	〔経済学説および経済思想関連〕	7	A
	経済学説、経済思想、社会思想、経済哲学、など		
07030	〔経済統計関連〕	7	A
	統計制度、統計調査、人口統計、所得分布、資産分布、国民経済計算、計量経済学、計量ファイナンス、など		
07040	〔経済政策関連〕	7	A
	国際経済学、産業組織論、経済発展論、都市経済学、地域経済、環境資源経済学、日本経済論、経済政策一般、交通経済学、開発経済学、国際開発、など		
07050	〔公共経済および労働経済関連〕	7	A
	財政学、公共経済学、医療経済学、労働経済学、社会保障論、教育経済学、法と経済学、政治経済学、など		
07060	〔金融およびファイナンス関連〕	7	A
	金融論、ファイナンス、国際金融論、企業金融、金融工学、保険論、など		
07070	〔経済史関連〕	7	A
	経済史、経営史、産業史、など		
07080	〔経営学関連〕	7	A
	企業論、経営組織論、経営戦略論、経営管理論、人的資源管理論、技術経営論、国際経営論、経営情報論、経営工学、経営一般、など		
07090	〔商学関連〕	7	A
	マーケティング論、消費者行動論、流通論、商学一般、ロジスティクス、など		
07100	〔会計学関連〕	7	A
	財務会計論、管理会計論、監査論、会計一般、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
08010	〔社会学関連〕	8	A
	社会学一般、地域社会、家族、労働、福祉社会学、ジェンダー、メディア、エスニシティ、社会運動、社会調査法、医療社会学、社会人口学、など		
08020	〔社会福祉学関連〕	8	A
	ソーシャルワーク、社会福祉政策学、社会事業史、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、地域福祉、貧困、ボランティア、社会福祉学一般、など		
08030	〔家政学および生活科学関連〕	8	A
	生活文化、家庭経済、消費生活、ライフスタイル、衣文化、食文化、住文化、衣生活、食生活、住生活、生活科学一般、家政学一般、家政教育、など		
09010	〔教育学関連〕	9	A
	教育史、教育哲学、教育方法学、教育評価、教育指導者、学校教育、社会教育、職業教育訓練、生涯学習、教育制度、など		
09020	〔教育社会学関連〕	9	A
	教育社会学、社会化、教育組織、進路キャリア形成、階層格差、ジェンダー、教育政策、比較教育、国際開発、など		
09030	〔子ども学および保育学関連〕	9	A
	子ども学、保育学、子どもの権利、発達、保育の内容方法、子育て施設、保育者、保育子育て支援制度、こども文化、歴史と思想、など		
09040	〔教科教育学および初等中等教育学関連〕	9	A
	各教科の教育、教科外教育、生徒指導、キャリア教育、学校経営、教師教育、E S D、環境教育、リテラシー、など		
09050	〔高等教育学関連〕	9	A
	政策、入学者選抜、カリキュラム、学習進路支援、教職員、学術研究、地域連携貢献、国際化、大学経営、非大学型高等教育、など		
09060	〔特別支援教育関連〕	9	A
	理念と歴史、インクルージョンと共生社会、指導と支援、発達障害、情緒障害、知的障害、言語障害、身体障害、キャリア教育、など		
09070	〔教育工学関連〕	9	A
	カリキュラム開発、教授学習支援システム、メディアの活用、I C Tの活用、教師教育、情報リテラシー、など		
09080	〔科学教育関連〕	9	A
	科学教育、科学コミュニケーション、科学リテラシー、科学と社会、など		
10010	〔社会心理学関連〕	10	A
	社会心理学一般、自己、集団、態度と行動、感情、対人関係、社会問題、文化、など		
10020	〔教育心理学関連〕	10	A
	教育心理学一般、発達、家庭、学校、臨床、パーソナリティ、学習、測定評価、など		
10030	〔臨床心理学関連〕	10	A
	臨床心理学一般、心理的障害、アセスメント、心理学的介入、養成訓練、健康、犯罪非行、コミュニティ、など		
10040	〔実験心理学関連〕	10	A
	実験心理学一般、感覚、知覚、注意、記憶、言語、情動、学習、など		
11010	〔代数学関連〕	11	B
	群論、環論、表現論、代数的組み合わせ論、数論、数論幾何学、代数幾何、代数解析、代数学一般、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
11020	〔幾何学関連〕	11	B
	微分幾何学、リーマン幾何学、シンプレクティック幾何学、複素幾何学、位相幾何学、微分位相幾何学、低次元トポロジー、幾何学一般、など		
12010	〔基礎解析学関連〕	12	B
	函数解析学、複素解析、確率論、調和解析、作用素論、スペクトル解析、作用素環論、代数解析、表現論、基礎解析学一般、など		
12020	〔数理解析学関連〕	12	B
	函数方程式論、実解析、力学系、変分法、非線形解析、応用解析一般、など		
12030	〔数学基礎関連〕	12	B
	数学基礎論、情報理論、離散数学、計算機数学、数学基礎一般、など		
12040	〔応用数学および統計数学関連〕	12	B
	数値解析、数理モデル、最適制御、ゲーム理論、統計数学、応用数学一般、など		
13010	〔数理物理および物性基礎関連〕	13	B
	統計物理、物性基礎論、数理物理、非平衡非線形物理、流体物理、計算物理、量子情報理論、など		
13020	〔半導体、光物性および原子物理関連〕	13	B
	半導体、誘電体、原子分子、メゾスコピック系、結晶、表面界面、光物性、量子エレクトロニクス、量子情報、など		
13030	〔磁性、超伝導および強相関係数関連〕	13	B
	磁性、強相関電子系、超伝導、量子流体固体、分子性固体、など		
13040	〔生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連〕	13	B
	生命現象の物理、生体物質の物理、液体とガラス、ソフトマター、レオロジー、など		
14010	〔プラズマ科学関連〕	14	B
	基礎プラズマ、磁化プラズマ、レーザープラズマ、強結合プラズマ、プラズマ診断、宇宙天体プラズマ、など		
14020	〔核融合学関連〕	14	B
	プラズマ閉じ込め、プラズマ制御、プラズマ加熱、プラズマ計測、周辺プラズマ、プラズマ壁相互作用、慣性核融合、核融合材料、核融合システム学、など		
14030	〔プラズマ応用科学関連〕	14	B
	プラズマプロセス、プラズマフォトリクス、プラズマ材料科学、プラズマ応用一般、など		
80040	〔量子ビーム科学関連〕	14, 15	B
	加速器、ビーム物理、放射線検出器、計測制御、量子ビーム応用、など		
15010	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論〕	15	B
	素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力、など		
15020	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験〕	15	B
	素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力、など		
16010	〔天文学関連〕	16	B
	光学赤外線天文学、電波天文学、太陽物理学、位置天文学、理論天文学、X線 γ 線天文学、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
17010	〔宇宙惑星科学関連〕	17	B
	太陽地球系科学、超高層物理学、惑星科学、系外惑星科学、地球外物質科学、など		
17020	〔大気水圏科学関連〕	17	B
	気候システム学、大気科学、海洋科学、陸水学、雪氷学、古気候学、など		
17030	〔地球人間圏科学関連〕	17	B
	自然環境科学、自然災害科学、地理空間情報学、第四紀学、資源および鉱床学、など		
17040	〔固体地球科学関連〕	17	B
	固体地球物理学、地質学、地球内部物質科学、固体地球化学、など		
17050	〔地球生命科学関連〕	17	B
	生命の起源および進化学、極限生物学、生物地球化学、古環境学、古生物学、など		
18010	〔材料力学および機械材料関連〕	18	C
	構造力学、疲労、破壊、生体力学、材料設計、材料物性、材料評価、など		
18020	〔加工学および生産工学関連〕	18	C
	工作機械、機械加工、特殊加工、超精密加工、アディティブマニュファクチャリング、精密計測、生産システム、コンピュータ援用技術、工程設計、など		
18030	〔設計工学関連〕	18	C
	製品設計、サービス設計、信頼性設計、保全性設計、ライフサイクルエンジニアリング、リバーシブルエンジニアリング、安全設計、設計学、など		
18040	〔機械要素およびトライボロジー関連〕	18	C
	機械要素、機構学、トライボロジー、アクチュエータ、マイクロマシン、など		
19010	〔流体工学関連〕	19	C
	流体機械、流体計測、数値流体力学、乱流、混相流、圧縮性流体、非圧縮性流体、など		
19020	〔熱工学関連〕	19	C
	伝熱、対流、燃焼、熱物性、冷凍空調、熱機関、エネルギー変換、など		
20010	〔機械力学およびメカトロニクス関連〕	20	C
	運動学、動力学、振動学、音響学、自動制御、学習制御、メカトロニクス、マイクロナノメカトロニクス、バイオメカニクス、など		
20020	〔ロボティクスおよび知能機械システム関連〕	20	C
	ロボティクス、知能機械システム、人間機械システム、ヒューマンインタフェース、プログラミング、空間知能化システム、仮想現実感、拡張現実感、など		
21010	〔電力工学関連〕	21	C
	電気エネルギー関連、省エネルギー、電力系統工学、電気機器、パワーエレクトロニクス、電気有効利用、電磁環境、など		
21020	〔通信工学関連〕	21	C
	情報理論、非線形理論、信号処理、有線通信方式、無線通信方式、変復調、アンテナ、ネットワーク、マルチメディア通信、暗号、など		
21030	〔計測工学関連〕	21	C
	計測理論、計測機器、波動応用計測、システム化技術、信号情報処理、センシングデバイス、など		
21040	〔制御およびシステム工学関連〕	21	C
	制御理論、システム理論、制御システム、知能システム、システム情報処理、システム制御応用、バイオシステム工学、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
21050	〔電気電子材料工学関連〕	21	C
	半導体、誘電体、磁性体、有機物、超伝導体、複合材料、薄膜、量子構造、厚膜、作製評価技術、など		
21060	〔電子デバイスおよび電子機器関連〕	21	C
	電子デバイス、回路設計、光デバイス、スピンドバイス、ミリ波テラヘルツ波、波動応用デバイス、ストレージ、ディスプレイ、微細プロセス技術、実装技術、など		
22010	〔土木材料、施工および建設マネジメント関連〕	22	C
	コンクリート、鋼材、複合材料、木材、舗装材料、補修補強材料、施工、維持管理、建設マネジメント、地下空間、など		
22020	〔構造工学および地震工学関連〕	22	C
	応用力学、構造工学、鋼構造、コンクリート構造、複合構造、風工学、地震工学、耐震構造、地震防災、など		
22030	〔地盤工学関連〕	22	C
	土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤の挙動、土構造物、地盤防災、地盤環境工学、トンネル工学、土壌環境、など		
22040	〔水工学関連〕	22	C
	水理学、環境水理学、水文学、河川工学、水資源工学、海岸工学、港湾工学、海洋工学、など		
22050	〔土木計画学および交通工学関連〕	22	C
	土木計画、地域都市計画、国土計画、防災計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、測量・リモートセンシング、景観デザイン、土木史、など		
22060	〔土木環境システム関連〕	22	C
	環境計画、環境システム、環境保全、用排水システム、廃棄物、水環境、大気循環、騒音振動、環境生態、環境モニタリング、など		
23010	〔建築構造および材料関連〕	23	C
	荷重論、構造解析、構造設計、各種構造、耐震設計、基礎構造、地盤、構造材料、維持管理、建築工法、など		
23020	〔建築環境および建築設備関連〕	23	C
	音環境、振動環境、光環境、熱環境、空気環境、環境心理生理、建築設備、火災工学、都市環境、環境設計、など		
23030	〔建築計画および都市計画関連〕	23	C
	計画論、設計論、住宅論、各種建物、都市計画、行政、建築経済、生産管理、防災計画、景観、など		
23040	〔建築史および意匠関連〕	23	C
	建築史、都市史、建築論、意匠、景観、保存、再生、など		
24010	〔航空宇宙工学関連〕	24	C
	熱流体力学、構造強度、推進、航空宇宙機設計、生産技術、航空機システム、特殊航空機、航行ダイナミクス、宇宙機システム、宇宙利用、など		
24020	〔船舶海洋工学関連〕	24	C
	航行性能、構造体力学、設計、生産技術、船用機関、海上輸送、海洋開発工学、海中工学、極地工学、海洋環境技術、など		
25010	〔社会システム工学関連〕	25	C
	社会システム、経営工学、オペレーションズリサーチ、インダストリアルマネジメント、信頼性工学、政策科学、規制科学、品質管理、など		
25020	〔安全工学関連〕	25	C
	安全工学、安全システム、リスク工学、リスクマネジメント、労働安全、製品安全、安全情報、人間工学、信頼性工学、など		
25030	〔防災工学関連〕	25	C
	災害予測、ハザードマップ、建造物防災、ライフライン防災、地域防災計画、災害リスク評価、防災政策、災害レジリエンス、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
26010	〔金属材料物性関連〕	26	D
	電気磁気物性、電子情報物性、準安定状態、拡散、相変態、状態図、結晶格子欠陥、力学物性、熱光物性、材料計算科学、など		
26020	〔無機材料および物性関連〕	26	D
	機能性セラミックス、機能性ガラス、構造用セラミックス、カーボン系材料、結晶構造解析、組織制御、電気物性、力学物性、物理的・化学的性質、粒界物性、など		
26030	〔複合材料および界面関連〕	26	D
	機能性複合材料、構造用複合材料、生体用複合材料、複合高分子、表面処理、分散制御、接合、接着、界面物性、傾斜機能、など		
26040	〔構造材料および機能材料関連〕	26	D
	社会基盤構造材料、靱性、医療福祉材料、機能性高分子材料、信頼性、光機能材料、センサー材料、エネルギー材料、電池機能材料、環境機能材料、など		
26050	〔材料加工および組織制御関連〕	26	D
	加工成形、加工熱処理、結晶組織制御、レーザー加工、精密加工、研磨、粉末冶金、コーティング、めっき、腐食防食、など		
26060	〔金属生産および資源生産関連〕	26	D
	分離精製、融解凝固、結晶成長、鋳造、資源保障確保、希少資源代替、低環境負荷、リサイクル、エコマテリアル、省エネルギー、など		
27010	〔移動現象および単位操作関連〕	27	D
	相平衡、輸送物性、移動速度論、流体系単位操作、吸着、膜分離、攪拌混合操作、粉粒体操作、晶析操作、製膜成形、など		
27020	〔反応工学およびプロセスシステム工学関連〕	27	D
	反応操作論、新規反応場、反応機構、反応装置設計、材料合成プロセス、マイクロプロセス、プロセス制御、プロセスシステム設計、プロセス情報処理、など		
27030	〔触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連〕	27	D
	触媒反応論、触媒調製化学、触媒機能、エネルギー変換プロセス、エネルギー開発、省エネルギー技術、資源有効利用技術、など		
27040	〔バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連〕	27	D
	生体触媒工学、生物機能応用工学、食品工学、医用化学工学、バイオ生産プロセス、ナノバイオプロセス、バイオリクター、バイオセパレーション、バイオセンサー、バイオリファイナリー、など		
28010	〔ナノ構造化学関連〕	28	D
	ナノ構造作製、クラスター、ナノ粒子、メゾスコピック化学、超構造、ナノ表面、ナノ界面、自己組織化、ナノカーボン化学、分子デバイス、ナノ光デバイス、など		
28020	〔ナノ構造物理関連〕	28	D
	ナノ物性、ナノプローブ、量子効果、量子ドット、量子デバイス、電子デバイス、スピンデバイス、ナノトライボロジー、ナノカーボン物理、など		
28030	〔ナノ材料科学関連〕	28	D
	ナノ材料創製、ナノ材料解析、ナノ表面、ナノ界面、ナノ機能材料、ナノ構造、ナノ粒子、ナノカーボン材料、ナノ結晶材料、ナノコンポジット、ナノ欠陥、ナノ加工プロセス、など		
28040	〔ナノバイオサイエンス関連〕	28	D
	バイオ分子デバイス、分子マニピュレーション、分子イメージング、ナノ計測、ナノ合成、1分子科学、ナノバイointerフェース、バイオ分子アレイ、ゲノム工学、など		
28050	〔ナノマイクロシステム関連〕	28	D
	MEMS、NEMS、BioMEMS、ナノマイクロ加工、ナノマイクロ光デバイス、ナノマイクロ化学システム、ナノマイクロバイオシステム、ナノマイクロ生体システム、ナノマイクロメカニクス、ナノマイクロセンサー、など		
29010	〔応用物性関連〕	29	D
	磁性体、超伝導体、誘電体、微粒子、有機分子、液晶、新機能材料、有機分子バイオエレクトロニクス、スピントロニクス、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
29020	〔薄膜および表面界面物性関連〕	29	D
	薄膜工学、薄膜エレクトロニクス、酸化物エレクトロニクス、真空、表面科学、分析、計測、ナノ顕微技術、表面界面制御、先端機器、など		
29030	〔応用物理一般関連〕	29	D
	基本物理量、標準、単位、物理量計測、物理量検出、エネルギー変換、など		
30010	〔結晶工学関連〕	30	D
	金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学、など		
30020	〔光工学および光量子科学関連〕	30	D
	光材料、光学素子、光物性、光情報処理、レーザー、光計測、光記録、光エレクトロニクス、非線形光学、視覚光学、など		
31010	〔原子力工学関連〕	31	D
	炉物理安全設計、熱流動構造、燃料材料、原子力化学、原子力ライフサイクル、放射線安全、放射線ビーム工学、核融合炉プラズマ工学、核融合炉機器材料工学、原子力社会環境、など		
31020	〔地球資源工学およびエネルギー学関連〕	31	D
	地球資源論、資源探査、資源開発、資源循環、資源経済、エネルギーシステム、環境負荷評価、再生可能エネルギー、資源エネルギー技術政策、など		
32010	〔基礎物理化学関連〕	32	E
	理論化学、分子分光、構造化学、電子状態動力学、化学反応ダイナミクス、表面・界面、クラスターとナノ物質、生体関連物理化学、液体構造ダイナミクス、固体物性、分子物性、など		
32020	〔機能物性化学関連〕	32	E
	光物性、スピン、デバイスと分子素子、超分子、液晶、結晶、表面・界面、微粒子、コロイド、電気化学、電子物性、など		
33010	〔構造有機化学および物理有機化学関連〕	33	E
	有機結晶、分子認識、超分子、有機機能物質、拡張 π 電子系化合物、複素環化学、有機元素化学、有機反応機構、有機光化学、理論有機化学、など		
33020	〔有機合成化学関連〕	33	E
	選択的合成、不斉合成、有機金属錯体、触媒設計、有機分子触媒、生体触媒、環境調和型合成、天然物合成、プロセス化学、有機電気化学、など		
34010	〔無機・錯体化学関連〕	34	E
	金属錯体化学、有機金属化学、無機固体化学、生物無機化学、溶液化学、クラスター、超分子、配位高分子、典型元素、機能物性、など		
34020	〔分析化学関連〕	34	E
	スペクトル分析、先端計測、表面・界面分析、分離分析、分析試薬、放射化学、電気化学分析、バイオ分析、新分析法、など		
34030	〔グリーンサステナブルケミストリーおよび環境化学関連〕	34	E
	グリーンプロセス、グリーン触媒、リサイクル、環境計測、環境調和型物質、環境負荷低減、環境修復、省資源、地球化学、環境放射能、など		
35010	〔高分子化学関連〕	35	E
	高分子合成、高分子反応、精密重合、機能性高分子、自己組織化高分子、キラル高分子、生体関連高分子、高分子物性、高分子構造、高分子薄膜・表面、など		
35020	〔高分子材料関連〕	35	E
	高分子材料物性、高分子材料合成、高分子機能材料、高分子液晶材料、繊維材料、ゴム材料、ゲル、生体関連高分子材料、高分子複合材料、高分子加工、など		
35030	〔有機機能材料関連〕	35	E
	有機半導体材料、液晶、光学材料、デバイス関連材料、導電機能材料、ハイブリッド材料、分子機能材料、有機複合材料、エネルギー変換材料、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
36010	〔無機物質および無機材料化学関連〕	36	E
	結晶、アモルファス、セラミックス、半導体、無機デバイス関連材料、低次元化合物関連化学、多孔体関連化学、ナノ粒子関連化学、多元系化合物、ハイブリッド材料、など		
36020	〔エネルギー関連化学〕	36	E
	エネルギー資源、エネルギー変換材料、エネルギーキャリア関連、光エネルギー利用、物質分離、物質変換と触媒、電池と電気化学材料、省エネルギー材料、再生可能エネルギー、未利用エネルギー、など		
37010	〔生体関連化学〕	37	E
	生物有機化学、生物無機化学、生体反応化学、生体機能化学、生体機能材料、バイオテクノロジー、など		
37020	〔生物分子化学関連〕	37	E
	天然物化学、生物活性分子、活性発現の分子機構、生体機能分子、コンビナトリアル化学、メタボローム解析、など		
37030	〔ケミカルバイオロジー関連〕	37	E
	生体内機能発現、生体内化学反応、創薬科学、化合物ライブラリー、構造活性相関、化学プローブ、分子計測、分子イメージング、プロテオミクス、など		
38010	〔植物栄養学および土壌学関連〕	38	F
	植物代謝生理、植物の栄養元素、土壌分類、土壌物理化学、土壌生物、など		
38020	〔応用微生物学関連〕	38	F
	微生物遺伝育種、微生物機能、微生物代謝生理、微生物利用、微生物制御、微生物生態、物質生産、など		
38030	〔応用生物化学関連〕	38	F
	細胞生化学、応用生化学、構造生物学、活性制御、代謝生理、細胞機能、分子機能、物質生産、など		
38040	〔生物有機化学関連〕	38	F
	生物活性物質、シグナル伝達調節物質、天然物化学、天然物生合成、構造活性相関、有機合成化学、ケミカルバイオロジー、など		
38050	〔食品科学関連〕	38	F
	食品機能、食品化学、栄養化学、食品分析、食品工学、食品衛生、機能性食品、栄養疫学、臨床栄養、など		
38060	〔応用分子細胞生物学関連〕	38	F
	分子細胞生物学、細胞生物工学、機能分子工学、発現制御、細胞分子間相互作用、細胞機能、物質生産、など		
39010	〔遺伝育種科学関連〕	39	F
	遺伝資源、育種理論、ゲノム育種、新規形質創生、品質成分、ストレス耐性、収量性、生殖増殖、生長生理、発生、など		
39020	〔作物生産科学関連〕	39	F
	土地利用型作物、作物収量、作物品質、作物形態、生育予測、作物生理、耕地管理、低コスト栽培技術、環境保全型農業、耕地生態系、など		
39030	〔園芸科学関連〕	39	F
	成長開花結実制御、種苗生産、作型、栽培技術、施設園芸、環境制御、品種開発、品質、ポストハーベスト、社会園芸、など		
39040	〔植物保護科学関連〕	39	F
	植物病理学、植物医科学、農業害虫、天敵、雑草、農薬、総合的有害生物管理、など		
39050	〔昆虫科学関連〕	39	F
	蚕糸昆虫利用学、昆虫遺伝、昆虫病理、昆虫生理生化学、昆虫生態、化学生態学、系統分類、寄生・共生、社会性昆虫、衛生昆虫、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
39060	〔生物資源保全学関連〕	39	F
	保全生物、生物多様性保全、系統生物保全、遺伝子資源保全、生態系保全、在来種保全、微生物保全、など		
39070	〔ランドスケープ科学関連〕	39	F
	造園、緑地計画、景観計画、文化的景観、自然環境保全、ランドスケープエコロジー、公園緑地管理、公園、環境緑化、参加型まちづくり、など		
40010	〔森林科学関連〕	40	F
	森林生態、森林生物多様性、森林遺伝育種、造林、森林保護、森林環境、山地保全、森林計画、森林政策、など		
40020	〔木質科学関連〕	40	F
	組織構造、材質、リグノセルロース、微量成分、菌類、木材加工、バイオマスリファイナリー、木質材料、木造建築、林産教育、など		
40030	〔水圏生産科学関連〕	40	F
	水圏環境、漁業、水産資源管理、水圏生物、水圏生態系、水産増殖、水産工学、水産政策、水産経営経済、水産教育、など		
40040	〔水圏生命科学関連〕	40	F
	水生生物栄養、水生生物病理、水生生物繁殖育種、水生生物生理、水生生物利用、水生生物化学、水生生物工学、水産食品科学、など		
41010	〔食料農業経済関連〕	41	F
	食料消費経済、農業生産経済、農林水産政策、フードシステム、食料マーケティング、国際農業開発、農畜産物貿易、農村資源環境、など		
41020	〔農業社会構造関連〕	41	F
	農業経営組織、農業経営管理、農業構造、農業市場、農業史、農村社会、農村生活、協同組合、など		
41030	〔地域環境工学および農村計画学関連〕	41	F
	灌漑排水、農地整備、農村計画、地域環境、資源エネルギー循環、地域防災、農業用施設のストックマネジメント、水理水文、土壌物理、材料施工、など		
41040	〔農業環境工学および農業情報工学関連〕	41	F
	生物生産施設、農業機械システム、生産環境調節、農業気象環境、農業情報システム、施設園芸、植物工場、農産物貯蔵流通加工、非破壊生体計測、遠隔計測情報処理、など		
41050	〔環境農学関連〕	41	F
	バイオマス、環境利用改善、生物多様性、環境分析、生態系サービス、資源循環システム、低炭素社会、ライフサイクルアセスメント、環境調和型農業、流域管理、など		
42010	〔動物生産科学関連〕	42	F
	遺伝育種、繁殖、栄養飼養、形態生理、畜産物利用、環境管理、行動、アニマルセラピー、草地、放牧、など		
42020	〔獣医学関連〕	42	F
	基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学、動物看護、動物福祉、野生動物、など		
42030	〔動物生命科学関連〕	42	F
	恒常性、細胞機能、生体防御、総合遺伝、発生分化、生命工学、など		
42040	〔実験動物学関連〕	42	F
	遺伝子工学、発生工学、疾患モデル、施設整備、実験動物福祉、実験動物関連技術、バイオリソース、など		
43010	〔分子生物学関連〕	43	G
	染色体機能、クロマチン、エピジェネティクス、遺伝情報の維持、遺伝情報の継承、遺伝情報の再編、遺伝情報の発現、タンパク質の機能調節、分子遺伝、など		
43020	〔構造生物化学関連〕	43	G
	タンパク質、核酸、脂質、糖、生体膜、分子認識、変性、立体構造解析、立体構造予測、分子動力学、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
43030	〔機能生物化学関連〕	43	G
	酵素、糖鎖、生体エネルギー変換、生体微量元素、生理活性物質、細胞情報伝達、膜輸送、タンパク質分解、分子認識、など		
43040	〔生物物理学関連〕	43	G
	構造生物学、生体分子の物性、生体膜、光生物、分子モーター、生体計測、バイオイメージング、システム生物学、合成生物学、理論生物学、など		
43050	〔ゲノム生物学関連〕	43	G
	ゲノム構造、ゲノム機能、ゲノム多様性、ゲノム分子進化、ゲノム修復維持、トランスオミックス、エピゲノム、遺伝子資源、ゲノム動態、など		
43060	〔システムゲノム科学関連〕	43	G
	ネットワーク解析、合成生物学、バイオデータベース、バイオインフォマティクス、ゲノム解析技術、ゲノム生物工学、など		
44010	〔細胞生物学関連〕	44	G
	細胞骨格、タンパク質分解、オルガネラの動態、核の構造機能、細胞外マトリックス、シグナル伝達、細胞周期、細胞運動、細胞間相互作用、細胞遺伝、など		
44020	〔発生生物学関連〕	44	G
	細胞分化、幹細胞、再生、胚葉形成、形態形成、器官形成、受精、生殖細胞、遺伝子発現調節、発生遺伝、進化発生、など		
44030	〔植物分子および生理科学関連〕	44	G
	光合成、成長生理、植物発生、オルガネラ、細胞壁、環境応答、植物微生物相互作用、代謝、植物分子機能、など		
44040	〔形態および構造関連〕	44	G
	動植物形態、微生物形態、分子形態、微細構造、組織構築、形態形成、比較内分泌、顕微鏡技術、イメージング、など		
44050	〔動物生理化学、生理学および行動学関連〕	44	G
	代謝生理、神経生理、神経行動、行動生理、動物生理化学、時間生物学、比較生理学、など		
45010	〔遺伝学関連〕	45	G
	遺伝機構、分子遺伝、細胞遺伝、集団遺伝、進化遺伝、発生遺伝、行動遺伝、遺伝的多様性、など		
45020	〔進化生物学関連〕	45	G
	進化全般、分子進化、表現型進化、発生進化、生態進化、行動進化、実験進化、進化理論、共生進化、系統進化、種分化、など		
45030	〔多様性生物学および分類学関連〕	45	G
	分類形質、分類群、分類体系、多様性全般、系統、進化、自然史、種分化、など		
45040	〔生態学および環境学関連〕	45	G
	化学生態、分子生態、生理生態、進化生態、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系、保全生態、自然環境、など		
45050	〔自然人類学関連〕	45	G
	分子と遺伝、形態全般、骨考古全般、行動認知、生態、霊長類、進化、個体発生、変異、など		
45060	〔応用人類学関連〕	45	G
	生理人類学、人間工学、法医学人類学、医療人類学、生理的多型性、環境適応能全般、生体機能全般、生体計測全般、など		
46010	〔神経科学一般関連〕	46	G
	神経化学、神経細胞、グリア細胞、ゲノム、エピジェネティクス、神経生物、情報処理、シナプス、神経発生、など		
46020	〔神経形態学関連〕	46	G
	形態形成、脳構造、回路構造、神経病理、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
46030	〔神経機能学関連〕	46	G
	神経生理、神経薬理、情報伝達、情報処理、行動、システム生理、脳循環、自律神経、など		
47010	〔薬系化学および創薬科学関連〕	47	H
	無機化学、有機化学、医薬品化学、医薬分子設計、医薬品探索、生体関連物質、ケミカルバイオロジー、など		
47020	〔薬系分析および物理化学関連〕	47	H
	環境分析、生体分析、物理化学、生物物理、構造解析、放射化学、イメージング、製剤設計、計算科学、情報科学、など		
47030	〔薬系衛生および生物化学関連〕	47	H
	環境衛生、健康栄養、疾病予防、毒性学、薬物代謝、生体防御、分子生物学、細胞生物学、生化学、など		
47040	〔薬理学関連〕	47	H
	薬理学、ゲノム薬理学、応用薬理学、シグナル伝達、薬物相互作用、薬物応答、薬物治療、安全性学、など		
47050	〔環境および天然医薬資源学関連〕	47	H
	環境資源学、天然物化学、天然活性物質、薬用資源、薬用食品、微生物薬品学、など		
47060	〔医療薬学関連〕	47	H
	薬物動態学、医療情報学、社会薬学、医療薬学、医療薬剤学、レギュラトリーサイエンス、薬剤師教育、など		
48010	〔解剖学関連〕	48	H
	解剖学、組織学、発生学、など		
48020	〔生理学関連〕	48	H
	一般生理学、病態生理学、比較生理学、環境生理学、など		
48030	〔薬理学関連〕	48	H
	ゲノム薬理、分子細胞薬理、病態薬理、行動薬理、創薬薬理学、臨床薬理、など		
48040	〔医化学関連〕	48	H
	生体機能分子医化学、ゲノム医科学、人類遺伝学、疾患モデル、など		
49010	〔病態医化学関連〕	49	H
	分子病態、代謝異常、分子診断、など		
49020	〔人体病理学関連〕	49	H
	分子病理、細胞組織病理、診断病理、など		
49030	〔実験病理学関連〕	49	H
	疾患モデル、病態制御、組織再生、など		
49040	〔寄生虫学関連〕	49	H
	寄生虫、媒介生物、寄生虫病原性、寄生虫疫学、寄生虫感染制御、など		
49050	〔細菌学関連〕	49	H
	細菌、真菌、薬剤耐性、細菌病原性、細菌疫学、細菌感染制御、など		
49060	〔ウイルス学関連〕	49	H
	ウイルス、プリオン、ウイルス病原性、ウイルス疫学、ウイルス感染制御、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
49070	〔免疫学関連〕	49	H
	免疫システム、免疫応答、炎症、免疫疾患、免疫制御、など		
50010	〔腫瘍生物学関連〕	50	I
	がん遺伝子、腫瘍形成、浸潤、転移、がん微小環境、がんシグナル伝達、がん細胞の特性、など		
50020	〔腫瘍診断および治療学関連〕	50	I
	ゲノム解析、診断マーカー、分子イメージング、化学療法、核酸治療、遺伝子治療、免疫療法、標的治療、物理療法、放射線療法、など		
51010	〔基盤脳科学関連〕	51	I
	ブレインマシンインターフェイス、モデル動物、計算論、デコーディング、操作技術、脳画像、計測科学、など		
51020	〔認知脳科学関連〕	51	I
	社会行動、コミュニケーション、情動、意志決定、意識、学習、ニューロエコノミクス、神経心理、など		
51030	〔病態神経科学関連〕	51	I
	臨床神経科学、疼痛学、感覚異常、運動異常、神経疾患、神経再生、神経免疫、細胞変性、病態モデル、など		
52010	〔内科学一般関連〕	52	I
	臨床検査医学、総合診療、老年医学、心療内科、東洋医学、緩和医療、など		
52020	〔神経内科学関連〕	52	I
	神経内科学、神経機能画像学、など		
52030	〔精神神経科学関連〕	52	I
	臨床精神医学、基礎精神医学、司法精神医学、など		
52040	〔放射線科学関連〕	52	I
	画像診断学、放射線治療学、放射線基礎医学、放射線技術学、など		
52050	〔胎児医学および小児成育学関連〕	52	I
	胎児医学、新生児医学、小児科学、など		
53010	〔消化器内科学関連〕	53	I
	上部消化管、下部消化管、肝臓、胆道、膵臓、など		
53020	〔循環器内科学関連〕	53	I
	虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、心筋症、心不全、末梢動脈疾患、動脈硬化、高血圧、など		
53030	〔呼吸器内科学関連〕	53	I
	呼吸器内科学、喘息、びまん性肺疾患、COPD、肺がん、肺高血圧、など		
53040	〔腎臓内科学関連〕	53	I
	急性腎障害、慢性腎臓病、糖尿病性腎症、高血圧、水電解質代謝、人工透析、など		
53050	〔皮膚科学関連〕	53	I
	皮膚科学、皮膚免疫疾患、皮膚感染、皮膚腫瘍、など		
54010	〔血液および腫瘍内科学関連〕	54	I
	血液腫瘍学、血液免疫学、貧血、血栓止血、化学療法、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
54020	〔膠原病およびアレルギー内科学関連〕	54	I
	膠原病学、アレルギー学、臨床免疫学、炎症学、など		
54030	〔感染症内科学関連〕	54	I
	感染症診断学、感染症治療学、生体防御学、国際感染症学、など		
54040	〔代謝および内分泌学関連〕	54	I
	エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、プリン代謝、骨代謝、電解質代謝、内分泌学、神経内分泌学、生殖内分泌学、など		
55010	〔外科学一般および小児外科学関連〕	55	I
	外科総論、乳腺外科、内分泌外科、小児外科、移植、人工臓器、再生、手術支援、など		
55020	〔消化器外科学関連〕	55	I
	上部消化管外科、下部消化管外科、肝臓外科、胆道外科、膵臓外科、など		
55030	〔心臓血管外科学関連〕	55	I
	冠動脈外科、弁膜疾患外科、心筋疾患外科、大血管外科、脈管外科、先天性心疾患、など		
55040	〔呼吸器外科学関連〕	55	I
	肺外科、縦隔外科、胸壁外科、気道外科、など		
55050	〔麻酔科学関連〕	55	I
	麻酔、周術期管理、疼痛管理、蘇生、緩和医療、など		
55060	〔救急医学関連〕	55	I
	集中治療、救急救命、外傷外科、災害医学、災害医療、など		
56010	〔脳神経外科学関連〕	56	I
	脳神経外科学、脊髄脊椎疾患学、など		
56020	〔整形外科科学関連〕	56	I
	整形外科科学、リハビリテーション学、スポーツ医学、など		
56030	〔泌尿器科学関連〕	56	I
	泌尿器科学、男性生殖器学、など		
56040	〔産婦人科学関連〕	56	I
	周産期学、生殖内分泌学、婦人科腫瘍学、女性ヘルスケア学、など		
56050	〔耳鼻咽喉科学関連〕	56	I
	耳鼻咽喉科学、頭頸部外科学、など		
56060	〔眼科学関連〕	56	I
	眼科学、眼光学、など		
56070	〔形成外科学関連〕	56	I
	形成外科学、再建外科学、美容外科学、など		
57010	〔常態系口腔科学関連〕	57	I
	口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、硬組織薬理学、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
57020	〔病態系口腔科学関連〕	57	I
	口腔感染症学、口腔病理学、口腔腫瘍学、免疫炎症科学、病態検査学、など		
57030	〔保存治療系歯学関連〕	57	I
	保存修復学、歯内治療学、歯周病学、など		
57040	〔口腔再生医学および歯科医用工学関連〕	57	I
	口腔再生医学、生体材料、歯科材料学、顎顔面補綴学、歯科インプラント学、など		
57050	〔補綴系歯学関連〕	57	I
	歯科補綴学、咀嚼嚥下機能回復学、老年歯科医学、など		
57060	〔外科系歯学関連〕	57	I
	口腔外科学、顎顔面再建外科学、歯科麻酔学、歯科心身医学、歯科放射線学、など		
57070	〔成長および発育系歯学関連〕	57	I
	歯科矯正学、小児歯科学、など		
57080	〔社会系歯学関連〕	57	I
	口腔衛生学、予防歯科学、口腔保健学、歯科医療管理学、歯学教育学、歯科法医学、など		
58010	〔医療管理学および医療系社会学関連〕	58	I
	医療管理学、医療社会学、医学倫理、医療倫理、医歯薬学教育、医学史、医療経済学、臨床試験、保健医療行政、災害医学、など		
58020	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む〕	58	I
	衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健、など		
58030	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない〕	58	I
	衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健、など		
58040	〔法医学関連〕	58	I
	法医学、法医病理、法中毒、法医遺伝、自殺、虐待、突然死、など		
58050	〔基礎看護学関連〕	58	I
	基礎看護学、看護教育学、看護管理学、など		
58060	〔臨床看護学関連〕	58	I
	重篤救急看護学、周術期看護学、慢性病看護学、がん看護学、精神看護学、緩和ケア、など		
58070	〔生涯発達看護学関連〕	58	I
	女性看護学、母性看護学、助産学、家族看護学、小児看護学、学校看護学、など		
58080	〔高齢者看護学および地域看護学関連〕	58	I
	高齢者看護学、地域看護学、公衆衛生看護学、災害看護学、など		
59010	〔リハビリテーション科学関連〕	59	I
	リハビリテーション医学、リハビリテーション看護学、リハビリテーション医療、理学療法学、作業療法学、福祉工学、言語聴覚療法学、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
59020	〔スポーツ科学関連〕	59	I
	スポーツ生理学、スポーツ生化学、スポーツ医学、スポーツ社会学、スポーツ経営学、スポーツ心理学、スポーツ教育学、トレーニング科学、スポーツバイオメカニクス、アダプテッドスポーツ科学、ドーピング、など		
59030	〔体育および身体教育学関連〕	59	I
	発育発達、身体教育、学校教育、教育生理学、身体システム学、脳高次機能学、武道論、野外教育、など		
59040	〔栄養学および健康科学関連〕	59	I
	栄養生理学、栄養生化学、栄養教育、臨床栄養、機能性食品、生活習慣病、ヘルスプロモーション、老化、など		
60010	〔情報学基礎論関連〕	60	J
	離散構造、数理論理学、計算理論、プログラム理論、計算量理論、アルゴリズム理論、情報理論、符号理論、暗号理論、学習理論、など		
60020	〔数理情報学関連〕	60	J
	最適化理論、数理システム理論、システム制御理論、システム分析、システム方法論、システムモデリング、システムシミュレーション、組合せ最適化、待ち行列論、数理ファイナンス、など		
60030	〔統計科学関連〕	60	J
	統計学、データサイエンス、モデル化、統計的推測、多変量解析、時系列解析、統計的品質管理、応用統計学、など		
60040	〔計算機システム関連〕	60	J
	計算機アーキテクチャ、回路とシステム、LSI設計、LSIテスト、リコンフィギャラブルシステム、ディペンダブルアーキテクチャ、低消費電力技術、ハードウェア・ソフトウェア協調設計、組込みシステム、など		
60050	〔ソフトウェア関連〕	60	J
	プログラミング言語、プログラミング方法論、オペレーティングシステム、並列分散処理、ソフトウェア工学、仮想化技術、クラウドコンピューティング、ソフトウェアディペンダビリティ、ソフトウェアセキュリティ、など		
60060	〔情報ネットワーク関連〕	60	J
	ネットワークアーキテクチャ、ネットワークプロトコル、インターネット、モバイルネットワーク、パーベイシブコンピューティング、センサーネットワーク、IoT、トラフィックエンジニアリング、ネットワーク管理、サービス構築基盤技術、など		
60070	〔情報セキュリティ関連〕	60	J
	暗号、耐タンパー技術、認証、バイオメトリクス、アクセス制御、マルウェア対策、サービス妨害攻撃対策、プライバシー保護、デジタルフォレンジクス、セキュリティ評価認証、など		
60080	〔データベース関連〕	60	J
	データモデル、データベースシステム、マルチメディアデータベース、情報検索、コンテンツ管理、メタデータ、ビッグデータ、地理情報システム、など		
60090	〔高性能計算関連〕	60	J
	並列処理、分散処理、クラウドコンピューティング、数値解析、可視化、コンピュータグラフィクス、高性能計算アプリケーション、など		
60100	〔計算科学関連〕	60	J
	数理工学、計算力学、数値シミュレーション、マルチスケール、大規模計算、超並列計算、数値計算手法、先進アルゴリズム、など		
61010	〔知覚情報処理関連〕	61	J
	パターン認識、画像処理、コンピュータビジョン、視覚メディア処理、音メディア処理、メディア編集、メディアデータベース、センシング、センサ融合、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
61020	〔ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連〕	61	J
	ヒューマンインタフェース、マルチモーダルインタフェース、ヒューマンコンピュータインタラクション、協同作業環境、バーチャルリアリティ、拡張現実、臨場感コミュニケーション、ウェアラブル機器、ユーザビリティ、人間工学、など		
61030	〔知能情報学関連〕	61	J
	探索、推論、機械学習、知識獲得、知的システム、知能情報処理、自然言語処理、データマイニング、オントロジー、エージェントシステム、など		
61040	〔ソフトコンピューティング関連〕	61	J
	ニューラルネットワーク、進化計算、ファジィ理論、カオス、複雑系、確率的情報処理、など		
61050	〔知能ロボティクス関連〕	61	J
	知能ロボット、行動環境認識、プランニング、感覚行動システム、自律システム、ディジタルヒューマン、実世界情報処理、物理エージェント、知能化空間、など		
61060	〔感性情報学関連〕	61	J
	感性デザイン学、感性認知科学、感性心理学、感性ロボティクス、感性計測評価、感性インタフェース、感性生理学、感性材料科学、感性教育学、感性脳科学、など		
62010	〔生命、健康および医療情報学関連〕	62	J
	バイオインフォマティクス、生命情報、生体情報、ニューロインフォマティクス、脳型情報処理、生命分子計算、DNAコンピュータ、医療情報、健康情報、医用画像、など		
62020	〔ウェブ情報学およびサービス情報学関連〕	62	J
	ウェブシステム、ソーシャルウェブ、セマンティックウェブ、ウェブマイニング、社会ネットワーク分析、サービス工学、教育サービス、医療サービス、福祉サービス、社会サービス、情報文化、など		
62030	〔学習支援システム関連〕	62	J
	メディアリテラシー、学習メディア、ソーシャルメディア、学習コンテンツ、学習管理、学習支援、遠隔学習、eラーニング、など		
62040	〔エンタテインメントおよびゲーム情報学関連〕	62	J
	音楽情報処理、3Dコンテンツ、アニメーション、ゲームプログラミング、ネットワークエンタテインメント、メディアアート、デジタルミュージアム、体験デザイン、など		
63010	〔環境動態解析関連〕	63	K
	地球温暖化、環境変動、水・物質循環、極域、化学海洋、生物海洋、環境計測、環境モデル、環境情報、リモートセンシング、など		
63020	〔放射線影響関連〕	63	K
	放射線、測定、管理、修復、生物影響、リスク、など		
63030	〔化学物質影響関連〕	63	K
	トキシコロジー、人体有害物質、微量化学物質、内分泌かく乱物質、修復、など		
63040	〔環境影響評価関連〕	63	K
	大気圏、水圏、陸圏、健康影響評価、社会経済影響評価、次世代影響評価、環境アセスメント、評価手法、モニタリング、シミュレーション、など		
64010	〔環境負荷およびリスク評価管理関連〕	64	K
	環境分析技術、環境負荷解析、調査モニタリング、汚染質動態、モデリング、汚染質評価、暴露評価、毒性評価、リスク評価管理、化学物質管理、など		
64020	〔環境負荷低減技術および保全修復技術関連〕	64	K
	汚染物質除去技術、廃棄物処理技術、排出発生抑制、適正処理処分、環境負荷低減、汚染修復技術、騒音振動対策、地盤沈下等対策、生物機能利用、放射能除染、など		

小区分	内容の例	対応する中区分、大区分	
		中区分	大区分
64030	〔環境材料およびリサイクル技術関連〕	64	K
	循環再生材料、有価物回収、分離精製高純度化、環境配慮設計、リサイクル化学、グリーンプロダクション、ゼロエミッション、資源循環、再生可能エネルギー、バイオマス利活用、など		
64040	〔自然共生システム関連〕	64	K
	生物多様性、保全生物、生態系サービス、自然資本、生態系影響解析、生態系管理、生態系修復、生態工学、地域環境計画、気候変動影響、など		
64050	〔循環型社会システム関連〕	64	K
	物質循環システム、物質エネルギー収支解析、低炭素社会、未利用エネルギー、地域創生、水システム、産業共生、ライフサイクル評価、統合的環境管理、3R社会システム、など		
64060	〔環境政策および環境配慮型社会関連〕	64	K
	環境理念、環境法、環境経済、環境情報、環境教育、環境社会活動、環境マネジメント、合意形成、安全安心、社会公共システム、持続可能発展、など		
90010	〔デザイン学関連〕	1, 23, 61	A, C, J
	情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育、など		
90020	〔図書館情報学および人文社会情報学関連〕	2, 62	A, J
	図書館学、情報サービス、情報組織化、情報検索、情報メディア、計量情報学、情報資源、情報倫理、人文情報学、社会情報学、デジタルアーカイブス、など		
90030	〔認知科学関連〕	10, 61	A, J
	認知科学一般、認知モデル、感性、ヒューマンファクターズ、認知脳科学、比較認知、認知言語学、認知工学、など		
90110	〔生体医工学関連〕	90	D, I
	医用画像、生体モデリング、生体シミュレーション、生体計測、人工臓器学、再生医工学、生体物性、生体制御、バイオメカニクス、ナノバイオシステム、など		
90120	〔生体材料学関連〕	90	D, I
	生体機能材料、細胞組織工学材料、生体適合材料、ナノバイオ材料、再生医工学材料、薬物送達システム、刺激応答材料、遺伝子工学材料、など		
90130	〔医用システム関連〕	90	D, I
	医用超音波システム、画像診断システム、検査診断システム、低侵襲治療システム、遠隔診断治療システム、臓器保存システム、医療情報システム、コンピュータ外科学、医用ロボット、など		
90140	〔医療技術評価学関連〕	90	D, I
	レギュラトリーサイエンス、安全性評価、臨床研究、医療技術倫理、医療機器、など		
90150	〔医療福祉工学関連〕	90	D, I
	健康福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉介護用ロボット、生体機能代行、福祉用具、看護理工学、など		

審査区分表（中区分、大区分一覧）

審査区分を選択するにあたっては、応募者は、審査区分表（総表）を基に、審査区分の全体像を把握できます。さらに、中区分、大区分の詳しい内容について、本中区分、大区分一覧を確認の上、応募する審査区分を選択してください。

なお、小区分の中には、複数の中区分や大区分に表れているものがあります。複数の中区分に対応している小区分は下表のとおり9つあり、このうち、複数の大区分に対応している小区分は3つあります。

また、小区分番号 90110～90150 の5つの小区分は、対応する中区分は1つですが、それぞれ2つの大区分に対応しています。

【複数の中区分、大区分に表れる小区分】

小区分名	小区分の説明	対応する中区分	対応する大区分
02090	日本語教育関連	2, 9	A
02100	外国語教育関連	2, 9	A
80010	地域研究関連	4, 6	A
80020	観光学関連	4, 7, 8	A
80030	ジェンダー関連	4, 6, 8	A
80040	量子ビーム科学関連	1 4, 1 5	B
90010	デザイン学関連	1, 2 3, 6 1	A, C, J
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連	2, 6 2	A, J
90030	認知科学関連	1 0, 6 1	A, J
90110	生体医工学関連	9 0	D, I
90120	生体材料学関連	9 0	D, I
90130	医用システム関連	9 0	D, I
90140	医療技術評価学関連	9 0	D, I
90150	医療福祉工学関連	9 0	D, I

【複数の大区分に表れる中区分】

中区分名	中区分の説明	対応する大区分
9 0	人間医工学およびその関連分野	D, I

大区分 A

中区分1：思想、芸術およびその関連分野

小区分	内容の例
01010	〔哲学および倫理学関連〕 哲学一般、倫理学一般、西洋哲学、西洋倫理学、日本哲学、日本倫理学、応用倫理学、など
01020	〔中国哲学、印度哲学および仏教学関連〕 中国哲学思想、インド哲学思想、仏教思想、書誌学、文献学、など
01030	〔宗教学関連〕 宗教史、宗教哲学、神学、宗教社会学、宗教心理学、宗教人類学、宗教民俗学、神話学、書誌学、文献学、など
01040	〔思想史関連〕 思想史一般、西洋思想史、東洋思想史、日本思想史、など
01050	〔美学および芸術論関連〕 芸術哲学、感性論、各種芸術論、など
01060	〔美術史関連〕 日本美術、東洋美術、西洋美術、現代美術、工芸、デザイン、建築、服飾、写真、など
01070	〔芸術実践論関連〕 各種芸術表現法、アートマネジメント、芸術政策、芸術産業、など
01080	〔科学社会学および科学技術史関連〕 科学社会学、科学史、技術史、医学史、産業考古学、科学哲学、科学基礎論、科学技術社会論、など
90010	〔デザイン学関連〕 情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育、など

中区分2：文学、言語学およびその関連分野

小区分	内容の例
02010	〔日本文学関連〕 日本文学一般、古代文学、中世文学、漢文学、書誌学、文献学、近世文学、近代文学、現代文学、関連文学理論、など
02020	〔中国文学関連〕 中国文学、書誌学、文献学、関連文学理論、など
02030	〔英文学および英語圏文学関連〕 英文学、米文学、英語圏文学、関連文学理論、書誌学、文献学、など
02040	〔ヨーロッパ文学関連〕 仏文学、仏語圏文学、独文学、独語圏文学、西洋古典学、ロシア東欧文学、その他のヨーロッパ語系文学、関連文学理論、書誌学、文献学、など
02050	〔文学一般関連〕 諸地域諸言語の文学、文学理論、比較文学、書誌学、文献学、文学教育、など

02060	〔言語学関連〕 音声音韻論、意味語用論、形態統語論、社会言語学、対照言語学、心理言語学、神経言語学、通時の研究、コーパス言語学、危機言語、など
02070	〔日本語学関連〕 音声音韻、表記、語彙と意味、文法、文体、語用論、言語生活、方言、日本語史、日本語学史、など
02080	〔英語学関連〕 音声音韻、語彙と意味、文法、文体、語用論、社会言語学、英語の多様性、コーパス研究、英語史、英語学史、など
02090	〔日本語教育関連〕 学習者研究、言語習得、教材開発、カリキュラム評価、目的別日本語教育、バイリンガル教育、教師研究、日本語教育のための日本語研究、日本語教育史、異文化理解、など
02100	〔外国語教育関連〕 学習法、コンピュータ支援学習（CALL）、教材開発、言語テスト、第二言語習得論、早期英語教育、外国語教育政策史、カリキュラム評価、外国語教師養成、異文化理解、など
90020	〔図書館情報学および人文社会情報学関連〕 図書館学、情報サービス、情報組織化、情報検索、情報メディア、計量情報学、情報資源、情報倫理、人文情報学、社会情報学、デジタルアーカイブス、など

中区分3：歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野

小区分	内容の例
03010	〔史学一般関連〕 歴史理論、歴史学方法論、史料研究、記憶とメディア、世界史、交流史、比較史、など
03020	〔日本史関連〕 日本史一般、古代史、中世史、近世史、近現代史、地方史、文化史、宗教史、環境史、都市史、交流史、比較史、史料研究、など
03030	〔アジア史およびアフリカ史関連〕 中国前近代史、中国近現代史、東アジア史、中央ユーラシア史、東南アジア史、オセアニア史、南アジア史、西アジア史、アフリカ史、交流史、比較史、史料研究、など
03040	〔ヨーロッパ史およびアメリカ史関連〕 ヨーロッパ古代史、ヨーロッパ中世史、西ヨーロッパ近現代史、東ヨーロッパ近現代史、南北アメリカ史、交流史、比較史、史料研究、など
03050	〔考古学関連〕 考古学一般、先史学、歴史考古学、日本考古学、アジア考古学、古代文明学、物質文化学、実験考古学、情報考古学、埋蔵文化財研究、など
03060	〔文化財科学関連〕 年代測定、材質分析、製作技法、保存科学、遺跡探査、動植物遺体、人骨、文化遺産、文化資源、文化財政政策、など
03070	〔博物館学関連〕 博物館展示学、博物館教育学、博物館情報学、博物館経営学、博物館行財政学、博物館資料論、博物館学史、など

中区分4：地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野

小区分	内容の例
04010	〔地理学関連〕 地理学一般、土地利用、景観、環境システム、地形学、気候学、水文学、地図学、地理情報システム、地域計画、など
04020	〔人文地理学関連〕 人文地理学一般、経済地理学、社会地理学、政治地理学、文化地理学、都市地理学、農村地理学、歴史地理学、地誌学、地理教育、など
04030	〔文化人類学および民俗学関連〕 文化人類学一般、民俗学一般、物質文化、生態、社会関係、宗教、芸術、医療、越境、マイノリティ、など

80010	〔地域研究関連〕 地域研究一般、地域間比較、援助、国際協力、地域間交流、環境、トランスナショナリズム、グローバリゼーション、社会開発、など
80020	〔観光学関連〕 観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼、など
80030	〔ジェンダー関連〕 ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画、など

中区分5：法学およびその関連分野

小区分	内容の例
05010	〔基礎法学関連〕 法哲学・法理学、ローマ法、法制史、法社会学、比較法、外国法、法政策学、法と経済、司法制度論、など
05020	〔公法学関連〕 憲法、行政法、租税法、など
05030	〔国際法学関連〕 国際公法、国際私法、国際人権法、国際経済法、EU法、など
05040	〔社会法学関連〕 労働法、経済法、社会保障法、教育法、など
05050	〔刑事法学関連〕 刑法、刑事訴訟法、犯罪学、刑事政策、少年法、法と心理、など
05060	〔民事法学関連〕 民法、商法、民事訴訟法、倒産法、紛争処理法制、など
05070	〔新領域法学関連〕 環境法、医事法、情報法、消費者法、知的財産法、法とジェンダー、法曹論、など

中区分6：政治学およびその関連分野

小区分	内容の例
06010	〔政治学関連〕 政治理論、政治思想史、政治史、日本政治史、現代日本政治、政治過程論、選挙研究、政治経済学、行政学、地方自治、比較政治、公共政策、など
06020	〔国際関係論関連〕 国際関係理論、現代国際関係、外交史、国際関係史、対外政策論、安全保障論、国際政治経済論、グローバルガバナンス論、国際協力論、など
80010	〔地域研究関連〕 地域研究一般、地域間比較、援助、国際協力、地域間交流、環境、トランスナショナリズム、グローバリゼーション、社会開発、など
80030	〔ジェンダー関連〕 ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画、など

中区分7：経済学、経営学およびその関連分野

小区分	内容の例
07010	〔理論経済学関連〕 ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、行動経済学、実験経済学、経済理論、進化経済学、経済制度、経済体制、など

07020	〔経済学説および経済思想関連〕 経済学説、経済思想、社会思想、経済哲学、など
07030	〔経済統計関連〕 統計制度、統計調査、人口統計、所得分布、資産分布、国民経済計算、計量経済学、計量ファイナンス、など
07040	〔経済政策関連〕 国際経済学、産業組織論、経済発展論、都市経済学、地域経済、環境資源経済学、日本経済論、経済政策一般、交通経済学、開発経済学、国際開発、など
07050	〔公共経済および労働経済関連〕 財政学、公共経済学、医療経済学、労働経済学、社会保障論、教育経済学、法と経済学、政治経済学、など
07060	〔金融およびファイナンス関連〕 金融論、ファイナンス、国際金融論、企業金融、金融工学、保険論、など
07070	〔経済史関連〕 経済史、経営史、産業史、など
07080	〔経営学関連〕 企業論、経営組織論、経営戦略論、経営管理論、人的資源管理論、技術経営論、国際経営論、経営情報論、経営工学、経営一般、など
07090	〔商学関連〕 マーケティング論、消費者行動論、流通論、商学一般、ロジスティクス、など
07100	〔会計学関連〕 財務会計論、管理会計論、監査論、会計一般、など
80020	〔観光学関連〕 観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼、など

中区分8 : 社会学およびその関連分野

小区分	内容の例
08010	〔社会学関連〕 社会学一般、地域社会、家族、労働、福祉社会学、ジェンダー、メディア、エスニシティ、社会運動、社会調査法、医療社会学、社会人口学、など
08020	〔社会福祉学関連〕 ソーシャルワーク、社会福祉政策学、社会事業史、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、地域福祉、貧困、ボランティア、社会福祉学一般、など
08030	〔家政学および生活科学関連〕 生活文化、家庭経済、消費生活、ライフスタイル、衣文化、食文化、住文化、衣生活、食生活、住生活、生活科学一般、家政学一般、家政教育、など
80020	〔観光学関連〕 観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼、など
80030	〔ジェンダー関連〕 ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画、など

中区分9 : 教育学およびその関連分野

小区分	内容の例
09010	〔教育学関連〕 教育史、教育哲学、教育方法学、教育評価、教育指導者、学校教育、社会教育、職業教育訓練、生涯学習、教育制度、など

(大区分A)

09020	〔教育社会学関連〕 教育社会学、社会化、教育組織、進路キャリア形成、階層格差、ジェンダー、教育政策、比較教育、国際開発、など
09030	〔子ども学および保育学関連〕 子ども学、保育学、子どもの権利、発達、保育の内容方法、子育て施設、保育者、保育子育て支援制度、子ども文化、歴史と思想、など
09040	〔教科教育学および初等中等教育学関連〕 各教科の教育、教科外教育、生徒指導、キャリア教育、学校経営、教師教育、E S D、環境教育、リテラシー、など
09050	〔高等教育学関連〕 政策、入学者選抜、カリキュラム、学習進路支援、教職員、学術研究、地域連携貢献、国際化、大学経営、非大学型高等教育、など
09060	〔特別支援教育関連〕 理念と歴史、インクルージョンと共生社会、指導と支援、発達障害、情緒障害、知的障害、言語障害、身体障害、キャリア教育、など
09070	〔教育工学関連〕 カリキュラム開発、教授学習支援システム、メディアの活用、I C Tの活用、教師教育、情報リテラシー、など
09080	〔科学教育関連〕 科学教育、科学コミュニケーション、科学リテラシー、科学と社会、など
02090	〔日本語教育関連〕 学習者研究、言語習得、教材開発、カリキュラム評価、目的別日本語教育、バイリンガル教育、教師研究、日本語教育のための日本語研究、日本語教育史、異文化理解、など
02100	〔外国語教育関連〕 学習法、コンピュータ支援学習(CALL)、教材開発、言語テスト、第二言語習得論、早期英語教育、外国語教育政策史、カリキュラム評価、外国語教師養成、異文化理解、など

中区分10：心理学およびその関連分野

小区分	内容の例
10010	〔社会心理学関連〕 社会心理学一般、自己、集団、態度と行動、感情、対人関係、社会問題、文化、など
10020	〔教育心理学関連〕 教育心理学一般、発達、家庭、学校、臨床、パーソナリティ、学習、測定評価、など
10030	〔臨床心理学関連〕 臨床心理学一般、心理的障害、アセスメント、心理学的介入、養成訓練、健康、犯罪非行、コミュニティ、など
10040	〔実験心理学関連〕 実験心理学一般、感覚、知覚、注意、記憶、言語、情動、学習、など
90030	〔認知科学関連〕 認知科学一般、認知モデル、感性、ヒューマンファクターズ、認知脳科学、比較認知、認知言語学、認知工学、など

大区分B

中区分11：代数学、幾何学およびその関連分野

小区分	内容の例
11010	〔代数学関連〕 群論、環論、表現論、代数的組み合わせ論、数論、数論幾何学、代数幾何、代数解析、代数学一般、など
11020	〔幾何学関連〕 微分幾何学、リーマン幾何学、シンプレクティック幾何学、複素幾何学、位相幾何学、微分位相幾何学、低次元トポロジー、幾何学一般、など

中区分12：解析学、応用数学およびその関連分野

小区分	内容の例
12010	〔基礎解析学関連〕 函数解析学、複素解析、確率論、調和解析、作用素論、スペクトル解析、作用素環論、代数解析、表現論、基礎解析学一般、など
12020	〔数理解析学関連〕 函数方程式論、実解析、力学系、変分法、非線形解析、応用解析一般、など
12030	〔数学基礎関連〕 数学基礎論、情報理論、離散数学、計算機数学、数学基礎一般、など
12040	〔応用数学および統計数学関連〕 数値解析、数理モデル、最適制御、ゲーム理論、統計数学、応用数学一般、など

中区分13：物性物理学およびその関連分野

小区分	内容の例
13010	〔数理解物理および物性基礎関連〕 統計物理、物性基礎論、数理解物理、非平衡非線形物理、流体物理、計算物理、量子情報理論、など
13020	〔半導体、光物性および原子物理関連〕 半導体、誘電体、原子分子、メソスコピック系、結晶、表面界面、光物性、量子エレクトロニクス、量子情報、など
13030	〔磁性、超伝導および強相関系関連〕 磁性、強相関電子系、超伝導、量子流体固体、分子性固体、など
13040	〔生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連〕 生命現象の物理、生体物質の物理、液体とガラス、ソフトマター、レオロジー、など

中区分14：プラズマ学およびその関連分野

小区分	内容の例
14010	〔プラズマ科学関連〕 基礎プラズマ、磁化プラズマ、レーザープラズマ、強結合プラズマ、プラズマ診断、宇宙天体プラズマ、など
14020	〔核融合学関連〕 プラズマ閉じ込め、プラズマ制御、プラズマ加熱、プラズマ計測、周辺プラズマ、プラズマ壁相互作用、慣性核融合、核融合材料、核融合システム学、など
14030	〔プラズマ応用科学関連〕 プラズマプロセス、プラズマフォトリクス、プラズマ材料科学、プラズマ応用一般、など
80040	〔量子ビーム科学関連〕 加速器、ビーム物理、放射線検出器、計測制御、量子ビーム応用、など

中区分15：素粒子、原子核、宇宙物理学およびその関連分野

小区分	内容の例
80040	〔量子ビーム科学関連〕 加速器、ビーム物理、放射線検出器、計測制御、量子ビーム応用、など
15010	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論〕 素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力、など

(大区分B)	15020	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験〕 素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力、など
	中区分16：天文学およびその関連分野	
	小区分	内容の例
	16010	〔天文学関連〕 光学赤外線天文学、電波天文学、太陽物理学、位置天文学、理論天文学、X線 γ 線天文学、など
	中区分17：地球惑星科学およびその関連分野	
	小区分	内容の例
	17010	〔宇宙惑星科学関連〕 太陽地球系科学、超高層物理学、惑星科学、系外惑星科学、地球外物質科学、など
	17020	〔大気水圏科学関連〕 気候システム学、大気科学、海洋科学、陸水学、雪氷学、古気候学、など
	17030	〔地球人間圏科学関連〕 自然環境科学、自然災害科学、地理空間情報学、第四紀学、資源および鉱床学、など
	17040	〔固体地球科学関連〕 固体地球物理学、地質学、地球内部物質科学、固体地球化学、など
大区分C	17050	〔地球生命科学関連〕 生命の起源および進化学、極限生物学、生物地球化学、古環境学、古生物学、など
	中区分18：材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野	
	小区分	内容の例
	18010	〔材料力学および機械材料関連〕 構造力学、疲労、破壊、生体力学、材料設計、材料物性、材料評価、など
	18020	〔加工学および生産工学関連〕 工作機械、機械加工、特殊加工、超精密加工、アディティブマニファクチャリング、精密計測、生産システム、コンピュータ援用技術、工程設計、など
	18030	〔設計工学関連〕 製品設計、サービス設計、信頼性設計、保全性設計、ライフサイクルエンジニアリング、リバーズエンジニアリング、安全設計、設計学、など
	18040	〔機械要素およびトライボロジー関連〕 機械要素、機構学、トライボロジー、アクチュエータ、マイクロマシン、など
	中区分19：流体工学、熱工学およびその関連分野	
	小区分	内容の例
	19010	〔流体工学関連〕 流体機械、流体計測、数値流体力学、乱流、混相流、圧縮性流体、非圧縮性流体、など
	19020	〔熱工学関連〕 伝熱、対流、燃焼、熱物性、冷凍空調、熱機関、エネルギー変換、など

中区分20：機械力学、ロボティクスおよびその関連分野	
小区分	内容の例
20010	〔機械力学およびメカトロニクス関連〕 運動学、動力学、振動学、音響学、自動制御、学習制御、メカトロニクス、マイクロメカトロニクス、バイオメカニクス、など
20020	〔ロボティクスおよび知能機械システム関連〕 ロボティクス、知能機械システム、人間機械システム、ヒューマンインタフェース、ブラニング、空間知能化システム、仮想現実感、拡張現実感、など
中区分21：電気電子工学およびその関連分野	
小区分	内容の例
21010	〔電力工学関連〕 電気エネルギー関連、省エネルギー、電力系統工学、電気機器、パワーエレクトロニクス、電気有効利用、電磁環境、など
21020	〔通信工学関連〕 情報理論、非線形理論、信号処理、有線通信方式、無線通信方式、変復調、アンテナ、ネットワーク、マルチメディア通信、暗号、など
21030	〔計測工学関連〕 計測理論、計測機器、波動応用計測、システム化技術、信号情報処理、センシングデバイス、など
21040	〔制御およびシステム工学関連〕 制御理論、システム理論、制御システム、知能システム、システム情報処理、システム制御応用、バイオシステム工学、など
21050	〔電気電子材料工学関連〕 半導体、誘電体、磁性体、有機物、超伝導体、複合材料、薄膜、量子構造、厚膜、作製評価技術、など
21060	〔電子デバイスおよび電子機器関連〕 電子デバイス、回路設計、光デバイス、スピンデバイス、ミリ波テラヘルツ波、波動応用デバイス、ストレージ、ディスプレイ、微細プロセス技術、実装技術、など
中区分22：土木工学およびその関連分野	
小区分	内容の例
22010	〔土木材料、施工および建設マネジメント関連〕 コンクリート、鋼材、複合材料、木材、舗装材料、補修補強材料、施工、維持管理、建設マネジメント、地下空間、など
22020	〔構造工学および地震工学関連〕 応用力学、構造工学、鋼構造、コンクリート構造、複合構造、風工学、地震工学、耐震構造、地震防災、など
22030	〔地盤工学関連〕 土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤の挙動、土構造物、地盤防災、地盤環境工学、トンネル工学、土壌環境、など
22040	〔水工学関連〕 水理学、環境水理学、水文学、河川工学、水資源工学、海岸工学、港湾工学、海洋工学、など
22050	〔土木計画学および交通工学関連〕 土木計画、地域都市計画、国土計画、防災計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、測量・リモートセンシング、景観デザイン、土木史、など
22060	〔土木環境システム関連〕 環境計画、環境システム、環境保全、用排水システム、廃棄物、水環境、大気循環、騒音振動、環境生態、環境モニタリング、など

中区分23：建築学およびその関連分野	
小区分	内容の例
23010	〔建築構造および材料関連〕 荷重論、構造解析、構造設計、各種構造、耐震設計、基礎構造、地盤、構造材料、維持管理、建築工法、など
23020	〔建築環境および建築設備関連〕 音環境、振動環境、光環境、熱環境、空気環境、環境心理生理、建築設備、火災工学、都市環境、環境設計、など
23030	〔建築計画および都市計画関連〕 計画論、設計論、住宅論、各種建物、都市計画、行政、建築経済、生産管理、防災計画、景観、など
23040	〔建築史および意匠関連〕 建築史、都市史、建築論、意匠、景観、保存、再生、など
90010	〔デザイン学関連〕 情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育、など
中区分24：航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	
小区分	内容の例
24010	〔航空宇宙工学関連〕 熱流体力学、構造強度、推進、航空宇宙機設計、生産技術、航空機システム、特殊航空機、航行ダイナミクス、宇宙機システム、宇宙利用、など
24020	〔船舶海洋工学関連〕 航行性能、構造体力学、設計、生産技術、船用機関、海上輸送、海洋開竣工学、海中工学、極地工学、海洋環境技術、など
中区分25：社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	
小区分	内容の例
25010	〔社会システム工学関連〕 社会システム、経営工学、オペレーションズリサーチ、インダストリアルマネジメント、信頼性工学、政策科学、規制科学、品質管理、など
25020	〔安全工学関連〕 安全工学、安全システム、リスク工学、リスクマネジメント、労働安全、製品安全、安全情報、人間工学、信頼性工学、など
25030	〔防災工学関連〕 災害予測、ハザードマップ、建造物防災、ライフライン防災、地域防災計画、災害リスク評価、防災政策、災害レジリエンス、など

大区分D

中区分26：材料工学およびその関連分野	
小区分	内容の例
26010	〔金属材料物性関連〕 電気磁気物性、電子情報物性、準安定状態、拡散、相変態、状態図、結晶格子欠陥、力学物性、熱光物性、材料計算科学、など
26020	〔無機材料および物性関連〕 機能性セラミックス、機能性ガラス、構造用セラミックス、カーボン系材料、結晶構造解析、組織制御、電気物性、力学物性、物理的・化学的性質、粒界物性、など
26030	〔複合材料および界面関連〕 機能性複合材料、構造用複合材料、生体用複合材料、複合高分子、表面処理、分散制御、接合、接着、界面物性、傾斜機能、など

26040	〔構造材料および機能材料関連〕 社会基盤構造材料、靱性、医療福祉材料、機能性高分子材料、信頼性、光機能材料、センサー材料、エネルギー材料、電池機能材料、環境機能材料、など
26050	〔材料加工および組織制御関連〕 加工成形、加工熱処理、結晶組織制御、レーザー加工、精密加工、研磨、粉末冶金、コーティング、めっき、腐食防食、など
26060	〔金属生産および資源生産関連〕 分離精製、融解凝固、結晶成長、鑄造、資源保障確保、希少資源代替、低環境負荷、リサイクル、エコマテリアル、省エネルギー、など

中区分27：化学工学およびその関連分野

小区分	内容の例
27010	〔移動現象および単位操作関連〕 相平衡、輸送物性、移動速度論、流体系単位操作、吸着、膜分離、攪拌混合操作、粉粒体操作、晶析操作、製膜成形、など
27020	〔反応工学およびプロセスシステム工学関連〕 反応操作論、新規反応場、反応機構、反応装置設計、材料合成プロセス、マイクロプロセス、プロセス制御、プロセスシステム設計、プロセス情報処理、など
27030	〔触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連〕 触媒反応論、触媒調製化学、触媒機能、エネルギー変換プロセス、エネルギー開発、省エネルギー技術、資源有効利用技術、など
27040	〔バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連〕 生体触媒工学、生物機能応用工学、食品工学、医用化学工学、バイオ生産プロセス、ナノバイオプロセス、バイオリアクター、バイオセパレーション、バイオセンサー、バイオリファイナリー、など

中区分28：ナノマイクロ科学およびその関連分野

小区分	内容の例
28010	〔ナノ構造化学関連〕 ナノ構造作製、クラスター、ナノ粒子、メゾスコピック化学、超構造、ナノ表面、ナノ界面、自己組織化、ナノカーボン化学、分子デバイス、ナノ光デバイス、など
28020	〔ナノ構造物理関連〕 ナノ物性、ナノプローブ、量子効果、量子ドット、量子デバイス、電子デバイス、スピンドバイス、ナノトライボロジー、ナノカーボン物理、など
28030	〔ナノ材料科学関連〕 ナノ材料創製、ナノ材料解析、ナノ表面、ナノ界面、ナノ機能材料、ナノ構造、ナノ粒子、ナノカーボン材料、ナノ結晶材料、ナノコンポジット、ナノ欠陥、ナノ加工プロセス、など
28040	〔ナノバイオサイエンス関連〕 バイオ分子デバイス、分子マニピュレーション、分子イメージング、ナノ計測、ナノ合成、1分子科学、ナノバイオインターフェース、バイオ分子アレイ、ゲノム工学、など
28050	〔ナノマイクロシステム関連〕 MEMS、NEMS、BioMEMS、ナノマイクロ加工、ナノマイクロ光デバイス、ナノマイクロ化学システム、ナノマイクロバイオシステム、ナノマイクロ生体システム、ナノマイクロメカニクス、ナノマイクロセンサー、など

中区分29：応用物理物性およびその関連分野

小区分	内容の例
29010	〔応用物性関連〕 磁性体、超伝導体、誘電体、微粒子、有機分子、液晶、新機能材料、有機分子バイオエレクトロニクス、スピントロニクス、など
29020	〔薄膜および表面界面物性関連〕 薄膜工学、薄膜エレクトロニクス、酸化物エレクトロニクス、真空、表面科学、分析、計測、ナノ顕微技術、表面界面制御、先端機器、など
29030	〔応用物理一般関連〕 基本物理量、標準、単位、物理量計測、物理量検出、エネルギー変換、など

中区分30：応用物理工学およびその関連分野	
小区分	内容の例
30010	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学、など
30020	〔光工学および光量子科学関連〕 光材料、光学素子、光物性、光情報処理、レーザー、光計測、光記録、光エレクトロニクス、非線形光学、視覚光学、など
中区分31：原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野	
小区分	内容の例
31010	〔原子力工学関連〕 炉物理安全設計、熱流動構造、燃料材料、原子力化学、原子力ライフサイクル、放射線安全、放射線ビーム工学、核融合炉プラズマ工学、核融合炉機器材料工学、原子力社会環境、など
31020	〔地球資源工学およびエネルギー学関連〕 地球資源論、資源探査、資源開発、資源循環、資源経済、エネルギーシステム、環境負荷評価、再生可能エネルギー、資源エネルギー技術政策、など
中区分90：人間医工学およびその関連分野	
小区分	内容の例
90110	〔生体医工学関連〕 医用画像、生体モデリング、生体シミュレーション、生体計測、人工臓器学、再生医工学、生体物性、生体制御、バイオメカニクス、ナノバイオシステム、など
90120	〔生体材料学関連〕 生体機能材料、細胞組織工学材料、生体適合材料、ナノバイオ材料、再生医工学材料、薬物送達システム、刺激応答材料、遺伝子工学材料、など
90130	〔医用システム関連〕 医用超音波システム、画像診断システム、検査診断システム、低侵襲治療システム、遠隔診断治療システム、臓器保存システム、医療情報システム、コンピュータ外科学、医用ロボット、など
90140	〔医療技術評価学関連〕 レギュラトリーサイエンス、安全性評価、臨床研究、医療技術倫理、医療機器、など
90150	〔医療福祉工学関連〕 健康福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉介護用ロボット、生体機能代行、福祉用具、看護理工学、など
大区分E	
中区分32：物理化学、機能物性化学およびその関連分野	
小区分	内容の例
32010	〔基礎物理化学関連〕 理論化学、分子分光學、構造化学、電子状態動力学、化学反応ダイナミクス、表面・界面、クラスターとナノ物質、生体関連物理化学、液体構造ダイナミクス、固体物性、分子物性、など
32020	〔機能物性化学関連〕 光物性、スピン、デバイスと分子素子、超分子、液晶、結晶、表面・界面、微粒子、コロイド、電気化学、電子物性、など
中区分33：有機化学およびその関連分野	
小区分	内容の例
33010	〔構造有機化学および物理有機化学関連〕 有機結晶、分子認識、超分子、有機機能物質、拡張 π 電子系化合物、複素環化学、有機元素化学、有機反応機構、有機光化学、理論有機化学、など

（大区分E）

33020	〔有機合成化学関連〕 選択的合成、不斉合成、有機金属錯体、触媒設計、有機分子触媒、生体触媒、環境調和型合成、天然物合成、プロセス化学、有機電気化学、など
-------	---

中区分34：無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野

小区分	内容の例
34010	〔無機・錯体化学関連〕 金属錯体化学、有機金属化学、無機固体化学、生物無機化学、溶液化学、クラスター、超分子、配位高分子、典型元素、機能物性、など
34020	〔分析化学関連〕 スペクトル分析、先端計測、表面・界面分析、分離分析、分析試薬、放射化学、電気化学分析、バイオ分析、新分析法、など
34030	〔グリーンサステナブルケミストリーおよび環境化学関連〕 グリーンプロセス、グリーン触媒、リサイクル、環境計測、環境調和型物質、環境負荷低減、環境修復、省資源、地球化学、環境放射能、など

中区分35：高分子、有機材料およびその関連分野

小区分	内容の例
35010	〔高分子化学関連〕 高分子合成、高分子反応、精密重合、機能性高分子、自己組織化高分子、キラル高分子、生体関連高分子、高分子物性、高分子構造、高分子薄膜・表面、など
35020	〔高分子材料関連〕 高分子材料物性、高分子材料合成、高分子機能材料、高分子液晶材料、繊維材料、ゴム材料、ゲル、生体関連高分子材料、高分子複合材料、高分子加工、など
35030	〔有機機能材料関連〕 有機半導体材料、液晶、光学材料、デバイス関連材料、導電機能材料、ハイブリッド材料、分子機能材料、有機複合材料、エネルギー変換材料、など

中区分36：無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野

小区分	内容の例
36010	〔無機物質および無機材料化学関連〕 結晶、アモルファス、セラミックス、半導体、無機デバイス関連材料、低次元化合物関連化学、多孔体関連化学、ナノ粒子関連化学、多元系化合物、ハイブリッド材料、など
36020	〔エネルギー関連化学〕 エネルギー資源、エネルギー変換材料、エネルギーキャリア関連、光エネルギー利用、物質分離、物質変換と触媒、電池と電気化学材料、省エネルギー材料、再生可能エネルギー、未利用エネルギー、など

中区分37：生体分子化学およびその関連分野

小区分	内容の例
37010	〔生体関連化学〕 生物有機化学、生物無機化学、生体反応化学、生体機能化学、生体機能材料、バイオテクノロジー、など
37020	〔生物分子化学関連〕 天然物化学、生物活性分子、活性発現の分子機構、生体機能分子、コンビナトリアル化学、メタボローム解析、など
37030	〔ケミカルバイオロジー関連〕 生体内機能発現、生体内化学反応、創薬科学、化合物ライブラリー、構造活性相関、化学プローブ、分子計測、分子イメージング、プロテオミクス、など

大区分 F

中区分38：農芸化学およびその関連分野

小区分	内容の例
38010	〔植物栄養学および土壌学関連〕 植物代謝生理、植物の栄養元素、土壌分類、土壌物理化学、土壌生物、など
38020	〔応用微生物学関連〕 微生物遺伝育種、微生物機能、微生物代謝生理、微生物利用、微生物制御、微生物生態、物質生産、など
38030	〔応用生物化学関連〕 細胞生化学、応用生化学、構造生物学、活性制御、代謝生理、細胞機能、分子機能、物質生産、など
38040	〔生物有機化学関連〕 生物活性物質、シグナル伝達調節物質、天然物化学、天然物生合成、構造活性相関、有機合成化学、ケミカルバイオロジー、など
38050	〔食品科学関連〕 食品機能、食品化学、栄養化学、食品分析、食品工学、食品衛生、機能性食品、栄養疫学、臨床栄養、など
38060	〔応用分子細胞生物学関連〕 分子細胞生物学、細胞生物学、機能分子工学、発現制御、細胞分子間相互作用、細胞機能、物質生産、など

中区分39：生産環境農学およびその関連分野

小区分	内容の例
39010	〔遺伝育種科学関連〕 遺伝資源、育種理論、ゲノム育種、新規形質創生、品質成分、ストレス耐性、収量性、生殖増殖、生長生理、発生、など
39020	〔作物生産科学関連〕 土地利用型作物、作物収量、作物品質、作物形態、生育予測、作物生理、耕地管理、低コスト栽培技術、環境保全型農業、耕地生態系、など
39030	〔園芸科学関連〕 成長開花結実制御、種苗生産、作型、栽培技術、施設園芸、環境制御、品種開発、品質、ポストハーベスト、社会園芸、など
39040	〔植物保護科学関連〕 植物病理学、植物医科学、農業害虫、天敵、雑草、農薬、総合的有害生物管理、など
39050	〔昆虫科学関連〕 蚕糸昆虫利用学、昆虫遺伝、昆虫病理、昆虫生理生化学、昆虫生態、化学生態学、系統分類、寄生・共生、社会性昆虫、衛生昆虫、など
39060	〔生物資源保全学関連〕 保全生物、生物多様性保全、系統生物保全、遺伝子資源保全、生態系保全、在来種保全、微生物保全、など
39070	〔ランドスケープ科学関連〕 造園、緑地計画、景観計画、文化的景観、自然環境保全、ランドスケープエコロジー、公園緑地管理、公園、環境緑化、参加型まちづくり、など

中区分40：森林園科学、水圏応用科学およびその関連分野

小区分	内容の例
40010	〔森林科学関連〕 森林生態、森林生物多様性、森林遺伝育種、造林、森林保護、森林環境、山地保全、森林計画、森林政策、など

40020	〔木質科学関連〕 組織構造、材質、リグノセルロース、微量成分、菌類、木材加工、バイオマスリファイナリー、木質材料、木造建築、林産教育、など
40030	〔水圏生産科学関連〕 水圏環境、漁業、水産資源管理、水圏生物、水圏生態系、水産増殖、水産工学、水産政策、水産経営経済、水産教育、など
40040	〔水圏生命科学関連〕 水生生物栄養、水生生物病理、水生生物繁殖育種、水生生物生理、水生生物利用、水生生物化学、水生生物工学、水産食品科学、など

中区分41：社会経済農学、農業工学およびその関連分野

小区分	内容の例
41010	〔食料農業経済関連〕 食料消費経済、農業生産経済、農林水産政策、フードシステム、食料マーケティング、国際農業開発、農畜産物貿易、農村資源環境、など
41020	〔農業社会構造関連〕 農業経営組織、農業経営管理、農業構造、農業市場、農業史、農村社会、農村生活、協同組合、など
41030	〔地域環境工学および農村計画学関連〕 灌漑排水、農地整備、農村計画、地域環境、資源エネルギー循環、地域防災、農業用施設のストックマネジメント、水理水文、土壌物理、材料施工、など
41040	〔農業環境工学および農業情報工学関連〕 生物生産施設、農業機械システム、生産環境調節、農業気象環境、農業情報システム、施設園芸、植物工場、農産物貯蔵流通加工、非破壊生体計測、遠隔計測情報処理、など
41050	〔環境農学関連〕 バイオマス、環境利用改善、生物多様性、環境分析、生態系サービス、資源循環システム、低炭素社会、ライフサイクルアセスメント、環境調和型農業、流域管理、など

中区分42：獣医学、畜産学およびその関連分野

小区分	内容の例
42010	〔動物生産科学関連〕 遺伝育種、繁殖、栄養飼養、形態生理、畜産物利用、環境管理、行動、アニマルセラピー、草地、放牧、など
42020	〔獣医学関連〕 基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学、動物看護、動物福祉、野生動物、など
42030	〔動物生命科学関連〕 恒常性、細胞機能、生体防御、総合遺伝、発生分化、生命工学、など
42040	〔実験動物学関連〕 遺伝子工学、発生工学、疾患モデル、施設整備、実験動物福祉、実験動物関連技術、バイオリソース、など

大区分G

中区分43：分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野

小区分	内容の例
43010	〔分子生物学関連〕 染色体機能、クロマチン、エピジェネティクス、遺伝情報の維持、遺伝情報の継承、遺伝情報の再編、遺伝情報の発現、タンパク質の機能調節、分子遺伝、など
43020	〔構造生物化学関連〕 タンパク質、核酸、脂質、糖、生体膜、分子認識、変性、立体構造解析、立体構造予測、分子動力学、など

43030	〔機能生物化学関連〕 酵素、糖鎖、生体エネルギー変換、生体微量元素、生理活性物質、細胞情報伝達、膜輸送、タンパク質分解、分子認識、など
43040	〔生物物理学関連〕 構造生物学、生体分子の物性、生体膜、光生物、分子モーター、生体計測、バイオイメージング、システム生物学、合成生物学、理論生物学、など
43050	〔ゲノム生物学関連〕 ゲノム構造、ゲノム機能、ゲノム多様性、ゲノム分子進化、ゲノム修復維持、トランスオミックス、エピゲノム、遺伝子資源、ゲノム動態、など
43060	〔システムゲノム科学関連〕 ネットワーク解析、合成生物学、バイオデータベース、バイオインフォマティクス、ゲノム解析技術、ゲノム生物工学、など

中区分44：細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野

小区分	内容の例
44010	〔細胞生物学関連〕 細胞骨格、タンパク質分解、オルガネラの動態、核の構造機能、細胞外マトリックス、シグナル伝達、細胞周期、細胞運動、細胞間相互作用、細胞遺伝、など
44020	〔発生生物学関連〕 細胞分化、幹細胞、再生、胚葉形成、形態形成、器官形成、受精、生殖細胞、遺伝子発現調節、発生遺伝、進化発生、など
44030	〔植物分子および生理科学関連〕 光合成、成長生理、植物発生、オルガネラ、細胞壁、環境応答、植物微生物相互作用、代謝、植物分子機能、など
44040	〔形態および構造関連〕 動植物形態、微生物形態、分子形態、微細構造、組織構築、形態形成、比較内分泌、顕微鏡技術、イメージング、など
44050	〔動物生理化学、生理学および行動学関連〕 代謝生理、神経生理、神経行動、行動生理、動物生理化学、時間生物学、比較生理学、など

中区分45：個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野

小区分	内容の例
45010	〔遺伝学関連〕 遺伝機構、分子遺伝、細胞遺伝、集団遺伝、進化遺伝、発生遺伝、行動遺伝、遺伝的多様性、など
45020	〔進化生物学関連〕 進化全般、分子進化、表現型進化、発生進化、生態進化、行動進化、実験進化、進化理論、共生進化、系統進化、種分化、など
45030	〔多様性生物学および分類学関連〕 分類形質、分類群、分類体系、多様性全般、系統、進化、自然史、種分化、など
45040	〔生態学および環境学関連〕 化学生態、分子生態、生理生態、進化生態、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系、保全生態、自然環境、など
45050	〔自然人類学関連〕 分子と遺伝、形態全般、骨考古全般、行動認知、生態、霊長類、進化、個体発生、変異、など
45060	〔応用人類学関連〕 生理人類学、人間工学、法医人類学、医療人類学、生理的多型性、環境適応能全般、生体機能全般、生体計測全般、など

(大区分G)	中区分46：神経科学およびその関連分野	
	小区分	内容の例
	46010	〔神経科学一般関連〕 神経化学、神経細胞、グリア細胞、ゲノム、エピジェネティクス、神経生物、情報処理、シナプス、神経発生、など
	46020	〔神経形態学関連〕 形態形成、脳構造、回路構造、神経病理、など
	46030	〔神経機能学関連〕 神経生理、神経薬理、情報伝達、情報処理、行動、システム生理、脳循環、自律神経、など
大区分H		
中区分47：薬学およびその関連分野		
	小区分	内容の例
	47010	〔薬系化学および創薬科学関連〕 無機化学、有機化学、医薬品化学、医薬分子設計、医薬品探索、生体関連物質、ケミカルバイオロジー、など
	47020	〔薬系分析および物理化学関連〕 環境分析、生体分析、物理化学、生物物理、構造解析、放射化学、イメージング、製剤設計、計算科学、情報科学、など
	47030	〔薬系衛生および生物化学関連〕 環境衛生、健康栄養、疾病予防、毒性学、薬物代謝、生体防御、分子生物学、細胞生物学、生化学、など
	47040	〔薬理学関連〕 薬理学、ゲノム薬理学、応用薬理学、シグナル伝達、薬物相互作用、薬物応答、薬物治療、安全性学、など
	47050	〔環境および天然医薬資源学関連〕 環境資源学、天然物化学、天然活性物質、薬用資源、薬用食品、微生物薬品学、など
	47060	〔医療薬学関連〕 薬物動態学、医療情報学、社会薬学、医療薬学、医療薬剤学、レギュラトリーサイエンス、薬剤師教育、など
中区分48：生体の構造と機能およびその関連分野		
	小区分	内容の例
	48010	〔解剖学関連〕 解剖学、組織学、発生学、など
	48020	〔生理学関連〕 一般生理学、病態生理学、比較生理学、環境生理学、など
	48030	〔薬理学関連〕 ゲノム薬理、分子細胞薬理、病態薬理、行動薬理、創薬薬理学、臨床薬理、など
	48040	〔医化学関連〕 生体機能分子医化学、ゲノム医科学、人類遺伝学、疾患モデル、など

中区分49：病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野		
小区分	内容の例	
49010	〔病態医化学関連〕 分子病態、代謝異常、分子診断、など	
49020	〔人体病理学関連〕 分子病理、細胞組織病理、診断病理、など	
49030	〔実験病理学関連〕 疾患モデル、病態制御、組織再生、など	
49040	〔寄生虫学関連〕 寄生虫、媒介生物、寄生虫病原性、寄生虫疫学、寄生虫感染制御、など	
49050	〔細菌学関連〕 細菌、真菌、薬剤耐性、細菌病原性、細菌疫学、細菌感染制御、など	
49060	〔ウイルス学関連〕 ウイルス、プリオン、ウイルス病原性、ウイルス疫学、ウイルス感染制御、など	
49070	〔免疫学関連〕 免疫システム、免疫応答、炎症、免疫疾患、免疫制御、など	

大区分 I

中区分50：腫瘍学およびその関連分野		
小区分	内容の例	
50010	〔腫瘍生物学関連〕 がんと遺伝子、腫瘍形成、浸潤、転移、がん微小環境、がんとシグナル伝達、がん細胞の特性、など	
	〔腫瘍診断および治療学関連〕 ゲノム解析、診断マーカー、分子イメージング、化学療法、核酸治療、遺伝子治療、免疫療法、標的治療、物理療法、放射線療法、など	
中区分51：ブレインサイエンスおよびその関連分野		
小区分	内容の例	
51010	〔基盤脳科学関連〕 ブレインマシンインターフェイス、モデル動物、計算論、デコーディング、操作技術、脳画像、計測科学、など	
	〔認知脳科学関連〕 社会行動、コミュニケーション、情動、意志決定、意識、学習、ニューロエコノミクス、神経心理、など	
51030	〔病態神経科学関連〕 臨床神経科学、疼痛学、感覚異常、運動異常、神経疾患、神経再生、神経免疫、細胞変性、病態モデル、など	
中区分52：内科学一般およびその関連分野		
小区分	内容の例	
52010	〔内科学一般関連〕 臨床検査医学、総合診療、老年医学、心療内科、東洋医学、緩和医療、など	

52020	〔神経内科学関連〕 神経内科学、神経機能画像学、など
52030	〔精神神経科学関連〕 臨床精神医学、基礎精神医学、司法精神医学、など
52040	〔放射線科学関連〕 画像診断学、放射線治療学、放射線基礎医学、放射線技術学、など
52050	〔胎児医学および小児成育学関連〕 胎児医学、新生児医学、小児科学、など

中区分53：器官システム内科学およびその関連分野

小区分	内容の例
53010	〔消化器内科学関連〕 上部消化管、下部消化管、肝臓、胆道、膵臓、など
53020	〔循環器内科学関連〕 虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、心筋症、心不全、末梢動脈疾患、動脈硬化、高血圧、など
53030	〔呼吸器内科学関連〕 呼吸器内科学、喘息、びまん性肺疾患、COPD、肺がん、肺高血圧、など
53040	〔腎臓内科学関連〕 急性腎障害、慢性腎臓病、糖尿病性腎症、高血圧、水電解質代謝、人工透析、など
53050	〔皮膚科学関連〕 皮膚科学、皮膚免疫疾患、皮膚感染、皮膚腫瘍、など

中区分54：生体情報内科学およびその関連分野

小区分	内容の例
54010	〔血液および腫瘍内科学関連〕 血液腫瘍学、血液免疫学、貧血、血栓止血、化学療法、など
54020	〔膠原病およびアレルギー内科学関連〕 膠原病学、アレルギー学、臨床免疫学、炎症学、など
54030	〔感染症内科学関連〕 感染症診断学、感染症治療学、生体防御学、国際感染症学、など
54040	〔代謝および内分泌学関連〕 エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、プリン代謝、骨代謝、電解質代謝、内分泌学、神経内分泌学、生殖内分泌学、など

中区分55：恒常性維持器官の外科学およびその関連分野

小区分	内容の例
55010	〔外科学一般および小児外科学関連〕 外科総論、乳腺外科、内分泌外科、小児外科、移植、人工臓器、再生、手術支援、など
55020	〔消化器外科学関連〕 上部消化管外科、下部消化管外科、肝臓外科、胆道外科、膵臓外科、など

55030	〔心臓血管外科学関連〕 冠動脈外科、弁膜疾患外科、心筋疾患外科、大血管外科、脈管外科、先天性心疾患、など
55040	〔呼吸器外科学関連〕 肺外科、縦隔外科、胸壁外科、気道外科、など
55050	〔麻酔科学関連〕 麻酔、周術期管理、疼痛管理、蘇生、緩和医療、など
55060	〔救急医学関連〕 集中治療、救急救命、外傷外科、災害医学、災害医療、など

中区分56：生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野

小区分	内容の例
56010	〔脳神経外科学関連〕 脳神経外科学、脊髄脊椎疾患学、など
56020	〔整形外科科学関連〕 整形外科科学、リハビリテーション学、スポーツ医学、など
56030	〔泌尿器科学関連〕 泌尿器科学、男性生殖器学、など
56040	〔産婦人科学関連〕 周産期学、生殖内分泌学、婦人科腫瘍学、女性ヘルスケア学、など
56050	〔耳鼻咽喉科学関連〕 耳鼻咽喉科学、頭頸部外科学、など
56060	〔眼科学関連〕 眼科学、眼光学、など
56070	〔形成外科学関連〕 形成外科学、再建外科学、美容外科学、など

中区分57：口腔科学およびその関連分野

小区分	内容の例
57010	〔常態系口腔科学関連〕 口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、硬組織薬理学、など
57020	〔病態系口腔科学関連〕 口腔感染症学、口腔病理学、口腔腫瘍学、免疫炎症科学、病態検査学、など
57030	〔保存治療系歯学関連〕 保存修復学、歯内治療学、歯周病学、など
57040	〔口腔再生医学および歯科医用工学関連〕 口腔再生医学、生体材料、歯科材料学、顎顔面補綴学、歯科インプラント学、など
57050	〔補綴系歯学関連〕 歯科補綴学、咀嚼嚥下機能回復学、老年歯科医学、など

57060	〔外科系歯学関連〕 口腔外科学、顎顔面再建外科学、歯科麻酔学、歯科心身医学、歯科放射線学、など
57070	〔成長および発育系歯学関連〕 歯科矯正学、小児歯科学、など
57080	〔社会系歯学関連〕 口腔衛生学、予防歯科学、口腔保健学、歯科医療管理学、歯学教育学、歯科法医学、など

中区分58：社会医学、看護学およびその関連分野

小区分	内容の例
58010	〔医療管理学および医療系社会学関連〕 医療管理学、医療社会学、医学倫理、医療倫理、医歯薬学教育、医学史、医療経済学、臨床試験、保健医療行政、災害医学、など
58020	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む〕 衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健、など
58030	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない〕 衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健、など
58040	〔法医学関連〕 法医学、法医病理、法中毒、法医遺伝、自殺、虐待、突然死、など
58050	〔基礎看護学関連〕 基礎看護学、看護教育学、看護管理学、など
58060	〔臨床看護学関連〕 重篤救急看護学、周術期看護学、慢性病看護学、がん看護学、精神看護学、緩和ケア、など
58070	〔生涯発達看護学関連〕 女性看護学、母性看護学、助産学、家族看護学、小児看護学、学校看護学、など
58080	〔高齢者看護学および地域看護学関連〕 高齢者看護学、地域看護学、公衆衛生看護学、災害看護学、など

中区分59：スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野

小区分	内容の例
59010	〔リハビリテーション科学関連〕 リハビリテーション医学、リハビリテーション看護学、リハビリテーション医療、理学療法学、作業療法学、福祉工学、言語聴覚療法学、など
59020	〔スポーツ科学関連〕 スポーツ生理学、スポーツ生化学、スポーツ医学、スポーツ社会学、スポーツ経営学、スポーツ心理学、スポーツ教育学、トレーニング科学、スポーツバイオメカニクス、アダプテッドスポーツ科学、ドーピング、など
59030	〔体育および身体教育学関連〕 発育発達、身体教育、学校体育、教育生理学、身体システム学、脳高次機能学、武道論、野外教育、など
59040	〔栄養学および健康科学関連〕 栄養生理学、栄養生化学、栄養教育、臨床栄養、機能的食品、生活習慣病、ヘルスプロモーション、老化、など

中区分90：人間医工学およびその関連分野

小区分	内容の例
90110	〔生体医工学関連〕 医用画像、生体モデリング、生体シミュレーション、生体計測、人工臓器学、再生医工学、生体物性、生体制御、バイオメカニクス、ナノバイオシステム、など
90120	〔生体材料学関連〕 生体機能材料、細胞組織工学材料、生体適合材料、ナノバイオ材料、再生医工学材料、薬物送達システム、刺激応答材料、遺伝子工学材料、など
90130	〔医用システム関連〕 医用超音波システム、画像診断システム、検査診断システム、低侵襲治療システム、遠隔診断治療システム、臓器保存システム、医療情報システム、コンピュータ外科学、医用ロボット、など
90140	〔医療技術評価学関連〕 レギュラトリーサイエンス、安全性評価、臨床研究、医療技術倫理、医療機器、など
90150	〔医療福祉工学関連〕 健康福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉介護用ロボット、生体機能代行、福祉用具、看護理工学、など

大区分Ⅱ

中区分60：情報科学、情報工学およびその関連分野

小区分	内容の例
60010	〔情報学基礎論関連〕 離散構造、数理論理学、計算理論、プログラム理論、計算量理論、アルゴリズム理論、情報理論、符号理論、暗号理論、学習理論、など
60020	〔数理情報学関連〕 最適化理論、数理システム理論、システム制御理論、システム分析、システム方法論、システムモデリング、システムシミュレーション、組合せ最適化、待ち行列論、数理ファイナンス、など
60030	〔統計科学関連〕 統計学、データサイエンス、モデル化、統計的推測、多変量解析、時系列解析、統計的品質管理、応用統計学、など
60040	〔計算機システム関連〕 計算機アーキテクチャ、回路とシステム、LSI設計、LSIテスト、リコンフィギャラブルシステム、ディペンダブルアーキテクチャ、低消費電力技術、ハードウェア・ソフトウェア協調設計、組込みシステム、など
60050	〔ソフトウェア関連〕 プログラミング言語、プログラミング方法論、オペレーティングシステム、並列分散処理、ソフトウェア工学、仮想化技術、クラウドコンピューティング、ソフトウェアディペンダビリティ、ソフトウェアセキュリティ、など
60060	〔情報ネットワーク関連〕 ネットワークアーキテクチャ、ネットワークプロトコル、インターネット、モバイルネットワーク、パベイシブコンピューティング、センサーネットワーク、IoT、トラフィックエンジニアリング、ネットワーク管理、サービス構築基盤技術、など
60070	〔情報セキュリティ関連〕 暗号、耐タンパー技術、認証、バイオメトリクス、アクセス制御、マルウェア対策、サービス妨害攻撃対策、プライバシー保護、デジタルフォレンジクス、セキュリティ評価認証、など
60080	〔データベース関連〕 データモデル、データベースシステム、マルチメディアデータベース、情報検索、コンテンツ管理、メタデータ、ビッグデータ、地理情報システム、など
60090	〔高性能計算関連〕 並列処理、分散処理、クラウドコンピューティング、数値解析、可視化、コンピュータグラフィクス、高性能計算アプリケーション、など
60100	〔計算科学関連〕 数理工学、計算力学、数値シミュレーション、マルチスケール、大規模計算、超並列計算、数値計算手法、先進アルゴリズム、など

中区分61：人間情報学およびその関連分野

小区分	内容の例
61010	〔知覚情報処理関連〕 パターン認識、画像処理、コンピュータビジョン、視覚メディア処理、音メディア処理、メディア編集、メディアデータベース、センシング、センサ融合、など
61020	〔ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連〕 ヒューマンインタフェース、マルチモーダルインタフェース、ヒューマンコンピュータインタラクション、協同作業環境、バーチャルリアリティ、拡張現実、臨場感コミュニケーション、ウェアラブル機器、ユーザビリティ、人間工学、など
61030	〔知能情報学関連〕 探索、推論、機械学習、知識獲得、知的システム、知能情報処理、自然言語処理、データマイニング、オントロジー、エージェントシステム、など
61040	〔ソフトコンピューティング関連〕 ニューラルネットワーク、進化計算、ファジィ理論、カオス、複雑系、確率的情報処理、など
61050	〔知能ロボティクス関連〕 知能ロボット、行動環境認識、プランニング、感覚行動システム、自律システム、デジタルヒューマン、実世界情報処理、物理エージェント、知能化空間、など
61060	〔感性情報学関連〕 感性デザイン学、感性認知科学、感性心理学、感性ロボティクス、感性計測評価、感性インタフェース、感性生理学、感性材料科学、感性教育学、感性脳科学、など
90010	〔デザイン学関連〕 情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育、など
90030	〔認知科学関連〕 認知科学一般、認知モデル、感性、ヒューマンファクターズ、認知脳科学、比較認知、認知言語学、認知工学、など

中区分62：応用情報学およびその関連分野

小区分	内容の例
62010	〔生命、健康および医療情報学関連〕 バイオインフォマティクス、生命情報、生体情報、ニューロインフォマティクス、脳型情報処理、生命分子計算、DNAコンピュータ、医療情報、健康情報、医用画像、など
62020	〔ウェブ情報学およびサービス情報学関連〕 ウェブシステム、ソーシャルウェブ、セマンティックウェブ、ウェブマイニング、社会ネットワーク分析、サービス工学、教育サービス、医療サービス、福祉サービス、社会サービス、情報文化、など
62030	〔学習支援システム関連〕 メディアリテラシー、学習メディア、ソーシャルメディア、学習コンテンツ、学習管理、学習支援、遠隔学習、eラーニング、など
62040	〔エンタテインメントおよびゲーム情報学関連〕 音楽情報処理、3Dコンテンツ、アニメーション、ゲームプログラミング、ネットワークエンタテインメント、メディアアート、デジタルミュージアム、体験デザイン、など
90020	〔図書館情報学および人文社会情報学関連〕 図書館学、情報サービス、情報組織化、情報検索、情報メディア、計量情報学、情報資源、情報倫理、人文情報学、社会情報学、デジタルアーカイブス、など

大区分K

中区分63：環境解析評価およびその関連分野

小区分	内容の例
63010	〔環境動態解析関連〕 地球温暖化、環境変動、水・物質循環、極域、化学海洋、生物海洋、環境計測、環境モデル、環境情報、リモートセンシング、など

63020	〔放射線影響関連〕 放射線、測定、管理、修復、生物影響、リスク、など
63030	〔化学物質影響関連〕 トキシコロジー、人体有害物質、微量化学物質、内分泌かく乱物質、修復、など
63040	〔環境影響評価関連〕 大気圏、水圏、陸圏、健康影響評価、社会経済影響評価、次世代影響評価、環境アセスメント、評価手法、モニタリング、シミュレーション、など

中区分64：環境保全対策およびその関連分野

小区分	内容の例
64010	〔環境負荷およびリスク評価管理関連〕 環境分析技術、環境負荷解析、調査モニタリング、汚染質動態、モデリング、汚染質評価、暴露評価、毒性評価、リスク評価管理、化学物質管理、など
64020	〔環境負荷低減技術および保全修復技術関連〕 汚染物質除去技術、廃棄物処理技術、排出発生抑制、適正処理処分、環境負荷低減、汚染修復技術、騒音振動対策、地盤沈下等対策、生物機能利用、放射能除染、など
64030	〔環境材料およびリサイクル技術関連〕 循環再生材料、有価物回収、分離精製高純度化、環境配慮設計、リサイクル化学、グリーンプロダクション、ゼロエミッション、資源循環、再生可能エネルギー、バイオマス利活用、など
64040	〔自然共生システム関連〕 生物多様性、保全生物、生態系サービス、自然資本、生態系影響解析、生態系管理、生態系修復、生態工学、地域環境計画、気候変動影響、など
64050	〔循環型社会システム関連〕 物質循環システム、物質エネルギー収支解析、低炭素社会、未利用エネルギー、地域創生、水システム、産業共生、ライフサイクル評価、統合的環境管理、3R社会システム、など
64060	〔環境政策および環境配慮型社会関連〕 環境理念、環境法、環境経済、環境情報、環境教育、環境社会活動、環境マネジメント、合意形成、安全安心、社会公共システム、持続可能発展、など

パブリックコメントで寄せられた意見の概要と回答

○審査区分表関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

○審査方式関連・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

平成28年12月22日

科学技術・学術審議会学術分科会
科学研究費補助金審査部会

審査区分表に係る意見の概要と回答

1. 「美術史関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分01060「美術史関連」のキーワードに「メディア・アート」「メディア芸術」を。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 原案のままで適切に審査可能と認められます。

2. 「芸術実践論関連」に関して

＜意見の概要＞
・身体的実演芸術・芸能の調査・実践的研究を主とする区分が必要。 ・小区分59030「健康教育および健康科学関連」の中に「身体思想、身体知、身体文化、ノン・バーバルコミュニケーション」についてのキーワードを。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 実演や芸能の実践に関する研究は、小区分01070「芸術実践論関連」で、また身体思想等の研究は、中区分1「思想、芸術およびその関連分野」のなかのいずれかの小区分で適切に審査可能と認められます。

3. 「日本文学関連」「日本語教育関連」「日本史関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分02010「日本文学関連」、小区分02090「日本語教育関連」、小区分03020「日本史関連」は、より細分化を。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 寄せられた意見は、今回の科研費制度改革の柱である「適切な審査範囲の設定」に合わず、原案のままだと適切と認められます。

4.「思想、芸術およびその関連分野」に関して

＜意見の概要＞
(1)中区分1「思想、芸術およびその関連分野」の中に、小区分「文化財保存学」や「文化財修復論」などを。 (2)中区分として哲学と芸術をまとめて扱う際には、芸術作品を研究業績として扱ってほしい。 (3)「日本的身体学」という小区分を追加。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： (1)文化財保存関係は、小区分03060「文化財科学関連」で対応しています。 (2)芸術作品を研究業績として計画調書の業績欄に記載することは特に排除されておりません。 (3)「日本的身体学」は、今回の科研費制度改革の柱である「適切な審査範囲の設定」に合わず、原案のままが適切と認められます。

5.「地域研究関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分80010「地域研究関連」のキーワードは、「地域研究一般、地域間比較、援助、社会開発、環境、エスニシティ、トランスナショナリズム、グローバリゼーション」など。
＜回答＞
回答： 意見を踏まえて一部を修正する （ 小区分80010「地域研究関連」の内容の例に「社会開発」を追加することとします。 ） 説明： 小区分80010「地域研究関連」の内容の例として「社会開発」を追加することにより、内容の例に新たな要素が加わり当該区分の審査対象領域をより広く示すことができると認められます。

6.「地域研究関連」「ジェンダー関連」「観光学関連」に関して

＜意見の概要＞
・中区分2「文学、言語学およびその関連分野」、中区分3「歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野」にも、小区分80010「地域研究関連」、小区分80030「ジェンダー関連」を。 ・中区分8「社会学およびその関連分野」にも小区分80010「地域研究関連」を。 ・地域研究、観光学を独立した中区分に。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 原案の中区分の構成で、応募者は適切に審査区分を選択できますので、原案のままで適切に審査可能と認められます。

7. 「ジェンダー関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分80030「ジェンダー関連」のキーワードに、「開発・援助」「トランスナショナリズム」「グローバルイゼーション」を入れてほしい。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 提案されている内容の例は抽象的で極めて多くの分野の研究に関わるものであり、内容の具体例としては適さず、原案のままで適切に審査可能と認められます。

8. 「スポーツ科学関連」「ジェンダー関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分80030「ジェンダー関連」のキーワードに「スポーツ」を加えるべき。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 小区分80030「ジェンダー関連」または小区分59020「スポーツ科学関連」で適切に審査可能と認められます。

9. 「政治学関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分06010「政治学関連」を、「政治理論関連」「政治分析関連」「行政学関連」の3区分に。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 寄せられた意見は、今回の科研費制度改革の柱である「適切な審査範囲の設定」に合わず、原案のままが適切と認められます。

10. 「経済学」に関して

＜意見の概要＞
「マーケティングリサーチ」、「ソシオメトリクス」、「サイコメトリクス」、「医療統計」、「テスト理論」などのキーワードを。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 原案の内容の例で適切に審査可能と認められます。

11. 「計量経済学」に関して

<意見の概要>
「計量経済学」を小区分として独立。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 小区分07030「経済統計関連」に内容の例「計量経済学」が含まれていますので、原案のまま適切に審査可能と認められます。

12. 「経済政策関連」「地域研究関連」に関して

<意見の概要>
・小区分070040「経済政策関連」のキーワードに「経済事情」「地域経済」を。 ・中区分7「経済学、経営学およびその関連分野」の中にも「地域研究関連」を。
<回答>
回答： 意見を踏まえて一部を修正する （小区分07040「経済政策関連」の内容の例「リージョナルサイエンス」を「地域経済」に変更することとします。） 説明： ・小区分07040「経済政策関連」の内容の例に「地域経済」を加えることで、当該区分の対象領域をより広く適切に表現できると認められます。一方、中区分7「経済学、経営学およびその関連分野」に「地域研究関連」を小区分として新設する必要性は認められません。 ・原案の「リージョナルサイエンス」という内容の例は、よりわかりやすくするために「地域経済」に変更することとします。

13. 「国際開発」に関して

<意見の概要>
・教育社会学に「国際開発」のキーワードは不適切。国際開発学を小区分に。 ・小区分07040「経済政策関連」、小区分06020「国際関係論関連」に「国際開発」というキーワードを。 ・経済学や社会学にも、「地域研究」を対象とした小区分を設け、「国際開発」「国際協力・援助」「持続可能な開発」などのキーワードを。 ・「国際開発研究」に配慮を。
<回答>
回答： 意見を踏まえて一部を修正する （小区分07040「経済政策関連」の内容の例に「国際開発」を追加することとします。） 説明： 小区分07040「経済政策関連」の内容の例に「国際開発」を追加することで、当該区分の対象領域をより広く適切に表現できると認められます。一方、それ以外の内容の例の追加、および「国際開発」に関係する小区分を新設する意見については、原案のままで適切に審査可能と認められます。

14. 「国際開発」に関して

＜意見の概要＞
「国際開発学」という中区分を立てる。「国際開発・持続可能な開発」という中区分。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 中区分を新設するほどの応募の現状と広がりはともに認められません。

15. 「経済学関連」「経営学関連」「商学関連」「経済政策関連」「観光学関連」「交通経済学」「ロジスティクス」「国際開発」に関して

＜意見の概要＞
・「交通・物流(ロジスティクス)」の位置づけ、「交通経済学」をどこかに。 ・小区分07040「経済政策関連」のキーワードに「交通経済学」、小区分07080「経営学関連」のキーワードに「サプライチェーンマネジメント」、小区分07090「商学関連」のキーワードに「物流(ロジスティクス)」、小区分80020「観光学関連」のキーワードに「観光交通、産業観光」を。 ・小区分07040「経済政策関連」と小区分07090「商学関連」のそれぞれのキーワードに「ロジスティクス」を。 ・「交通経済学」「ロジスティクス」をキーワードに。 ・経済政策分野のキーワードとして「交通経済学」を、商学分野のキーワードとして「ロジスティクス」を。
＜回答＞
回答： 意見を踏まえて一部を修正する （小区分07040「経済政策関連」の内容の例に「交通経済学」と「開発経済学」を追加することとします。 小区分07090「商学関連」の内容の例に「ロジスティクス」を追加することとします。） 説明： ・指摘のあった「交通経済学」および「開発経済学」は、内容の説明を充実させ、当該区分をより広がりのある領域として示すことができると認められるので、小区分07040「経済政策関連」の内容の例に追加することとします。 ・指摘のあった「ロジスティクス」は、現代的な内容として当該区分をより広がりのある領域として示すことができると認められるので、小区分07090「商学関連」の内容の例に追加することとします。

16. 「財政および公共経済関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分07050「財政および公共経済学関連」の小区分の説明を「応用経済関連」あるいは「公共経済学および労働経済関連」という名称に。
＜回答＞
回答： 意見を採用して修正する （小区分07050「財政および公共経済学関連」の小区分の説明を「公共経済および労働経済関連」に変更することとします。） 説明： 意見は、原案の小区分の説明では、この小区分が労働経済学などの応用経済学関連の広範な研究を含むことが分かり難いとの指摘です。意見を踏まえ、小区分の説明に「労働経済」を明示することとします。

17.「公法学関連」「民事法学関連」「金融およびファイナンス関連」「商学関連」「安全工学関連」「保険法」「保険論」「保険」「リスクマネジメント」「年金保険論」「年金論」に関して

＜意見の概要＞	
・小区分07060「金融およびファイナンス関連」のキーワードに「保険リスク理論」「保険リスクマネジメント」を。 ・小区分05060「民事法学関連」、小区分07060「金融およびファイナンス関連」、小区分07090「商学関連」のキーワードに「保険」および「保険論」を。 ・「年金論」、「年金保険論」をキーワードに。	
＜回答＞	
回答：	意見を踏まえて一部を修正する
	〔小区分07060「金融およびファイナンス関連」の内容の例に「保険論」を追加することとします。〕
説明：	審査区分は内容の例に「、など」と記載している通り、それらに縛られることなくより広がりのある自由度を有しています。「保険リスク理論」、「保険リスクマネジメント」、「保険」、「保険論」を関連する小区分に追加をとの意見につきましても、小区分07060「金融およびファイナンス関連」の内容の例に追加することによって、当該区分をよりわかりやすく広がりのある領域として示すことができると認められます。他の関連の小区分を含めそれ以外の指摘のあった内容の例の追加については、前述の内容の例の追加以上の必要性は認められません。

18.「消費者教育」に関して

＜意見の概要＞	
小区分「消費者教育関連」を、中区分7と中区分9のなかに設置。	
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	小区分「消費者教育関連」の構成を必要とするほどの応募件数および内容の広がりが認められません。

19.「社会学関連」に関して

＜意見の概要＞	
(1)小区分08010「社会学関連」のキーワードに「医療社会学」を追加。 (2)小区分08010「社会学関連」のキーワード「福祉社会学」を「福祉保健医療」に。 (3)小区分58010「医療管理学および医療系社会学関連」のキーワードの「医学倫理」を「医療倫理」ないし「生命倫理」に。	
＜回答＞	
回答：	意見を踏まえて一部を修正する
	〔小区分08010「社会学関連」の内容の例に「医療社会学」を追加することとします。 小区分58010「医療管理学および医療系社会学関連」の内容の例に「医療倫理」を追加することとします。〕
説明：	(1)小区分08010「社会学関連」の内容の例に指摘のあった「医療社会学」を追加することによって、当該区分をより広がりのある領域として示すことができると認められます。 (2)小区分08010「社会学関連」の内容の例として原案の「福祉社会学」は妥当と認められます。 (3)小区分58010「医療管理学および医療系社会学関連」の内容の例に指摘のあった「医療倫理」を追加することによって、当該区分をより広がりのある領域として示すことができると認められます。

20. 「人口学」に関して

＜意見の概要＞	
・「人口学」を独立した小区分に。 ・「人口学」という分野を。	
＜回答＞	
回答：	意見を踏まえて一部を修正する
	小区分08010「社会学関連」の内容の例に「社会人口学」を追加することとします。
説明：	指摘のあった「人口学」は小区分の新設を必要とするほどの応募件数と内容の広がりともに認められません。「人口学」関連では、小区分07030「経済統計関連」に「人口統計」等が内容の例として採用されています。これに加えて、小区分08010「社会学関連」の内容の例に「社会人口学」を追加することで、当該領域に関係する応募者への新たな情報となることが期待されます。

21. 「保健社会学」「健康社会学」に関して

＜意見の概要＞	
小区分として「保健社会学」ないし「保健・医療・福祉社会学」を。	
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	指摘のあった「保健社会学」および「保健・医療・福祉社会学」は、いずれも新設を必要とするほどの内容の広がり認められません。原案のままで適切に審査可能と認められます。

22. 「社会福祉学関連」に関して

＜意見の概要＞	
(1)小区分08020「社会福祉学関連」のキーワード「ソーシャルワーク」を削除。 (2)中区分「社会技術の関連分野」を設け、小区分として「社会技術」(社会計画、コミュニティ開発、社会イノベーション、社会デザイン、ソーシャルワーク)を。	
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	(1)小区分08020「社会福祉学関連」のキーワード「ソーシャルワーク」を削除する必要性は認められません。 (2)指摘のあった「社会技術の関連分野」を中区分として新設するほどの内容の広がり認められません。 以上、指摘のあった点については、原案のままで適切に審査可能と認められます。

23. 「生活文化関連」「家政学」「食生活学」「食物学・調理学」「生活科学」に関して

<意見の概要>

(1) 小区分の名称、さらなる分割など

- ・小区分08030「生活文化関連」の名称を「家政学(生活科学)関連」に。
- ・小区分08030「生活文化関連」を「家政・生活学一般」とする。ほかに「衣・住生活学」「食生活A」「食生活B」の小区分を設ける。
- ・小区分08030「生活文化関連」に「衣・住生活学」「食生活(食品と調理関連)」「食生活(統合栄養科学関連)」「食生活(食生活と健康関連)」を追加。

(2) 小区分08030「生活文化関連」のキーワードについて

- ・キーワードに「食生活」「調理」を入れる。
- ・キーワードを「家庭経営、家族、ライフスタイル、衣生活、食生活、住生活、消費科学、生活文化、家政学一般」とする。

(3) 中区分における場所

- ・小区分「家政学関連」を、中区分9「教育学およびその関連分野」、中区分38「農芸化学およびその関連分野」、中区分59「健康科学およびその関連分野」の中に追加して入れる。
- ・さらに、中区分26「材料工学およびその関連分野」、中区分27「化学工学およびその関連分野」にも。

(4) 中区分として独立

- ・中区分として「家政学(生活科学)」を立て、小区分として「家政・生活学一般」「衣・住生活学」「食生活(食品と調理関連)」「食生活(統合栄養科学関連)」「食生活(食生活と健康関連)」を。
- ・中区分として「家政学(生活科学)およびその関連分野」を立てる。その際、小区分(それぞれのキーワードつき)には、「家政学原論関連」(学説、思想、研究方法、国際家政学、家政学史)、「家庭経営関連」(生活経営・管理、家庭経済、生活設計、消費者問題、ジェンダー)、「家族関連」(家族理論、家族関係、家族と地域・社会、高齢者、家族と国際化)、「児童関連」(児童発達、育児・保育、家庭教育、児童文化、児童福祉、児童臨床)、「食物関連」(食生活、栄養、食品、調理・加工、食品衛生、食文化・食生活史・食育)、「被服関連」(衣生活、被服材料、被服整理・染色、被服構成、被服衛生・生理、被服心理、色彩・意匠、服飾文化・服飾史)、「住居関連」(住生活、住居史、住居・住環境計画・デザイン、住居環境・設備、住宅構造・材料・防災、住居管理、住宅問題・政策、住教育)、「家政教育関連」(家庭科教育、家政教育、地域教育、教育実践)。

(5) 中区分を立てるのが難しければ、せめて中区分8の名称を「社会学、家政学(生活科学)およびその関連分野」と。

(6) ・大区分A、C、D、F、IIにも「家政学(生活科学)関連」の小区分を。

- ・大区分Kに入れる方が適切。
- ・複合領域の復活を。

(7) 生活科学を人文系で審査するのは不自然。名称の変更とキーワードの追加。

(8) 人文学に代表されるので、社会科学だけにおくのは無理がある。

(9) 学際的・複合領域的な独立した大区分を設けてそこに家政学を。

<回答>

回答： 意見を踏まえて一部を修正する

- 小区分08030「生活文化関連」の説明を「家政学および生活科学関連」に変更することとします。
- 小区分08030「生活文化関連（「家政学および生活科学関連」に変更）」の内容の例について
 - ・「家政学一般」を追加することとします。
 - ・「家政教育」を追加することとします。
 - ・「生活経営」を「家庭経済」に変更することとします。
 - ・「服飾文化」を「衣生活」に変更することとします。
 - ・「住環境」を「住生活」に変更することとします。
 - ・「食生活」を追加（衣、食、住の順に「生活」を並べる）することとします。
 - ・その前に「衣文化」「住文化」を追加することとします。

説明： 審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。また内容の例は、学術分野あるいは領域を示すものではなく、その小区分において審査する内容について、できるかぎり包括的、一般的な用語を用いることで少数の用語で広い内容をカバーするように設定しています。その上で、以下の様な理由で寄せられた意見に回答します。

・小区分08030「生活文化関連」を中区分、あるいは大区分としての設置をとの意見については、中区分、あるいは大区分として設定することを必要とするほどの内容の広がり認められません。

・本小区分の中区分への位置づけについては、原案のままで適切に審査可能と認められます。

・指摘のあった点は、本小区分をさらに細分化した小区分に分けることを要望するものですが、今回の科研費制度改革の柱である「適切な審査範囲の設定」に合わず、原案のままで適切と認められます。

・小区分の説明に関しては、家政学と生活科学とが区分を共有できるように小区分08030「家政学および生活科学関連」に変更することとします。

・小区分08030「生活文化関連（「家政学および生活科学関連」に変更）」の内容の例に関しては、当該の審査領域をより広がりのある内容として説明できることの観点に立って精査しました。その結果、回答欄に示した通り追加および変更を行うこととします。

24. 「社会学およびその関連分野」に関して

<意見の概要>

- ・中区分8「社会学およびその関連分野」を「社会学、社会福祉学およびその関連分野」に。
- ・中区分8「社会学およびその関連分野」の中に、小区分80010「地域研究関連」を入れる。
- ・この中区分に、小区分08030「生活文化関連」があるのは違和感。

<回答>

回答： 原案のままとする

説明： 指摘のあった点は、いずれも原案のままで適切に審査可能と認められます。

25.「社会技術」に関して

＜意見の概要＞
中区分「社会技術の関連分野」を設け、小区分として「社会技術」(社会計画、コミュニティ開発、社会イノベーション、社会デザイン、ソーシャルワーク)を。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 指摘のあった点は、中区分をさらに細分化することを要望するものですが、今回の科研費制度改革の柱である「適切な審査範囲の設定」に合わず、原案のままが適切と認められます。

26.「子ども学および保育学関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分として「保育・子育て」を追加。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 指摘のあった点は、いずれも原案のままで適切に審査可能と認められます。

27.「教科教育学」に関して

＜意見の概要＞
教科教育の小区分の設置を要望。教科教育は各教科において育成すべき汎用的能力と各教科の固有性との関係を追及している分野で応募数も多い。
＜回答＞
回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分09040「初等中等教育学関連」の説明を「教科教育学および初等中等教育学関連」に変更することとします。
説明： 「教科教育学」については、小区分「初等中等教育学関連」の内容に対応していること、また独立した小区分として新設するほどの内容の広がり認められないことから、原案のままとします。ただし、当該の小区分の説明は内容をよりよく表すために「教科教育学および初等中等教育学関連」に変更することとします。

28. 「科学教育」「教科教育学」「理科教育」に関して

<意見の概要>
科学教育と教科教育の2つの小区分の設置を要望。いわゆる「教育学」と「教える内容」は異なること、また、小学生から社会人までのを広くカバーする観点から、これらの2つは初等中等教育と一緒にできない。応募数も多い。
<回答>
回答： 意見を採用して修正する 小区分09080「科学教育関連」を中区分9「教育学およびその関連分野」に追加することとします。 小区分09080「科学教育関連」に内容の例として、以下を加えることとします。 科学教育、科学コミュニケーション、科学リテラシー、科学と社会 説明： 現細目の「教科教育学」（小区分09040「初等中等教育学関連」に対応）の応募内容を精査した結果、文科系科目で学校教育に関するものが中心となっており、理科系科目で、かつ科学コミュニケーション、科学と社会などの学校教育外への広がりをもつ科学教育は独立した小区分とすることが適当であると認められます。

29. 「高等教育学関連」に関して

<意見の概要>
小区分09050「高等教育学関連」のキーワードに「教師教育」を。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 「教師教育」はとくに高等教育学のみではなく、教育学全般に広く関わるものであると認められます。したがって、特定の小区分に内容の例として入れず、応募する区分を広く選択できるようにします。

30. 「教育学およびその関連分野」「応用情報学およびその関連分野」「教育工学関連」に関して

＜意見の概要＞
・教育工学を教育学だけでなく、情報工学としても位置付けることを要望。中区分62「応用情報学およびその関連分野」にも含めることを求める。 ・教育工学を大区分Jにも位置付けることを要望。（中区分9「教育学およびその関連分野」と中区分62「応用情報学およびその関連分野」に位置付けられるべきとの考えから） ・教育工学を大区分Aの中区分9「教育学およびその関連分野」だけでなく、大区分Jの中区分62「応用情報学およびその関連分野」に位置付けることを要望。 ・小区分09070「教育工学関連」に「情報教育」、「メディア教育」、「遠隔教育」を加えること、およびこの小区分を大区分Jにも加えることを求める。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。また、内容の例は、あくまでも小区分の説明であり、そこに含まれていない内容の応募を排除するものではありません。したがって、原案のままで適切に審査可能と認められます。

31. 「情報教育」に関して

＜意見の概要＞
・小区分09070「教育工学関連」に、キーワード「情報教育」、「メディア教育」、「遠隔教育」の追加を希望。その上で、その小区分を中区分62「応用情報学およびその関連分野」にも入れることを希望。 ・小区分「情報学教育関連」の新設、または小区分09070「教育工学関連」を「情報学教育および教育工学関連」に変更を希望。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった点は、いずれも原案のままで適切に審査可能と認められます。

32. 「刑事法学関連」「社会心理学関連」に関して

＜意見の概要＞
(1)小区分10010「社会心理学関連」のキーワード「態度行動」は「態度と行動」に。 (2)小区分05050「刑事法学関連」のキーワード「法と心理」は小区分05010「基礎法学関連」に移動。
＜回答＞
回答： 意見を踏まえて一部を修正する （小区分10010「社会心理学関連」の内容の例「態度行動」は「態度と行動」に変更することとします。） 説明： (1)内容の例としては指摘のあった「態度と行動」の方が、当該区分をより広がりのある内容として説明できると認められます。 (2)小区分05050「刑事法学関連」の内容の例「法と心理」は、原案のままで適切に審査可能と認められます。

33. 「応用心理学関連」「人間工学」に関して

<意見の概要>
1. 中区分10「心理学およびその関連分野」に、小区分「応用心理学」の追加を要望。 2. 中区分25「社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野」に、小区分「人間工学」の追加を要望。
<回答>
回答： 原案のままとする
説明： 中区分10「心理学およびその関連分野」は5つの小区分で、中区分25「社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野」は3つの小区分で各々構成されており、「応用心理学」および「人間工学」は原案のいずれかの小区分で適切に審査可能と認められます。

34. 大区分Aに関して

<意見の概要>
大区分Aが大きすぎるので、分割を。
<回答>
回答： 原案のままとする
説明： 大区分は、基盤研究(S)の審査区分に該当します。現在、基盤研究(S)の審査は、人文学と社会科学とをまとめて一つの審査会で適切に審査されています。原案の大区分案は、現状を踏襲したものであり、原案のまま適切に審査可能と認められます。

35. 「数学」「数学基礎および統計関連」に関して

<意見の概要>
・中区分12「解析学、応用数学およびその関連分野」の小区分、キーワードが現状の数学研究の動向と大きく異なっているので、再検討を希望。 ・小区分12030「数学基礎および統計関連」で、内容的に関連の乏しい「数学基礎論」と「統計数学」を同じ審査委員が審査するときの問題点の解決を希望。
<回答>
回答： 意見を踏まえて一部を修正する
小区分12030「数学基礎および統計関連」の説明を「数学基礎関連」に変更することとします。その上で小区分12040「応用数学関連」の内容の例「計算機数学」を小区分12030へ移動することとします。 また、現在小区分12030にある内容の例「ゲーム理論」、「統計数学」を小区分12040「応用数学関連」に移動することとします。 その上で、小区分12040「応用数学関連」の説明を「応用数学および統計数学関連」に変更することとします。
説明： 関連性の強い内容を同一の小区分に含めることで、応募者の小区分選択が容易になることが期待されます。

36. 「数理生物学」「理論生物学」に関して

<意見の概要>
数理生物学・理論生物学に関する研究を応募できる小区分がないので、しかるべき小区分の見直しを希望。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった「数理生物学」に関する応募課題は、小区分12040「応用数学および統計数学関連」で適切に審査可能と認められます。また、「理論生物学」に関する応募課題は現在の生物学系(中区分43「分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野」、中区分44「細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野」、など)、あるいは情報系(中区分54「生体情報内科学およびその関連分野」、中区分61「人間情報学およびその関連分野」など)などで適切に審査可能と認められます。

37. 「解析学、応用数学およびその関連分野」に関して

<意見の概要>
中区分12「解析学、応用数学およびその関連分野」を2つの中区分「解析学」と「数理科学」に分けることを希望。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 「数理科学」は、数学、統計学、計算機科学を含む基盤的学問分野であり、中区分11「代数学、幾何学およびその関連分野」ならびに中区分12「解析学、応用数学およびその関連分野」の中の複数の小区分に関連する大きな広がりがあり、原案の審査区分表によって応募者は自由に適切な区分を選択することができます。したがって、原案のままで適切に審査可能と認められます。

38. 「物性物理およびその関連分野」「素粒子、原子核、宇宙物理およびその関連分野」に関して

<意見の概要>
大区分Bに含まれる他の中区分の説明に合わせ、中区分13「物性物理およびその関連分野」、中区分15「素粒子、原子核、宇宙物理およびその関連分野」の説明を見直すべき。
<回答>
回答： 意見を採用して修正する 中区分13の説明「物性物理およびその関連分野」を「物性物理学およびその関連分野」に変更することとします。 中区分15の説明「素粒子、原子核、宇宙物理およびその関連分野」を「素粒子、原子核、宇宙物理学およびその関連分野」に変更することとします。 説明： 大区分Bの中での用語の統一を図るべく、指摘の通りに変更することとします。

39.「数理物理および物性基礎関連」に関して

<意見の概要>
小区分13010「数理物理および物性基礎関連」の内容の例「量子情報」を「量子情報理論」としてはどうか。
<回答>
回答： 意見を採用して修正する 小区分13010「数理物理および物性基礎関連」の内容の例「量子情報」を「量子情報理論」に修正することとします。 説明： 小区分13020「半導体、光物性、原子物理関連」の内容の例に「量子情報」を追加したことに伴い、小区分13010「数理物理および物性基礎関連」の内容の例をより明確化するために「量子情報」を「量子情報理論」に変更することとします。これにより、それぞれの審査範囲がより明確になるものと期待されます。

40.「数理物理および物性基礎関連」「半導体、光物性および原子物理関連」「原子、分子、量子エレクトロニクス」に関して

<意見の概要>
・現行の細目表の「原子・分子・量子エレクトロニクス」に入っていた「量子エレクトロニクス」と「量子情報」が別々の小区分に入れられていることは、この分野の世界的傾向に逆行するものである。 ・小区分13020「半導体、光物性および原子物理関連」は物理学会における複数の領域が混在する形になっており、応募課題を審査する審査員のうち半分以上が専門外となって正当な評価がなされない恐れ。 ・量子情報と量子エレクトロニクスは互いに密接に結びついている分野であるにもかかわらず別々の小区分になったことは不適切。 ・量子情報と量子エレクトロニクスが別々の小区分になっていることは当該分野の世界の潮流に反する。 ・小区分13010「数理物理および物性基礎関連」は理論に偏すると思われ、量子情報の実験が適切に評価されるかどうか懸念される。 ・「原子・分子・量子エレクトロニクス」は従来の細目どおり独立した小区分とすべき。 ・新興分野である「量子情報」の発展を阻害する。
<回答>
回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分13020「半導体、光物性および原子物理関連」の内容の例に「量子情報」を追加することとします。 説明： 当該の小区分13020「半導体、光物性および原子物理関連」の内容の例に「量子情報」を追加することによって、「量子情報」の理論的側面（小区分13010「数理物理および物性基礎関連」）と実験的側面（小区分13020「半導体、光物性および原子物理関連」）がともに内容の例として明示され、指摘の問題は解決できると認められます。

41.「量子エレクトロニクス」に関して

＜意見の概要＞
「量子情報関連」の小区分が設定されるべき。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付けなどを表すものではありません。原案の審査区分表に40番の回答を追加することで、量子情報関連の研究課題は適切に審査可能と認められます。

42.「量子ビーム科学関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分80040「量子ビーム科学関連」は、数物系の中区分では「プラズマ関係」と「素粒子関係」のみに関係づけられているが、「物性」や「ナノサイエンス」にも関係づけるべき。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 量子ビームを利用する研究は非常に多岐にわたるので、それらを網羅的に関連づけることは实际的ではありません。小区分80040「量子ビーム科学関連」は審査区分であり、内容の例として「量子ビーム応用」が示すとおり、どの分野の研究者でも応募が可能と認められます。

43.「天文学およびその関連分野」に関して

＜意見の概要＞
・キーワードの変更あるいは小区分の在り方の変更。 ・天文学中区分の変更。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 内容の例は、学術分野あるいはその区分を示すものではなく、その小区分において審査する内容について、できるかぎり包括的、一般的な用語を用いることで少数の用語で広い内容をカバーするように設定しています。指摘のあった小区分16010「天文学関連」は中区分16「天文学およびその関連分野」と一致しており、応募者が小区分の選択にとまどうことはないと認められます。

44.「固体地球科学関連」に関して

<意見の概要>
「岩石・鉱物」というキーワードの追加、あるいは小区分としての独立。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 内容の例は、学術分野あるいは領域を示すものではなく、その小区分において審査する内容について、できるかぎり包括的、一般的な用語を用いることで少数の用語で広い内容をカバーするように設定しています。指摘の「岩石・鉱物」を小区分として独立するだけの内容の広がり認められません。競争的環境における審査という科研費改革の趣旨に則り、原案のままとします。

45.「地球惑星科学」に関して

<意見の概要>
小区分「地球惑星科学総合関連」あるいは「基礎地球惑星科学関連」の追加。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 審査区分表は科研費の審査のための区分であり、応募の件数と内容の広がりに応じて設定されるものであり、学術分野あるいはその区分を示すものではありません。また、小区分の内容も、内容の例に限定するものではありません。審査区分表では、研究スタイルの如何によらず、研究テーマに応じて小区分を選択することができるようにしています。以上の観点より、指摘の小区分の追加の必要性は認められません。

46.「設計工学関連」に関して

<意見の概要>
小区分18030「設計工学関連」のキーワードに、「形状モデリング」、「CAD、CAM」、「コンカレントエンジニアリング」等の追加を要望。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 内容の例は、学術分野あるいは領域を示すものではなく、その小区分において審査する内容について、できるかぎり包括的、一般的な用語を用いることで少数の用語で広い内容をカバーするように設定しています。指摘のあった点は、いずれも中区分60「情報科学、情報工学およびその関連分野」と関連が深く、「CAD」は小区分60040「計算機システム関連」に、「CAM」は小区分18020「加工学および生産工学関連」の「コンピュータ援用技術」に、「コンカレントエンジニアリング」は小区分60090「高性能計算関連」の「並列処理」、小区分60030「統計科学関連」の「多変量解析」、小区分60100「計算科学関連」の「先進アルゴリズム」などの内容に含まれます。したがって、原案のままで適切に審査可能と認められます。

47.「設計工学のシンセシス」に関して

＜意見の概要＞	
	大区分Cの工学関連の中区分18「材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野」、中区分24「航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野」、中区分25「社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野」等に跨る「設計工学のシンセシス」に関わる分野を独立した中区分として設置を要望。
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。原案の審査区分により適切に審査可能と認められます。

48.「設計工学関連」に関して

＜意見の概要＞	
	「設計工学」を一例として、学際領域の研究分野を独立した大区分として設定することを要望。
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。原案の審査区分で適切に審査可能と認められます。学際領域についても特別扱いはせず、審査が競争的に行えるよう、相互審査可能な区分（中区分、大区分）を設定しています。また、常に新しい視点の研究が応募できるように区分の設定を柔軟にしています。

49.「建築学およびその関連分野」に関して

＜意見の概要＞	
	中区分23「建築学およびその関連分野」は、現行の大区分Cに加えて、大区分Aにも属することを要望。
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。「建築学」は工学的側面と芸術的側面と歴史学的側面を有しますが、審査区分表では両者の応募を考慮しています。すなわち、中区分23「建築学およびその関連分野」は工学領域の大区分Cに含まれていますが、芸術的側面については、小区分90010「デザイン学関連」が中区分1「思想、芸術およびその関連分野」にあり、また、同じ中区分1「思想、芸術およびその関連分野」の小区分01060「美術史関連」には関連する内容の例「建築」、「デザイン」が含まれています。したがって、応募者は適切に審査区分を選択可能と認められます。

50. 「建築史および意匠関連」に関して

＜意見の概要＞	
	大区分C、中区分23「建築学およびその関連分野」に属する小区分23040「建築史および意匠関連」を、大区分A、中区分1「思想、芸術およびその関連分野」もしくは中区分3「歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野」に移動を要望。
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。「建築学」は工学的側面と芸術的側面と歴史学的側面を有しますが、審査区分表では両者の応募を考慮しています。すなわち、中区分23「建築学およびその関連分野」は工学領域の大区分Cに含まれていますが、芸術的側面については、小区分90010「デザイン学関連」が中区分1「思想、芸術およびその関連分野」にあり、また、同じ中区分1「思想、芸術およびその関連分野」の小区分01060「美術史関連」には関連する内容の例「建築」、「デザイン」が含まれています。したがって、応募者は適切に審査区分を選択可能と認められます。

51. 「システム創成学」に関して

＜意見の概要＞	
	小区分「システム創成学関連」の新設を希望。（どの中区分に、とはいっていない。レジリエンス工学とも関連する。）
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。中区分25「社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野」は、小区分25010「社会システム工学関連」、小区分25020「安全工学関連」、小区分25030「防災工学関連」、の3つの小区分で構成されており、そのいずれかで適切に審査可能と認められます。

52. 「人間工学」に関して

＜意見の概要＞	
	小区分25020「安全工学関連」、小区分61020「ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連」、小区分45060「応用人類学関連」に含まれている「人間工学」を、中区分59「健康科学およびその関連分野」に小区分「人間工学関連」として分離・追加を要望。
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	「人間工学」は、健康科学にとどまらず、小区分61020「ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連」や小区分25020「安全工学関連」など広領域に関連があります。それらの区分において競争的環境下で適切に審査可能と認められます。

53.「応用人類学関連」「人間工学」に関して

＜意見の概要＞
・小区分45060「応用人類学関連」を、「応用人類学および人類動態学関連」に変更を要望。 ・小区分45060「応用人類学関連」に含まれている「人間工学」を、中区分59「健康科学およびその関連分野」に小区分「人間工学関連」として分離・追加を要望。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 「人類動態学」は応用人類学のひとつとして位置づけられるので、小区分の説明は原案のままとします。「人間工学」は、健康科学にとどまらず、小区分61020「ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連」や小区分25020「安全工学関連」など広領域に関連があります。それらの区分において、競争的環境下で適切に審査可能と認められます。

54.「折紙工学」に関して

＜意見の概要＞
小区分「折紙工学関連」の新設を要望。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 「折紙工学」は幾何学、群論、デザイン学、設計学等の広範囲の分野との連関を有し、それらが関係する小区分において競争的環境下で適切に審査可能と認められます。

55.「原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野」に関して

＜意見の概要＞
中区分31「原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野」は、現行の大区分Dから大区分Cへの移行を要望。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 大区分Cへ移行する特段の必然性が認められません。

56.「農芸化学およびその関連分野」に関して

＜意見の概要＞
小区分38060「応用分子細胞生物学関連」の位置は中区分38「農芸化学およびその関連分野」ではないのでは。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 原案のままで適切に審査可能と認められます。

57.「植物栄養学および土壌学関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分38010「植物栄養学および土壌学関連」のキーワードに「土壌肥沃度、肥料、土壌環境」を追加。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 原案のままで適切に審査可能と認められます。

58.「植物栄養学および土壌学関連」「作物生産科学関連」「ランドスケープ科学関連」「環境農学関連」に関して

＜意見の概要＞
大括り化に賛成。但し小区分39020「作物生産科学関連」のキーワード「低コスト栽培技術」、小区分39070「ランドスケープ科学関連」のキーワード「参加型まちづくり」、小区分41050「環境農学関連」のキーワード「低炭素社会」に違和感。小区分38010「植物栄養学および土壌学関連」のキーワードに「土壌肥沃度」「肥料」を追加。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 内容の例は、学術分野あるいは領域を示すものではなく、その小区分において審査する内容について、できるかぎり包括的、一般的な用語を用いることで少数の用語で広い内容をカバーするように設定しています。以上の観点より、原案のままで適切に審査可能と認められます。

59.「園芸科学関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分39030「園芸科学関連」のキーワードに「果樹」を追加。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 内容の例は、学術分野あるいは領域を示すものではなく、その小区分において審査する内容について、できるかぎり包括的、一般的な用語を用いることで少数の用語で広い内容をカバーするように設定しています。以上の観点より、原案のままで適切に審査可能と認められます。

60.「動物生産科学関連」に関して

<意見の概要>
・小区分42010「動物生産科学関連」のキーワードに「草地」「放牧」を追加。「行動」「アニマルセラピー」は小区分42030「動物生命科学関連」に移動。 ・「草地学」「草地土壌学」を残してほしい。
<回答>
回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分42010「動物生産科学関連」の内容の例に「草地」「放牧」を追加することとします。 「行動」「アニマルセラピー」については、原案のまま移動しないこととします。 説明： 意見のうち「草地」「放牧」は、小区分42010「動物生産科学関連」のなかで植物系の内容の例として必要と認められます。その他の指摘については、原案のままで適切に審査可能と認められます。

61.「基礎獣医学」に関して

<意見の概要>
小区分「基礎獣医学関連」の追加。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 内容の広がりを考慮すると、原案のままで適切に審査可能と認められます。また、寄せられた意見(本区分の追加)は、今回の科研費制度改革の柱である「適切な審査範囲の設定」に合わず、原案のままだと適切と認められます。

62.「獣医学関連」「学習支援システム」に関して

<意見の概要>
小区分の追加。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 応募件数とその内容の広がり等を考慮すると、原案のままで適切に審査可能であり、新たな区分として追加の必要性は認められません。

63.「総合農学」に関して

<意見の概要>
複合農学に関する中区分の追加。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった「複合農学」や「総合農学」という括り方については、原案の中区分39「生産環境農学およびその関連分野」や中区分41「社会経済農学、農業工学およびその関連分野」と独立した中区分として新設する必要性は認められません。それらの内容は原案の中区分に包含されており、今回の改革で導入される総合審査方式によって適切に審査可能と認められます。

64. 「分子生物学およびその関連分野」「多様性生物学、人類学およびその関連分野」に関して

＜意見の概要＞	
	中区分43と中区分45の説明について、中区分44のように対象とするレベルを踏まえた説明としてはどうか。
＜回答＞	
回答：	意見を採用して修正する
	中区分43の説明「分子生物学およびその関連分野」を「分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野」に変更することとします。 中区分45の説明「多様性生物学、人類学およびその関連分野」を「個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野」に変更することとします。
説明：	指摘のあった観点から生物学領域の中区分を整理し直し、階層性に分けて説明することとしました。

65. 「分子生物学関連」に関して

＜意見の概要＞	
	分子生物学、細胞学などは業績のレベルが高いので、他と比べて不平等ではないか。
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	学術の水準は分野ごとに異なり、尺度によってその高低の評価も分かります。一方、研究者人口が学術の水準と相関を有することも事実です。科研費制度では、応募件数と内容の広がりに応じて審査区分を設定し、計画調書の内容をピアレビューにより評価することによって、審査の公正性と公平性を担保しています。また、審査の公正性が担保されるよう、審査方式の合理化および審査員の質の向上に向けての啓発のいずれにおいても最大限の努力と注意を払って不断の改善・改革を行っています。今回の科研費制度改革はその一環です。

66. 「ゲノム生物学関連」に関して

＜意見の概要＞	
	小区分43050「ゲノム生物学関連」に「ゲノム動態」を追加してはどうか。
＜回答＞	
回答：	意見を採用して修正する
	小区分43050「ゲノム生物学関連」の内容の例に「ゲノム動態」を追加することとします。
説明：	指摘のあった内容の例「ゲノム動態」は、小区分43050「ゲノム生物学」をより良く説明するものと認められます。

67. 「生物工学」に関して

＜意見の概要＞	
	「生物工学」をキーワードとして採用されたい。
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	指摘のあった「生物工学」は内容の例としては抽象的すぎると認められます。

68.「細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野」に関して

<意見の概要>
中区分44「細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野」では、応用面が強調される危険性があるので何らかの対応が必要。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 指摘の懸念は当たらないと思われます。審査区分表は審査領域を応募件数と内容の広がりに応じて区分するものであり、例として示している内容に限定されるものではありません。また、基礎、応用といった研究の方向性を縛るものではありません。

69.「形態および構造関連」に関して

<意見の概要>
小区分44040「形態および構造関連」において、生物形態という概念はない。但し植物についての配慮は必要。キーワードに「植物形態」の追加を希望。
<回答>
回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分44040「形態および構造関連」の内容の例「生物形態」を削除し、「動植物形態」、「微生物形態」を内容の例の筆頭に追加することとします。 説明： 内容の例「生物形態」というのは抽象的すぎるとの指摘に対応して、これを削除し内容の例として「動植物形態」および「微生物形態」を追加することが妥当と認められます。

70.「時間生物学」「睡眠学」「生理心理学」に関して

<意見の概要>
・時間生物学の区分追加およびキーワードの追加。 ・小区分48020「生理学関連」のキーワードとして睡眠(学)が消えている。 ・小区分44050「動物生理化学、生理学および行動学関連」のキーワードに「時間生物学」「生体リズム」「時計遺伝子」などを追加。
<回答>
回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分44050「動物生理化学、生理学および行動学関連」の内容の例に「時間生物学」を追加することとします。 説明： 指摘のあった点を検討した結果、「時間生物学」については、より内容に広がりをもたせることができると認められます。一方、「生体リズム」、「時計遺伝子」については、追加の必要性は認められません。

71. 「生理学関連」「動物生理化学、生理学および行動学関連」に関して

＜意見の概要＞	
小区分48020「生理学関連」にあるキーワードの「比較生理学」は、小区分44050「動物生理化学、生理学および行動学関連」へ移す方が適切。	
＜回答＞	
回答：	意見を踏まえて一部を修正する
	〔小区分44050「動物生理化学、生理学および行動学関連」の内容の例に「比較生理学」を追加することとします。〕
説明：	指摘のあった「比較生理学」は、現行の医学系だけではなく、小区分44050「動物生理化学、生理学および行動学関連」にも内容の例として必要と認められます。

72. 「遺伝学関連」に関して

＜意見の概要＞	
遺伝学が対象とする範囲は広いと、1つの小区分のみとすることは難しいのではないかと。	
＜回答＞	
回答：	意見を採用して修正する
	〔小区分43010「分子生物学関連」の内容の例に「分子遺伝」を追加することとします。 小区分44010「細胞生物学関連」の内容の例に「細胞遺伝」を追加することとします。〕
説明：	実績を踏まえて「遺伝学関連」として1つの小区分を設定していますが、「遺伝学」は、内容の例としてはほとんどの分野に入るほどに生物学全体の基盤です。したがって個々の小区分の内容の例としてすべて追加する必要は認められません。一方、できるだけ小区分の内容に広がりを持たせる観点から、個別により具体的な内容の例として「分子遺伝」と内容の例「細胞遺伝」をそれぞれ該当の小区分に追加することとします。

73. 「生物人口学」に関して

＜意見の概要＞	
「生物人口学」をキーワードとして追加すべき。	
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	指摘のあった「生物人口学」は、その意味の定義が難しいことから、内容の例としての追加の必要性は認められません。

74. 「神経科学」に関して

＜意見の概要＞	
小区分の再編と機械分割に備えた対応をしてはどうか。	
＜回答＞	
回答：	原案のままとする
説明：	機械分割方式は、ある審査区分に応募件数が多い場合に、その審査区分の中で競争性を維持しつつ、ひとりの審査員が担当する課題数を適切な範囲に収めることを趣旨としています。これまでのキーワード分割よりも公正性が高まると期待されます。今後の応募や審査の動向を注視しつつ、状況の変化に応じて不断の改革を進めて参ります。

75.「環境生理学」に関して

＜意見の概要＞
小区分48020「生理学関連」の一般生理学では審査しきれない。区分の追加。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 原案のままで適切に審査可能と認められます。

76.「真菌学」に関して

＜意見の概要＞
真菌は分類上細菌ではないので区分を設けてはどうか。
＜回答＞
回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分49050「細菌学関連」の内容の例に「真菌」を追加することとします。
説明： 小区分49050「細菌学関連」の内容の例に指摘のあった「真菌」を追加することにより、より広がりのある内容として示すことができると認められます。

77.「免疫学関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分49070「免疫学関連」をさらに細分化。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 指摘のあった点は、当該の小区分をさらに細分化することを要望するものですが、今回の科研費制度改革の柱である「適切な審査範囲の設定」に合わず、原案のままが適切と認められます。

78.「脳科学」に関して

＜意見の概要＞
臨床医学に脳科学が入っているのは奇妙である。神経科学全般で大区分を作っては。
＜回答＞
回答： 原案のままとする
説明： 指摘のあった点は、大区分とするほどの応募件数および内容の広がりには認められません。

79.「疼痛学」に関して

＜意見の概要＞
小区分「疼痛学関連」の追加。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった点について、小区分を設定するほどの応募件数と内容の広がり認められません。小区分51030「病態神経科学関連」の内容の例として「疼痛学」を採用しており、原案のまま適切に審査可能と認められます。

80.「老年医学」に関して

＜意見の概要＞
小区分52010「内科学一般関連」のキーワード「老年医学」を独立した小区分にする。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった点については、小区分を設定するほどの内容の広がり認められません。原案の小区分52010「内科学一般関連」のなかで適切に審査可能と認められます。

81.「神経内科学」に関して

＜意見の概要＞
小区分52020「神経内科学関連」のキーワードの追加と変更。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった内容の例を追加すると、網羅的になり、寄せられた意見にある例以外の内容を排除する危険性が懸念されます。

82.「胎児・新生児医学関連」に関して

＜意見の概要＞
小区分の追加。
＜回答＞
回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分52050「小児成育学関連」を「胎児医学および小児成育学関連」に変更することとします。 内容の例の順番を「小児科学」「新生児医学」「胎児医学」から「胎児医学」「新生児医学」「小児科学」に変更することとします。 説明： 「小児成育学関連」という小区分の説明からは、これまでの細目「胎児・新生児医学」の応募者が対応する小区分を探すことが難しいとの意見を踏まえ、応募状況を精査した結果、新たな区分を設けて分割することなく同一区分で審査することが妥当と認められます。当該の領域の応募者がより容易に区分を選択できるように小区分の説明等を変更することが妥当と認められます。

83.「内科学一般およびその関連分野」に関して

<意見の概要>
中区分52「内科学一般およびその関連分野」が雑多な内容である。変更を。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。また内容の例は、学術分野あるいは領域を示すものではなく、その小区分において審査する内容について、できるかぎり包括的、一般的な用語を用いることで少数の用語で広い内容をカバーするように設定しています。

84.「血液および腫瘍内科学関連」に関して

<意見の概要>
血液のがんと固形癌は病態が違うので分けるべき。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった点につきましては、病態の如何によらず、当該の審査区分において適切に審査可能と認められます。

85.「臨床医学全般」に関して

<意見の概要>
臨床医が採択される可能性が低くなっていないか。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 科研費制度では、応募件数と内容の広がりに応じて審査区分を設定し、計画調書の内容をピアレビューにより評価することによって、審査の公正性を担保しています。原案のままで適切に審査可能と認められます。

86.「災害医学」に関して

＜意見の概要＞ 中区分55「恒常性維持器官の外科学およびその関連分野」の小区分55060「救急医学関連」のキーワード「災害医学」は、中区分58「社会医学、看護学およびその関連分野」の中へ小区分「災害医学関連」として移行・格上げ・新設を要望。 小区分55060「救急医学関連」の内容の例に「災害医療」を加えてはどうか。
＜回答＞ 回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分58010「医療管理学および医療系社会学関連」の内容の例に「災害医学」を追加することとします。 小区分55060「救急医学関連」の内容の例に「災害医療」を追加することとします。 説明： 耐災害、防災、減災に係る工学領域を主とする研究分野に関しては、中区分25「社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野」において、3つの小区分25010「社会システム工学関連」、小区分25020「安全工学関連」、小区分25030「防災工学関連」を設定しています。一方、「災害医学」については、社会医学における重要性に鑑み、現行の中区分55「恒常性維持器官の外科学およびその関連分野」の小区分55060「救急医学関連」の内容の例「災害医学」に加えて、中区分58「社会医学、看護学およびその関連分野」の小区分58010「医療管理学および医療系社会学関連」にも内容の例として「災害医学」を追加することが適当と認められます。 また、小区分55060「救急医学関連」は、臨床研究的側面が含まれることから、内容の例として「災害医療」を追加することとします。

87.「社会医学、看護学およびその関連分野」に関して

＜意見の概要＞ 社会医学と看護学とを分離すべき。
＜回答＞ 回答： 原案のままとする 説明： 審査区分として、中区分では、多様で適切に審査可能な領域を一体化することで学術の水準が確保されます。原案のままで適切に審査可能と認められます。

88.「衛生学」に関して

＜意見の概要＞ ・中区分58「社会医学、看護学およびその関連分野」、小区分58020「衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む」と小区分58030「衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない」は実験系と非実験系の疫学を分けているのか。 ・ヒトへの介入などは、小区分58020「衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む」でよいのか。
＜回答＞ 回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった点は、その趣旨で区分を設定しています。

89.「看護学」「社会福祉学」「栄養学」に関して

＜意見の概要＞
・小区分の追加(細目数5→小区分数4)は、不利になる。 ・区分の追加・変更。リハビリテーション看護学などの復活。栄養学の追加。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 指摘の小区分数の点につきまして応募状況を精査した結果、応募件数と内容の広がり観点から、より公平・公正な競争的環境下で適切に審査可能と認められます。 また、指摘のあった「リハビリテーション看護学」、「栄養学」については、小区分59010「リハビリテーション科学関連」および小区分59040「栄養学および健康科学関連」において、適切に審査可能と認められます。

90.「看護学」に関して

＜意見の概要＞
看護学は複合的な領域なので、複数の区分に申請できるようにして頂きたい。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 「看護学」の応募状況を精査した結果、原案のままで適切に審査可能と認められます。また、関連する他の区分に応募することは可能です。

91.「社会医学」「看護学」に関して

＜意見の概要＞
社会医学、看護学の審査に社会科学にも通暁した審査委員が必要。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 当該の中区分58「社会医学、看護学およびその関連分野」は、医学と看護学の学問的本旨が共有される分野として適切に審査可能な範囲として設定されています。 社会医学、看護学の応募者が社会科学で審査を希望する場合には、社会科学関連の区分に自由に応募することができます。

92. 「健康科学及びその関連分野」「教育学およびその関連分野」「思想、芸術およびその関連分野」「リハビリテーション科学関連」「スポーツ科学関連」「健康教育および健康科学関連」「生理学関連」「身体教育学」「体育学」「武道学」「栄養学」「野外教育」に関して

<意見の概要>

【健康科学およびその関連分野に関すること】

- ・小区分59020「スポーツ科学関連」のキーワードが不適切で、スポーツ教育学、スポーツ心理学などが必要。区分を見直し、小区分「体育・スポーツ科学」を希望。中区分59「健康科学およびその関連分野」に栄養学を追加。
- ・小区分59030「健康教育および健康科学関連」にキーワードとして含まれる「身体教育学」は、小区分「身体教育学関連」として分離・追加を要望。
- ・中区分59「健康科学およびその関連分野」の名称変更。
- ・体育を中区分59「健康科学およびその関連分野」の説明部分に入れる。
- ・スポーツ科学は、医学関連のほか人文社会科学とも関連し、中区分を分けては。
- ・体育学は医学系だけではなく、人文学にも入れるべきではないか。
- ・スポーツ科学等の中区分スポーツ心理学等の人社系のキーワードがない。
- ・身体運動に関するキーワードが不適切。

【栄養学に関すること】

- ・栄養学の小区分を追加。
- ・栄養学を中区分の適切な位置に移動。
- ・中区分59「健康科学およびその関連分野」の小区分に栄養学・家政学を追加。

【野外教育に関すること】

- ・野外教育に関する小区分またはキーワードを体育学に追加する。

<回答>

回答： 意見を踏まえて一部を修正する

中区分59の説明及びそれに属する小区分等を次のとおり変更することとします。

中区分59の説明：スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野

小区分59010「リハビリテーション科学関連」

リハビリテーション医学、リハビリテーション看護学、リハビリテーション医療、理学療法学、作業療法学、福祉工学、言語聴覚療法学、など

小区分59020「スポーツ科学関連」

スポーツ生理学、スポーツ生化学、スポーツ医学、スポーツ社会学、スポーツ経営学、スポーツ心理学、スポーツ教育学、トレーニング科学、スポーツバイオメカニクス、アダプテッドスポーツ科学、ドーピング、など

小区分59030「体育および身体教育学関連」

発育発達、身体教育、学校体育、教育生理学、身体システム学、脳高次機能学、武道論、野外教育、など

小区分59040「栄養学および健康科学関連」

栄養生理学、栄養生化学、栄養教育、臨床栄養、機能性食品、生活習慣病、ヘルスプロモーション、老化、など

説明： 審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。また、内容の例は、学術分野あるいは領域を示すものではなく、その小区分において審査する内容について、できるかぎり包括的、一般的な用語を用いることで少数の用語で広い内容をカバーするように設定しています。その原則のもとで、以下の理由のとおり寄せられた意見に回答します。

(小区分および中区分の構成について)

・小区分59020「スポーツ科学関連」を「体育・スポーツ科学関連」に変更するという意見です。しかし、「体育」と「スポーツ科学」とは、身体の発育発達に伴う身体教育学と競技種目を中心に競うスポーツとを一体化することには無理があり、これまでも異なる細目で適切に審査されていたことから原案のままとします。

・原案の小区分59030「健康教育および健康科学関連」は、現行細目「身体教育学」と「応用健康科学」とを一体化したものです。指摘のあった点は、現行細目「身体教育学」において応募件数の多い「体育」と現行細目「応用健康科学」において応募件数の多い「栄養学」とを、「健康科学関連」として一体化することは無理ではないかというものです。関連する応募状況を精査し検討した結果、応募の実態に即して、当該の小区分を小区分59030「体育および身体教育学関連」と小区分59040「栄養学および健康科学関連」とを独立した二つの小区分とします。

・以上、小区分の追加と再構成に基づいて、中区分59「健康科学およびその関連分野」を「スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野」に変更します。

(内容の例について)

・小区分59010「リハビリテーション科学関連」の内容の例に、3大療法(理学療法学、作業療法学、言語聴覚療法学)をすべて追加することとします。

・小区分59020「スポーツ科学関連」は、現行の審査においてはキーワード分割A、Bで行なわれてきました。今回の制度改革によって1つの小区分を応募件数の多寡で分割が必要な場合、より適切な審査を行うために、内容で分割することはせず、機械的に分割することとなりました。また、一体化して小区分を設定したときの内容の例が不十分であるとの意見も踏まえて、内容の例を追加します。

・新たに追加・変更となった各小区分の内容の例については、精査して追加することとします。

・なお、小区分38050「食品科学関連」や小区分08030「家政学および生活科学関連」などにも示される内容の例である「栄養学」と、ここで扱う「栄養学」はそれぞれの小区分の説明と関連して審査区分を選ぶことができます。

93. 「リハビリテーション科学関連」「作業療法学」「言語聴覚療法学」に関して

＜意見の概要＞	
	小区分59010「リハビリテーション科学関連」のキーワードに「作業療法学」「言語聴覚療法学」を追加。
＜回答＞	
回答：	意見を踏まえて一部を修正する 〔小区分59010「リハビリテーション科学関連」の内容の例に「作業療法学」「言語聴覚療法学」を追加することとします。〕
説明：	リハビリテーションにおける2療法学を追加することで、理学療法学に加えて3大療法学が揃い、バランスよく内容を説明できると認められます。

94.「幼児や高齢者、障がい児・者の身体運動」に関して

<意見の概要>
障がい者などの身体運動に関する申請には、医学だけではなく人文社会、自然科学など複合的な要素が入るが、その区分がない。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった点は、障がい者などの身体運動に関する審査区分として多くの分野の複合的な要素を含めるべきとの意見と捉えられますが、そのように特定の内容(例えば障がい者の身体運動)について広領域で区分を設定することは、審査区分として狭い特定の内容(例えば障がい者の問題)に偏る恐れがあり、むしろ審査領域の範囲を狭くすることが懸念され、適切な審査の観点からその意義は認められません。

95.「舞踊学」に関して

<意見の概要>
舞踊学に配慮を。
<回答>
回答： 原案のままとする 説明： 指摘のあった「舞踊学」は、小区分01070「芸術実践論関連」や小区分59030「体育および身体教育学関連」などに幅広く応募可能であり、原案のままで適切に審査可能と認められます。

96. 「統計科学関連」「医療統計学」「生物統計学」「数学」に関して

＜意見の概要＞
・医療統計学・生物統計学の研究を応募できる小区分がないので、「統計学」の小区分の追加を希望。 ・小区分60030「統計科学関連」のキーワードに「生物統計」、「医療統計」を追加。 ・小区分12030「数学基礎および統計関連」の結果、確率論と統計数学が切り離されているのはよくない。「生物統計」「医療統計」「テスト理論」をキーワードとしてどこかの小区分に入れることを希望。
＜回答＞
回答： 意見を踏まえて一部を修正する 小区分60030「統計科学関連」の内容の例「統計科学応用」を「応用統計学」に変更することとします。 小区分60030「統計科学関連」の内容の例「仮説検定」「統計的パターン認識」「実験計画」を削除することとします。 小区分60030「統計科学関連」の内容の例の先頭に「統計学」を追加することとします。 説明： 「統計学」は多くの分野の基盤であり、医療統計学と生物統計学もその範疇です。当該区分の説明をより解りやすくするために、小区分60030「統計科学関連」の原案の内容の例「統計科学応用」を「応用統計学」に変更することとします。また、内容の例「仮説検定」「統計的パターン認識」「実験計画」に関連する最近の応募数が極めて少ないことから、当該区分の内容をよりバランスよく説明できるよう削除することとします。また、当該区分の内容をバランスよく説明する観点から、内容の例の先頭に「統計学」を追加することとします。最近の確率論の研究は解析学が主流であり、統計数学関連の研究の現状を鑑みれば、上記の変更により関連の応募は適切に審査可能と認められます。また、原案の変更で応募者の選択肢はより広くなるものと期待されます。

97. 「データサイエンス」に関して

＜意見の概要＞
・中区分「データサイエンス関連」の追加を希望。 ・大区分「データサイエンス関連」の追加も一案ではないか。 ・大区分「データ・サイエンス」の新設を希望。その下に中区分「データ解析」「データ設計」「応用データ・サイエンス」の設定を希望。もし大区分「データ・サイエンス」が無理なら、上の3つの中区分を大区分「情報学」の下に設定希望。
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学術分野の分類ではありません。指摘のあった「データサイエンス」は基盤的学問のスタイルであり、対象は現行の審査区分表の中で既に多くの区分や内容の例で示されており、それらで競争的に審査可能と認められます。

98. 「ソフトウェア関連」に関して

<意見の概要>
小区分60050「ソフトウェア関連」の区分名が広すぎる。名称の変更。
<回答>
回答： 原案のままとする
説明： 小区分60050「ソフトウェア関連」は他の小区分と相補的な関係を表現できており、審査区分の説明としては適切と認められます。

99. 「ソフトコンピューティング関連」に関して

<意見の概要>
小区分61040「ソフトコンピューティング関連」のキーワード「遺伝アルゴリズム」を、より上位概念の「進化計算」に変更を要望。
<回答>
回答： 意見を採用して修正する
小区分61040「ソフトコンピューティング関連」の内容の例「遺伝アルゴリズム」を「進化計算」に変更することとします。
説明： 指摘のとおり、内容の例「遺伝アルゴリズム」を、より上位概念の「進化計算」に変更することが適当と認められます。

100. 「ウェブ情報学およびサービス情報学関連」「サービス学」に関して

<意見の概要>
小区分62020「ウェブ情報学およびサービス情報学関連」を2つの小区分「ウェブ情報学関連」と「サービス学関連」に分けることを希望。（サービスに係わる研究は必ずしも情報とは結びつかないものが多いから。）
<回答>
回答： 原案のままとする
説明： 指摘のあった小区分は、現行の細目「ウェブ情報学・サービス情報学」のA・B分割を統合したものです。今までも審査過程で特に問題は起きておらず、今回の小区分62020「ウェブ情報学およびサービス情報学関連」の内容の例を見ても、情報と結びついていないサービスの研究を排除はしていません。したがって、原案のままで適切に審査可能と認められます。

101.「エンタテインメントおよびゲーム情報学関連」「知覚情報処理関連」に関して

<意見の概要>
小区分62040「エンタテインメントおよびゲーム情報学関連」のキーワードの再考を希望。 小区分61010「知覚情報処理関連」のキーワードの再考を希望。
<回答>
回答： 意見を踏まえて一部を修正する
小区分62040「エンタテインメントおよびゲーム情報学関連」について、 ・内容の例に「体験デザイン」を追加することとします。 ・内容の例「インタラクティブアート」を削除することとします。 ・内容の例「デジタルアーカイブス」を小区分90020「図書館情報学および人文社会情報学関連」の内容の例に移行することとします。 ・内容の例「情報文化」を小区分62020「ウェブ情報学およびサービス情報学関連」の内容の例に移行することとします。
説明： 寄せられた意見を精査した結果、回答に示した内容の例の追加、削除、他の小区分への移行が妥当と認められます。

102.「認知科学関連」に関して

<意見の概要>
小区分90030「認知科学関連」のキーワードの「脳認知科学」について、当該キーワードでは「脳認知科学」となっているが、小区分51020の説明では「認知脳科学関連」となっている。「脳認知科学」という言葉は学術用語にはないので「認知脳科学」に修正をすべき。
<回答>
回答： 意見を採用して修正する
小区分90030「認知科学関連」の内容の例「脳認知科学」を「認知脳科学」に変更することとします。
説明： 現行の細目では「脳認知科学」となっていますが、内容の例としては学術用語「認知脳科学」とすることが妥当と認められます。

103.「人間医工学」に関して

<意見の概要>
小区分90110「生体医工学関連」のキーワードについては、基礎的か臨床的かを明示されたい。
<回答>
回答： 原案のままとする
説明： 原案では、小区分の内容の例をもとに応募者が自らの研究課題にふさわしい小区分を選択するようにしています。

104. 「複合領域」に関して

<意見の概要>
複合領域の設置を要望。複合領域を解消したことが、問題の根源(科学教育、スポーツ科学など)にある。
<回答>
回答： 原案のままとする
説明： 新しい審査区分表は科研費の審査区分を表すものであり、学問の系統や位置付け、学会や大学の組織構成などによるものではありません。したがって、複合的研究についても特別扱いをすることなく、審査が公平にかつ競争的に行えるよう、相互審査可能な区分(中区分、大区分)を設定しています。また、常に新しい視点の研究が応募できるように区分の設定を柔軟にしています。

105. 審査区分表全般に関して

<意見の概要>
・小区分は、現在の細目をベースにしているあまり変化がない。 ・中区分の審査は広い分野で行われるが審査員の質は大丈夫か。 ・複数の区分を選択できるようにしてほしい。 ・小区分の設定は5年ごと、10年ごとに見直すべき。 ・多様な学問を受け入れる区分の設定が出来るような配慮が必要。 等
<回答>
回答： 原案のままとする
説明： ・小区分の設定は学術の多様性に配慮し、適切に審査可能な区分として設定しています。 ・中区分の審査員については、区分の性質を踏まえて慎重に選考します。 ・実効性を考慮した結果、現行の複数細目に相当する複数小区分の選択は行わないこととします。 ・小区分の設定は学術の進展に応じて適宜見直すこととします。 ・新しい学問に常時対応できるよう、区分の境界は柔軟に設定しています。

106. 審査区分表について評価する意見等に関して

＜意見の概要＞
・教育工学が小区分となったことを評価。 ・観光学が中区分4、7、8に表れることを評価。 ・大区分Gは必須の区分である。等
＜回答＞
回答： 原案のままとする 説明： 意見は、審査区分表を評価する内容等であり、原案のままとします。

107. 審査区分表の構成に関して

＜意見の概要＞
審査区分表(小区分一覧)について、応募者が、自ら応募研究課題に最も相応しい審査区分を選択する際に、該当する区分を見つけづらい。
＜回答＞
回答： 意見を採用して修正する （ 審査区分表(総表)を審査区分表(小区分一覧)、審査区分表(中区分、大区分一覧)の前に付すこととします。 ） 説明： 審査区分表の全体構成をよりわかりやすく示し、審査を希望する区分を選択しやすくするために修正することとします。

審査方式に係る意見の概要と回答

総合審査、２段階書面審査および審査全般について提出された意見の概要と回答については以下のとおり。

1. 「総合審査について」に寄せられた意見の概要と回答

（審査委員の選考に関する意見の概要）

＜審査委員の選考について＞

- ・大区分の審査委員は各中区分から異なる審査委員が選出されることや中区分の審査委員は異なる小区分から審査委員が選出されることなど、審査委員の選出方法のルールをつくることを希望。

（回答）

○審査委員の選考に当たっての審査委員の人数は当該区分の審査が適切に行えるよう設定します。審査委員は中区分や小区分の「代表」ではなく、当該区分に対する応募課題を研究計画調書に基づいて評価することが求められます。したがって、このような立場から総合的に当該区分の審査ができる者を選考します。

（審査委員、審査負担および審査方法に関する意見の概要）

＜審査委員の資質について＞

- ・「総合的に」「幅広く」と言えば聞こえが良いが、実際には適正に審査できるかは疑問。
- ・審査委員が真に、その領域を理解、高所からの判断をしているのか、疑わしい。
- ・大きな課題について、慎重に審査するのは良い。ただ、専門性が落ちるのではないかという懸念は当たっていると思う。
- ・各審査区分においては、人文社会系と理数系の審査委員が総合審査を行うことが望ましい。
- ・単に研究者として一流（に見える）程度では基準とならない。学問的見識、人格ともに優れた選ばれた人（学士院会員等）が審査すべきではないか。
- ・専門外の委員の評価能力は低いため、研究計画の内容よりもアピール力が基準となる恐れがある。
- ・審査委員全員の合議審査の形をとっているが、どのようなことが総合審査の審査基準になるのかについては、多角的なレビューはするとは書かれているが、専門性についての議論がしっかり評価されるのか、疑問。
- ・広い視野を持った適切な人材を配置すべき。
- ・審査委員について、限られた人数の中でもできるだけ多様性を持たせるようにする必要。
- ・中区分で審査が行われる場合、広い区分をきちんと精査できる審査委員はいるのか。

＜審査負担について＞

- ・精度の高い審査を行うためには、従前の審査時間よりも多くの時間を必要とする。審査委員1人当たりの負担を軽減するためには、より多くの審査委員の採用が必要。
- ・審査委員も専門から遠い分野の審査を行わなければならないので負担が大きい。
- ・当該分野に明るくない審査委員がどの申請が優れているかを判断できる基準をいかに作るかが重要。この点がはっきりしなければ、審査委員の負担が増えるにもかかわらず適切な判断ができない。

＜審査方法について＞

- ・審査委員を変えず、書面と合議を実施するのは効率が良いとはいえ、本当に多角的な審査になるのか疑問。
- ・広い領域において重要で一般性の高い研究が推進可能となる一方で、研究の多様性確保という観点からは、助成対象が特定の分野に偏らないように配慮する必要がある。

(回答)

- 科研費の審査は、学術コミュニティの協力なくしてはできないと認識しています。審査委員は専門分野の代表ではなく、担当区分全体の応募の中から研究計画調書に基づいて優れた研究課題を選ぶ役割があります。また、応募者は研究計画調書の作成に際して、自ら設定した研究計画課題の学術的背景や国内外での位置づけなど、専門分野を越えて応募区分の審査委員に研究内容が理解されやすい記述を心掛ける必要があります（調書に何を求めるかは後述）。このように、科研費の審査は学術コミュニティが育んでいくものと認識しています。
- 審査委員の育成は重要な課題であり、審査の重要性と上記の趣旨を十分に理解して審査を行ってもらえるよう、新たな審査方式に関する実施マニュアルを事前に具体的に審査委員に呈示するなど、日本学術振興会として審査の質の向上に努めます。
- 「総合審査方式」は、書面審査を行った審査委員がその審査結果に基づいて合議審査を行ない、採否を決定するものです。今回の改革においては、基盤研究（A）において、適切な審査範囲として65の中区分を設定し、競争的な審査を行うこととしました。改革前の基盤研究（A）の審査では、321の細目ごとの第一段書面審査に基づき、書面審査委員とは異なる委員による分科程度の区分での第二段合議審査で採否を決定していました。この方式では、第二段合議審査において個々の研究計画調書を精査する時間的余裕はなく、もっぱら第一段書面審査の評点集計結果に基づいて採否決定が行われるので、分野を超えた審査視点が不十分ではないかとの指摘が文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会からありました。そこで、今回の改革においては、基盤研究（A）の審査は65の中区分で行うこととし、さらに総合審査方式を採用することにより、より競争的な環境でより公正かつ公平に優れた研究課題を選び出すこととしています。

○総合審査方式は、国内外で既に研究費の審査方式として採用されてきており、長所短所について様々に検討されています。学術研究の挑戦性を重視する考え方に立てば、細分化された分野で審査されるよりは、応募課題の設定に自由度が増大する点で応募者にとってメリットがあります。一方、これまでの細分化された審査区分に関しては、審査委員が応募者の専門的知識の上で書かれた調書に対して専門的見地からの評価が得られるとの期待や、他の分野との競争を意識することなく評価されるとの期待から、これを望む声が聞かれます。これらの意見を総合的に検討するとともに、特設分野研究の審査で総合審査方式を実施し、検証した結果を踏まえ、最終的に今回の審査方式の改革の柱として「総合審査方式」を中区分、大区分の審査に導入することにしました。

○寄せられた意見は、総合審査方式とこれまでの方式との違いから来る審査委員あるいは応募者としての戸惑いを率直に表したものとして受け止めています。総合審査方式での科研費の応募と審査については、今後十分に周知していく予定ですが、主要な点を以下にまとめます。

- ・応募者には、自ら設定した研究課題の「背景や経緯、国内外での位置づけ、新規性、独自性および創造性などが解るように記述する」ことを求めます。研究計画の学術的内容を具体的に記述することによって、審査委員が研究計画調書に沿った審査が可能となることを調書作成マニュアル等の作成を通じて行ないます。
- ・審査委員には、「応募者の研究計画調書に沿って審査する」ことを求めます。合議の段階では、審査課題の専門分野に近い審査委員の意見と他分野から見た場合の意見を交換することができるので、専門性を十分確保しながらより広い観点による審査が可能になると期待しています。一方、他分野を跨ぐ様な大きな新規性という点では、総合審査方式によって高い観点から具体的な審査ができるので、応募者の発想の自由度は高くなるものと期待されます。

2. 「2段階書面審査について」に提出された意見の概要と回答

(審査委員に関する意見の概要)

<審査委員の資質について>

- ・審査委員を多数輩出できる有力大学の教員や権力のある学会ボスがいるような学会員ばかりになってしまうのではないかと危惧。
- ・審査委員の当事者意識が低い。
- ・審査委員の好みや申請された研究内容に対する理解度によって審査結果が変わる恐れがある。

<審査委員の選考について>

- ・小区分でのキーワードの多様性を考慮すると、1課題当たりの審査委員数でカバーできるのか。
- ・専門分野の偏りのない審査委員により適正に審査することを期待。

<審査委員の人数について>

- ・審査委員の負担も大きくなることから現行よりも審査委員の数を増やす必要があるのではないか。
- ・一人、二人の審査委員の特異な見解が採否を分けることがある。公正性の観点から、1課題あたりの審査委員を増加すべき。

<審査負担について>

- ・審査委員の数を増やし、一人当たりの審査数を10件に減らすべき。
- ・2段階目で議論の対象とする申請は、真にボーダーライン付近のものに限るようにして、審査の負担が過大にならないようにしてほしい。一方で、ボーダーの線引きが難しいのではないかと意見もある。
- ・審査の手続きが重複化し、審査委員の負担が増えることを懸念。

(回答)

○科研費の審査は、学術コミュニティの協力なくしてはできないと認識しています。審査委員は専門分野の代表ではなく、担当区分全体の応募の中から研究計画調書に基づいて優れた研究課題を選ぶ役割があります。また、応募者は研究計画調書の作成に際して、自ら設定した研究計画課題の学術的背景や国内外での位置づけなど、専門分野を超えて応募区分の審査委員に研究内容が理解されやすい記述を心掛ける必要があります。このように、審査は学術コミュニティが育んでいくものと認識しています。その中で、審査委員の育成は特に重要なので、審査の重要性と上記の趣旨を理解して審査を行ってもらえるよう周知に努めるなど不断の努力を継続します。

○1 課題あたりの審査委員数は、現行の基盤研究（C）、基盤研究（B）等の審査委員数である4名から6名を想定しています。一方、審査委員1人当たりの審査件数を減らすなどの審査負担の軽減は重要な課題であると認識しており、その取組を進めます。

なお、現行の審査において、応募件数が多い審査区分（細目）では、複数の審査グループを設け、応募研究課題をキーワードで振り分けるキーワード分割を行い、審査委員一人当たりの審査負担の軽減を図ってきました。今回導入する審査においては、応募件数が多い審査区分（小区分）では、複数の審査グループを設け、より公正かつ公平な審査の観点から応募研究課題を無作為に振り分ける機械分割を行い審査委員一人当たりの審査負担の軽減を図ります。

また、今回導入する2段階書面審査の2段階目の審査においては、1段階目の審査結果に基づきボーダーライン付近となった研究課題のみを審査対象とします。

（審査基準、審査方法に関する意見の概要）

＜審査基準について＞

- ・ 現行では釣鐘型の評点分布を課されている以上、質の低い申請に対しても中程度の評点を付けざるを得ない場合も多い。一様分布に近い評点分布（5段階で20％）とすべき。

＜審査方法について＞

- ・ 1人の審査委員の低い点数が平均点に及ぼす影響は大きい。このようなことを防ぐため、不適任な審査委員を指定したり、複数の審査委員の点数の中で最も低い点は外したりすべき。（また、最高点および最低点を除いた点数で評価すべきとの意見。）
- ・ 2段階目の書面審査結果の合意形成の手続きは明確にしておく必要がある。
- ・ 最終決定の権限はどこにあるのか。

（回答）

○評点を付す際の評点分布についてはこれまでに蓄積されてきた審査経験を踏まえ適切に設定します。

○2段階書面審査においては、2段階目の審査対象とする研究課題の範囲を設定するにあたって、極端に低い点数や、高い点数が付された課題について考慮することを検討します。

○ボーダーライン付近の課題の採否の決定は、2段階目の審査評点によって機械的に行うこととしますが、その結果を確認する委員会を設置することを検討しています。

3. その他の意見の概要と回答

<審査結果の開示について>

- ・改善点（審査コメント）をフィードバックし研究計画の見直しをサポートという総合審査の変更点を、2段階書面審査でも行うべき。
- ・若い研究者に対し、どうしたらその方向性が開かれるのかといったコメントが添えられる配慮があるべき。
- ・もう少し具体的なコメントがあると次の改善に繋がる。

<審査意見について>

- ・重要な審査項目について、1行でもよいので具体的なコメントがないと2段階目で評価の変更がしづらいのではないか。

<その他>

- ・複数の小区分に属する研究の場合には、複数での小区分にて審査ができる体制の検討が必要。
- ・海外のグラント審査に関わったことがあるが、書面審査後に他の審査委員のコメントを全て読むことが出来たのが良かった。

(回答)

- 審査コメントの開示（応募者へのフィードバック）は科研費制度における重要な要素の一つと認識しています。

総合審査においては、合議審査終了後、合議審査対象課題のうち不採択になったものには、審査コメントを開示する予定です。一方、2段階書面審査の審査コメント開示については、審査負担、事務負担を考慮して現実的方法を検討します。

- 総合審査、2段階書面審査ともに1段階目の審査では、2段階目の審査に資するようコメントを記入してもらいます。
- 応募者が複数の小区分を選択できる仕組みについては、小区分において適切な審査範囲の設定をしていること、また、関連するテーマの応募も受け付けるとしていることから、一旦、廃止する方向で検討しています。